VIDEOTRON
12G対応 監視機能付き
16×16マトリックススイッチャー
NEW
MTX-70U-1616 Vbus

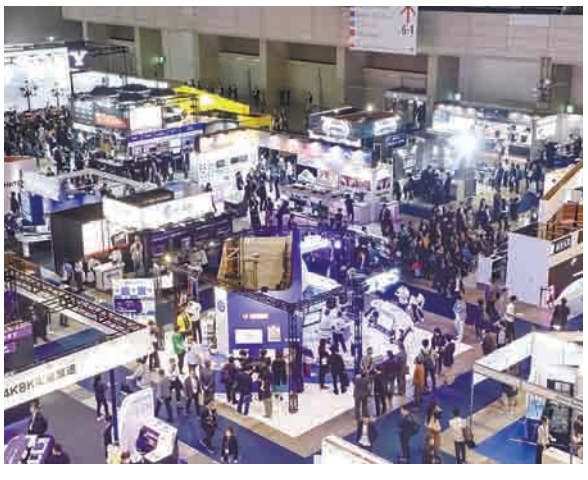
映像新聞

令和元年（2019年） 11月11日 第2407号

株式会社 映像新聞社
Weekly THE EIZOSHIMBUN
(VISUAL COMMUNICATIONS JOURNAL)
〒112-0006 東京都文京区小日向1丁目24番8号エイゾービル
電話：(03)3942-2161(代)／ファクス：(03)3942-2581
昭和42年1月25日 第3種郵便物認可 郵便振替：00140-0-65786
1部600円、年間購読料26,000円(税別)

◎映像新聞社
毎週月曜日発行(月4回発行)

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2019 特集
11月13-15日 千葉・幕張メッセで開催



音と映像と通信のプロフェッショナル展「Inter BEE 2019（第55回 国際放送機器展）」が13日に開幕する。東京五輪を来年に控えた今回は特にスポーツコンテンツに注目し、制作・中継・配信における最新の技術が披露される。【特集面16―64面】

V―High帯で実験試験局免許
放送の新ビジネス発掘

IPDCフォーラム

IPDCフォーラム（以下、IPDC―F）は、現在、空き帯域となっているV―High帯（207・5―222MHz）における「特定実験試験局免許」を、10月23日、総務省から取得した。IoT技術の活用を基本に、V―High帯ならではのサービスモデルを発掘するとともに、現行の地デジを活用したビジネスモデル創出も目指す。IPDC―Fは、V―High帯対応の送・受信機など実験環境を整え、会員を中心とした実証実験を、全国各地で2021年3月まで順次実施する計画だ。

V―High帯は、NTTドコモ系のスマートフォン向け放送局「NOTTV」が2016年6月30日放送を終了して以降、3年以上、空き状態が続いる。このV―High跡地が、内閣の規制改革推進会議で問題視されたことから、総務省は同跡地の活用について2回のパブリックコメント（提案募集）を実施。

IPDC―Fは、米国ではATSC3・0、欧州ではDVB―Iといった、放送・IPシームレス化、放送サービスの高度化の動きが進みつつあることを踏まえ、V―High帯を放送の新しいビジネスモデル創出のためのテストベッドとして活用することを提案した。

総務省の「放送を巡る諸課題に関する検討会（諸課題検）」が3月に提示したV―High跡地の活用方針に関する取りまとめでは、具体的な活用方法は明記されず、実証実験を実施し、ユースケースを早期に具体化すること、そして、同帯域を特定実験試験局用周波数として位置付けること、実証は19年度から速やかに開始し、同年度中に一定の取りまとめをすること、実証期間は20年度末まで――といった内容が盛り込まれた。

地デジの活用含めて検証
2021年3月まで全国各地で

そこでIPDC―Fは特定実験試験局免許を申請。IoT放送の実現による放送波の新たな活用方法の開拓を目指すことにした。

IPDC―Fの第一の狙いが「V―High帯ならではのユースケースの発掘」である。

IPDC―F事務局では「地デジ化によって、地上波テレビがUHF帯に移行した現在、アナログ時代のNHK1―3chあたりであるV―High帯は意外に使いにくい。単に映像と音声だけでは、サービスとして成立するようなユースケースは生み出せないと思う」と述べ、IoTを生かすことが不可欠との見解を示す。

第二の狙いは、現行の地デジの新しいビジネスモデルを開拓することだ。地デジのネットワークをIPデリバリーネットワークととらえ、V―High帯での実証事業で確認できたユースケースを、地デジにも活用することでビジネスモデル開拓を実現するものだ。

IPDC―Fでは、実証実験の環境として、IPをTSに重畳し、ISDB―T方式でV―High帯を使って送信・受信する一連のシステムを用意した。〈3面に続く〉



福岡放送は、高付加価値コンテンツの制作に力を入れており、MA2とMA3を今年1月に改修し、全3室のMA更新を完了した（写真はメインとなる「MA1」）
〈詳細4面〉

本号の主な記事

［プロダクション］
フジ・メディア・テクノロジー
2台目の4K HDR大型中継車 ・・・・2
［放送］
在京民放5社/共通の時間帯に
ネット同時配信で技術検証・・・・3
［大型映像］
東京モーターショーで各社が
多彩な映像演出 ・・・・・・・・・・・・13
［デジタル映像］
タクシー後部座席でIoTサイ
ネージ／関係各社が事業連携
を強化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

映像新聞ウェブサイト
http://www.eizoshimbun.com
購読のお申し込みはこちらから

Khepris RenderFarm
日本のハイスペックなレンダーファームサービス
ケプリス・レンダーファーム
■ レンダーファーム レンタルサービス
価格：¥14,970～（1ヶ月/1台4ノード搭載）
■ レンダリングサービス
価格：¥1,0（Ghz/時間）＝¥35（ノード/時間）
株式会社 ケプリス・ジャパン
〒570−0041 大阪府守口市東郷通 2-12-1
Tel:06-6992-0445 www.khepris-japan.com

intel XEON GOLD inside
より迅速な導入。
最適化された設定。
MousePro
4Kノンリニア編集にお勧め
高性能ワークステーション
インテル® Xeon® スケーラブル・プロセッサーを2基搭載。16コアで処理速度が速いので、動画の書き出しやエンコード作業・CGレンダリングなどにおすすめです。
MousePro-W995DQR6-M22 販売価格 1,698,000円(税別) ※送料別途2,000円
・Windows 10 Pro for Workstations 64ビット（DSP）
・インテル® Xeon® Gold 6130 プロセッサー × 2基（16コア/ 2.10GHz/ TB時最大3.70GHz/ 22MB スマートキャッシュ）
・128GB DDR4 ECC Registered 対応メモリ
・512GB Samsung PM981 M.2 SSD（NVMe対応）
・DVDスーパーマルチドライブ
・NVIDIA® Quadro RTX™ 6000（24GB）
・Supermicro® X11 シリーズ マザーボード
・1000W 電源（80PLUS® PLATINUM）
・1年間無償ピックアップ保証
・24時間365日電話サポート
※液晶ディスプレイは別売です。※画像はイメージです。
安心の国内製造・国内サポート & 24時間365日電話サポート!
株式会社マウスコンピューター
〒103-6026 東京都中央区日本橋2-7-1 東京日本橋タワー26階
MousePro 検索
ご購入・カスタマイズのご相談はこちらまで
法人のお客様 月～金 9時～18時 土日祝 9時～20時 03-6739-3808
デザインワークも
「MousePro」
乃木坂46
白石 麻衣

フジ・メディア・テクノロジー

2台目の4K HDR大型中継車を完成

最大20人が作業できる拡幅式

フジ・メディア・テクノロジー（ｆｍｔ、本社＝東京都江東区）は、2台目となる４Ｋ ＨＤＲ対応の大型中継車「ＦＲ６」を完成させた。まずは2Kで運用し、ソニーの大型４Kカメラ「ＨＤＣ－５０００」をはじめとした撮影機材がそろう2020年2月から４Kに対応する。

同社は2016年、４６はこれに続くもの。今回は12G－SDIでシステムを設計し、現在スポーツ中継で求められている大規模かつ４K制作への対応を拡充する。

また、フジ・メディア・ホールディングスを中心とするグループの４K設備戦略の一環でもあり、設計や運用についてはフジテレビ技術局とも協議を重ねてきた。システム設計はソニー、架装は京成自動車工業が担った。



FR6

同車は全長10・7×全高3・6㍍。全幅は2・5㍍だが3・5㍍まで拡幅できる。重量約21㌧。ｆｍｔ制作技術部の田原健二部長は、「拡幅部分は制作室からＶＥ室までの7㍍に渡っており、追加のＶＥ席やＣＧ席を設置するためのユーティリティースペースも確保。最大で20人が作業できるゆとりある空間を実現した。また、機材の設置やスタッフの作業がスムーズに進むよう、拡幅しても床面がフラットになるよう設計を工夫している」と説明する。

カメラはソニーのポータブル型「ＨＤＣ－５５００」6式と、大型レンズの運用に適したワンピース構造の「ＨＤＣ－５０００」4式を搭載する。

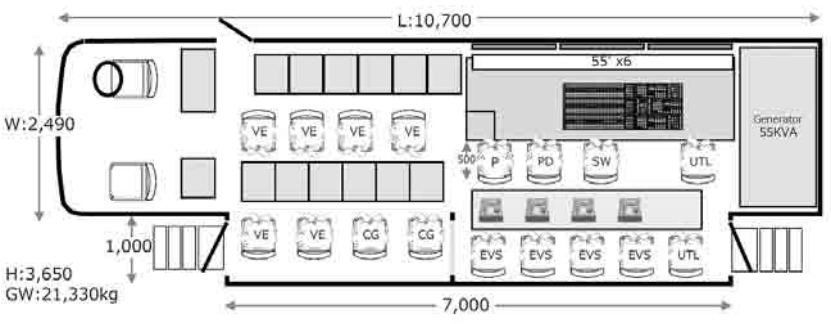
カメラ「ＨＤＣ－５０００」を導入

卓を最大50㍍ケーブル引き出してモニターから離したり、サブ卓を車外に持ち出して、拡幅することなく運用したりするなど、さまざまな条件の中継現場で最適な制作環境をつくることができる。

同車ではさらに、ＴＳＬプロダクツの制御用システム「Ｔａｌｌｙｍａｎ」を初めて導入した。従来は主に特注品が利用されてきたが、同機はルーターやスイッチャー、カメラコントロールユニット「ＨＤＣＵ－５００」は、2つの光ファイバーコネクターを搭載したフルラックサイズ。４K信号を2系統双方向に送るＵＨＢ伝送に対応する。カメラヘッドにＡＣ給電することで最大４㌔㍍の伝送が可能。

撮影機器は富士フイルムのレンズ「ＵＡ１２５×８・０」「ＵＡ２４×７・８」などと合わせて20年2月に実装する予定。その後４Kでの運用を始める。

制作室には、ソニーのスイッチャー「ＸＶＳ－９０００」（４K12Gで40入力、ＨＤで80入力）と、応答性能の良い55型４K有機ディスプレー（パナソニック製）6枚を配する。スイッチャーはリージョンシステムなど複数メーカーの製品を同社のＴＳＬプロトコルで接続するもので、ワークフローの構築や運用をシンプルで効率的にする。田原氏は「機器メーカーを限定することなく、かつシステムの拡張性を持たせながら４K制作システムを構築、運用することができる」と説明。今後を見据えたシステムを実現している。



フロアプラン

スローモーションはＥＶＳ「ＸＴ－ｖｉａ」（４K６ｃｈ、２K12ｃｈ）が2式。車体横には外側からアクセスできるユーティリティースペースを備えており、3式目のEVSなど必要な機器を増設できる。ルーターは朋栄「ＭＦＲ６０００12Ｇ」（144×144）、インカムはリーデル「ＭＦＲ－128」とした。車両最後部には55ＫＶＡの発動発電機を積んでいる。

また今回、レンタル会社の西尾レントオールが、ＦＲ６と同じ設計で製作された姉妹車両を所有している。ｆｍｔは必要に応じて車両をレンタルする。共通仕様としたことで特別なトレーニングをすることなく利用できる。

13日から千葉県の幕張メッセで開催される「Ｉｎｔｅｒ ＢＥＥ ２０１９」では、富士フイルムのブースでこの西尾レントオールの中継車が展示される予定。

パナソニック

ビデオ会議装置オプションを発売

多様なウエブ会議サービスと接続

働き方改革を支援



村口氏



坪氏

パナソニックは14日、同社ビデオ会議システム「ＨＤ映像コミュニケーションシステム（ＨＤコム）」の機能拡張オプション「Ｗｅｂハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックス」を発売する。

同製品はＨＤコムなどのビデオ会議システムと、「スカイプフォービジネス」や「チームス」といったさまざまなウエブ会議サービスを接続するもの。会議の拠点となる場所に1台設置すれば、これまで難しかった双方の間の映像・音声コミュニケーションを実現する。同機とウェブ会議用のＰＣはＨＤＭＩとＵＳＢで接続するだけで設置も簡単。「働き方改革」やテレワークに必要なコミュニケーションシステムを実現できる。



デモの様子

8日に開いた発表会ではまず、パナソニックコネクティッドソリューションズ社メディアエンターテインメント事業部の村口秀昭総括担当がＨＤコムについて説明した。

同社はＨＤコムを安価で簡単接続できるものを目指して開発し、2009年から販売。外部装置なく多地点を接続し、テレビのリモコンに似たレイアウトで直感的に操作できるリモコンを付属する。インターネット帯域が変動しても映像や音声が乱れない安定接続技術を持つ。

パナソニック システムソリューションズ ジャパンのビジネスコミュニケーション課課長である坪憲生氏は、この製品は、パナソニックがビデオ会議とウェブ会議が接続できず運用に苦労していたことから開発したことを説明。その後、ビデオ会議とウエブ会議の拠点間会話や資料画面の共有を実演した。

質疑応答では、同機は映像と音声のデータを抜き出すことでＨＤコムとウエブ会議システムを接続するため、どのようなウエブ会議システムでも対応できると説明した。また「スラック」などビジネスチャットサービスとは「検証が必要だがおそらく接続できるだろう」（同社）という。価格は約40万円を見込んでいる。

東北映像フェスティバル2020
映像機器展・映像コンテスト
6/24 水 10:00-17:00 ・ 25 木 10:00-17:00
仙台国際センター 展示棟
JR仙台駅直結 仙台地下鉄東西線 仙台国際センター駅下車徒歩1分
一般社団法人
東北映像製作社協会
東北最大の放送・業務用、「映像」「音響」「照明」専門機材展示会!!

在京民放５社

共通の時間帯にネット同時配信

20年１月 夕方の報道番組

在京民放5社（日本テレビ放送網、テレビ朝日、TBSテレビ、テレビ東京、フジテレビジョン）は、地上波放送番組を同じ時間帯にインターネット同時配信する技術実証を2020年1月に合同で実施する。視聴データに関する技術実証にも取り組む。

配信先は5社が運営する民放公式テレビポータル「TVer（ティーバー）」で、20年1月下旬の平日5日間、主に夕方の報道番組を同時配信する。複数局が同時間帯に配信する際の技術的な課題を抽出。放送と配信における災害情報の提供の在り方、データ基盤技術などを検証する。

今回の技術実証は、総務省が野村総合研究所に委託した調査研究の一環。配信予定番組は、日本テレビが『news every.』、テレビ朝日が『スーパーJチャンネル』、TBSテレビは『Nスタ』、テレビ東京は『ゆうがたサテライト』ほか、フジテレビが『Live News it!』

――をそれぞれ予定。

今回の取り組みでは、データ基盤技術検証の一環として、5社の放送エリアにおいてテレビ視聴データ（個人情報を含まない非特定視聴履歴）に関する技術実証も実施する予定。在京民放5社と広告会社4社が出資するプレゼントキャスト傘下の新会社YourCastが担当する。

技術によって、1つの中継器が複数の中継器につながることが特徴。ファイル共有ソフト「Winny」を改良し、これでルーティーンをコントロール。あらかじめ想定している経路が1つでも空いていれば、そこを使って通信していく。どこかの回線に障害が起こっても、通信を途絶えさせない。

阿南市に隣接する南市では、地域住民に加速度センサー、温度センサーを搭載した、ブルートゥース信号を発信するビーコンタグを配布。災害の際、避難した住民がどこにいるのかといった情報が、中継器を介して家族のスマホに表示される仕組みを作っている。阿南市もビーコンタグを活用する。

実証実験では、あなん先進的防災・防犯システム検討委員会が協力し、IPによる緊急警報、避難経路、安否確認などをV－Highで一斉配信。「止まらない通信網」の中継機からブルートゥースでプッシュする一方、同通信網を上りに活用することで、緊急警報、安否確認などに対する通信デバイスからの反応を分析し、住民の状況把握につなげる。

NECの、カメラや人感センサー、電子看板などを搭載した街路灯も活用。V－Lowで用いられているEDXLの活用も検討している。

宮島恒敏氏は、実証実験では、総務省の委託事業で一昨年に構築した「止まらない通信網」を活用すると話す。これはSkeedが開発した。920MHzの無線で接続した中継機でメッシュ状のネットワークを構築する。この中継機はブルートゥースの出力も持つ。

同通信網は、P2P技術が発足。メンバーは、阿南市、徳島文理大学、Skeed、四国放送、須賀川地区自主防災会、NECで、実証実験も同検討会が取り組む。

IPDC－Fの幹事のテレビが、実証実験を継続。同年3月に終了する。

IPDC－Fはその成果を含め、実証実験の報告書を総務省に提出。これらも参考にしつつ、総務省ではV－Hi gh帯の利用方法を具体化するという流れになる。

IPDC－Fは、具体的なユースケースとして、防災減災分野での活用を想定。各地域の自治体と組んで実証実験を進めたい意向だ。

阿南市での実証実験もそうした流れの一環。同市は、南海トラフ地震が起こると甚大な被害が生じると想定され、津波対策が急務の地域だ。

その中で、先進的な防災・減災の仕組みを構築することを目的に9月、「あなん先進的防災・防犯システム検討委員会」


920MHz対応中継機

IPDCフォーラムがV－High帯で実験試験局免許

徳島県阿南市で最初の実証実験

IPで緊急警報や避難情報

20年1月は技術面の検証を実施し、同年2－4月はフィールド実験を進め、同年5月、徳島県阿南市で最初の実証実験を開始する予定。同年6月にはケーブル技術ショーにて、その成果を披露する。

そして同年7月には、コンテンツ集積特区として認定されている竹芝にV－High送受信機など一連のシステムを移設し、フィールド実験を実施する。AIや5G、IoTなどと並び、新技術の社会実装モデルの1つとして、V－Highによる新サービスも体験できるようにする。

その後、大阪や千葉、奈良など、IPDC－F会員で実証実験をしたい地域に順次、送受信システムを移し、実証実験を進めていくという。

実証実験は、Inter BEE2019会場を含め、実証実験の報告書を総務省に提出。これらも参考にしつつ、総務省ではV－High帯の利用方法を具体化するという流れになる。

IPDC－Fは、具体的なユースケースとして、防災減災分野での活用を想定。各地域の自治体と組んで実証実験を進めたい意向だ。

阿南市での実証実験もそうした流れの一環。同市は、南海トラフ地震が起こると甚大な被害が生じると想定され、津波対策が急務の地域だ。

その中で、先進的な防災・減災の仕組みを構築することを目的に9月、「あなん先進的防災・防犯システム検討委員会」


営電製のV-High対応送信機


UHF/V-High対応受信機

〈1面から続く〉

P2Pの「止まらない通信網」活用

ポイントになるのがV－High受信機。これは、エスケイネット製の、VHF／UHF両対応ISDB－Tチューナー搭載受信機に、IPDC－F側でビーコンキャスト（東京大学中尾研究室が開発した、ブルートゥース経由で情報を放送的に送る仕掛け）を実装することにより、放送からのIP情報を、スマートフォン（スマホ）や各種センサー、IoT機器にブルートゥースプッシュで直接届けられる。

IPDC－F事務局は「パーソナル視聴に移行する中で、放送が、スマホや各種IPデバイスに直接リーチできる環境は重要」と述べ、現時点でブルートゥースが実用に最も効果的だとした。

IPDC－Fは、これら一連のV－High対応送信・受信システムを1セットとして、同フォーラムの会員にオープンに使ってもらい、実証実験を進めていくという。



福岡放送

今年4月に開局50周年を迎えた福岡放送（福岡市中央区、以下FBS）は、高付加価値コンテンツの制作に力を入れている。MA2とMA3を今年1月に改修しており、全3室のMA更新を完了。MA2では2017年更新のMA1に続くアナログオーディオコンソールを導入し、高品質な音作りの環境を整えた。

アナログコンソール採用
高付加価値な環境を整備


MA 2

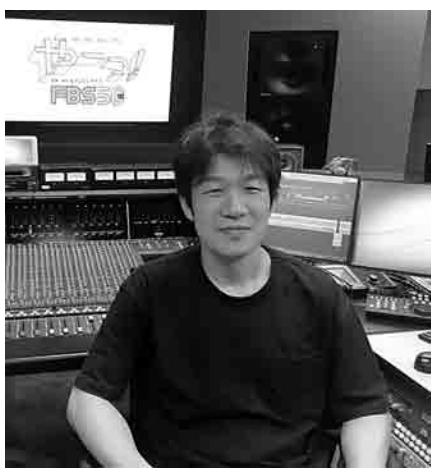

MA 3


VMC-102

4K HDR中継車も稼働

FBSは先ごろ、九州民放初の4K HDR中継車を完成させ、7月末の九州放送機器展で初公開したことも話題となった。12G-SDIベースの大型中継車で、従来のHDライブ制作環境を用いながら高画質の4K HDR映像制作や4K HDR映像とHD SDR映像の同時制作を可能とするワークフロー「SRLive for HDR」に対応させた。音響制作環境と合わせ、4K／8K時代の取り組みを加速させている。

MA室は、2室でレコーディングスタジオクラスのアナログ卓が使用されていることが、音質へのこだわりを表している。メインのMA1にはSSL Duality DW1台でもできる映像ワークだが、DAWに負荷をかけない仕様を模索した川邉氏が、システムを担当したタックシステムに相談したところ、この形の提案があったという。


川邉氏

局内ビデオ編集システムの副部長、川邉淳一氏は「アナログ卓ながら、DAWをフィジカルコントロールできる便利な点も導入理由の1つ」と話す。

DAWは3室ともにヌエンドを導入しており、同一スペックで各2台を配備。1台を映像ワーク用ディスクレコーダーとして利用する。従来DAWとMAワークPCを同一の作業方法で操作することとなり、万が一どちらかのシステムが不調な時も、一方がバックアップ機として対応可能な二重化システムとなる。

MA1／2のオーディオシステムの中心となるのが、NTPテクノロジーズDAD AX32。8chのA／DとD／Aコンバーター、2系統のMADI、そしてSRC付のAES／EBUとHD／SDIのエンベデッドを追加している。これらの入出力を持ちながらコンパクトな2Uサイズラックでマウントされている。

そのオーディオルーターを、タックシステム製スタジオモニターコントローラー「VMC-102」によって、スタジオ内のスピーカーモニターソースやVTRインプットなどのルーティングを制御。これらMA1／2で同じ機材を使用することで、統一した操作と、同一の音質クオリティーとした。トークバックシステムはADgearのAB-3B／31／3Aに更新した。

MA1ではミキサーの配置を180度変えたため、日本音響エンジニアリングによって、新しくフロントスピーカーバッフル面と室内の配置デザイン、そして長年使用した環境の問題点を1つひとつ解決し、より良い室内環境を構築したという。MA1／2のスピーカーは、ジェネレックに加え、オーラトーンの復刻版を採用。「テレビクラスの音声モニターにちょうど良く、特に人間の声の帯域がよく出ることで採用した」（同）

マスターとなる媒体は基本的にXDCAMだが、その他さまざまなVTRを扱うため、シンクロナイザーもCBエレクトロニクス製RM-6HDに更新し、VTRリモコンやVMC-102からも9ピンシリアルリモート操作が可能となっている。なお、局内アーカイブもXDCAMで構築している。

映像ルーターを新設し、スタジオイクイップメント製のブース切り替え器によってMA1／2と共通のアナウンスブースを利用することができる仕様になった。MA3では旧来からのヤマハ製音声卓DM1000をそのまま利用し、DAWのヌエンドシステムを更新している。

WWW.ZEAL.JP



映画撮影　テレビコマーシャル撮影　テレビ番組＆ドラマ撮影
ミュージックビデオ撮影　船舶運航手配　水辺での撮影の安全管理
水中撮影技術全般　マリン用品レンタル　海上ドローン撮影

水中撮影・水上撮影・船舶撮影

We are Marine Coodinator for the Underwater / Surface / Ship Shooting in Japan.



New Debut, the Nautilus Hybrid Underwater Housing for ALEXA mini & RED.

海や川という自然が相手の特殊な撮影には、豊富な経験と専門知識が必要となります。
ジールでは、専属のスタッフが水中・水上・船舶撮影のロケーション手配・安全管理・演技者のケア・プロスタッフ手配（水中モデル・水中スタント・セーフティーダイバー・プロサーファーなど）、海ばかりでなくあらゆる水辺（川・湖・沼・池・プール）での撮影をフルサポート致します。
また、待望のALEXA mini & REDでのシネレンズ対応の水中撮影機材が新登場！
有線による外部モニター出力のほか、WCU-4によるシネレンズのフォローフォーカスなど外部コントロールで4K～8Kの水中撮影が可能となりました。
水辺のスペシャリスト“ジール”があなたの撮影を可能にします。

ZEAL MARINE COORDINATE

水中撮影・水上撮影・船舶撮影の専門コーディネーター　株式会社ジール　撮影事業部
TEL 03-6809-3555　FAX 03-3454-7869　E-MAIL shoot@zeal.jp
［芝浦本社］東京都港区海岸3-21-35 芝浦岸壁ビル2F 〒108-0022　ZEAL Co.,LTD.

NEW Shotoku`s Camera Support Solution
SX200
ENG用三脚システム



TRUEBALANCE
■ 無段階完全バランス
カウンターバランスは独自の完全バランス機構 TRUEBALANCE を搭載

VISCAM
■ 無段階粘性抵抗式ドラッグ
大型雲台で定評のあるVISCAMテクノロジーは特殊シリコングリスを使用することで温度変化による影響がなく、安定した滑らかな操作可能

マグネシウム合金を用いた雲台とカーボンファイバー製の三脚で
軽量で強靭なボディーを実現しました。

SHOTOKU BROADCAST SYSTEMS
株式会社 昭特製作所
044-812-0931
www.shotoku.tv

待ったなし！視聴データ活用 3

視聴データをめぐる動きが活発化するなか、個人を特定した上で、テレビで何を視聴したかを明らかにし、その情報をマーケティングに活用する企業が登場している。いわゆる〝特定データ〟の世界だ。〝非特定〟と一線を画すこの手法の可能性を検討する。（次世代メディア研究所　鈴木祐司）

特定データの可能性

個人の利用デバイス横断分析

商品購入の有無も分かる可能性
広告効果を格段に高める

★〝特定〟と〝非特定〟

視聴データには〝特定〟と〝非特定〟がある。個人を特定するか、特定できない単なる統計として扱うかの違いだが、実はもう1点、視聴データを取得する際の、視聴者からの許諾の取り方でも、データの集め方や価値がかなり異なってくる。

まず特定データの場合は、「ログイン方式」をとっている。

事前に特典取得などユーザーのメリットを説明した上で、企業側が視聴ログを利活用する許諾を視聴者から得る。この場合も何でも勝手に使われるのではなく、用途を事前に明示される。

さらに一旦始めてみたものの、途中で自身のログ削除やログ提供先の可否も自分で設定できる。

非特定データの場合には、「オプトイン方式」と「オプトアウト方式」がある。

前者は匿名としての事前許諾が前提だ。何らかのユーザーメリットと利用の用途が提示される

全映協
National Board of Regional Visual Industry Associations
一般社団法人 全国地域映像団体協議会

National Board of Regional Visual Industry Associations Forum 2019

全国地域映像団体協議会 フォーラム 2019 in 幕張

in Makuhari messe

THEME
「地方から映像配信の時代」

YEAR	DATE	TIME
2019 年	11 月 14 日 木	13:30 - 19:30

LOCATION
幕張メッセ国際会議場　千葉県千葉市美浜区中瀬2-1　TEL: 043-296-0506

主 催　一般社団法人 全国地域映像団体協議会

後 援　総務省 / 経済産業省 / 文化庁 / 一般社団法人 日本民間放送連盟 / NHK / 一般財団法人 デジタルコンテンツ協会
一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟 / 公益社団法人 映像文化製作者連盟 / 株式会社映像新聞社

協 力　一般社団法人 日本映画テレビ技術協会

協 賛　株式会社アイ・ディー・エクス / 麻布リース / 株式会社映像新聞社 / 共信コミュニケーションズ株式会社 / 株式会社サークル / 株式会社システムファイブ
株式会社テレモアドットコム / デュプロ北陸販売株式会社 / 電研コテム株式会社 / 株式会社ロジックジャム / **稲門映像人・文化人ネットワーク**

TIME SCHEDULE

フォーラム・セミナー・全映協グランプリ2019表彰式

総合司会 …… 野村 沙綾

［ 13:00 開場 受付開始 ］　受付場所：幕張メッセ国際会議場 104会議室

13:30 開会　開会のごあいさつ
全映協理事長 遠藤　誠

13:40 セミナー　経済産業省プレゼンテーション
「日本のコンテンツビジネス戦略・コンテンツ産業政策」
経済産業省商務情報政策局 コンテンツ産業課長補佐 佐野 正太郎 氏

14:10 セミナー　総務省プレゼンテーション
「総務省におけるコンテンツ政策の動向について（仮）」
総務省 情報流通行政局 情報通信作品振興課課長 三島 由佳 氏

14:40　休　憩　（20分）

15:00 セミナー　日本映画テレビ技術協会プレゼンテーション
「HDRフォーマットと最新民生テレビの活かし方」
ソニーホームエンタテインメント&サウンドプロダクツ株式会社
TV事業本部 技術戦略室 主幹技師 小倉 敏之 氏

15:40　休　憩　（20分）

16:00 表彰式　全映協グランプリ2019 結果発表・表彰式
【番組部門】【CM・キャンペーン部門】【学生部門】
【地域振興コンテンツ部門】【デジタルコンテンツ部門】

17:45　終　了

18:00 - 19:30　大懇親会　会 場 幕張メッセ国際会議場 105会議室　会 費 6,500 円（懇親会参加者のみ）

一般社団法人 全国地域映像団体協議会
名古屋市中区葵1丁目27番29号 キリックスビル402 株式会社 テレビシティ内
TEL 052-933-5131　FAX 052-933-5131
http://www.zeneikyo.jp

シンガポールで10月に開催された「第26回ITS世界会議」では、いわゆる〝空飛ぶクルマ〟も話題になった。この分野で開発を続ける独ボロコプター社が、電動垂直離着陸機（eVTOL）の公開実験をして、2分30秒ほどの飛行を実施した。同社や事業パートナーの英スカイポーツ社は、ヘリポート状の離着陸拠点を設け、この間をeVTOLで結ぶ事業を計画する。この拠点間運送事業を「スカイタクシー」と名付けている。シンガポールでの実験に立ち会った。

（杉沼浩司）

シンガポールで「ITS世界会議」②

〝空飛ぶクルマ〟は実現するか

開発会社が実験を公開

エアタクシー事業の商業化目指す



2X機をバックに構想を語る独ボロコプター社のフロリアン・ロイター　CEO㊨と英スカイポーツ社のダンカン・ウォーカー常務㊧

★誤解多い言葉

「空飛ぶクルマ」は誤解を招く表現である。米国的理解では、自動車と飛行機が一体化したものであり、高速道路から離陸、空港（飛行場）に着陸――といった運用を想定したものだ。滑走路や滑走路面がふんだんに使える北米特有の発想だ。

米国では1950年代から提案があり、欧州でも同様に提案はあった。一部で販売もされたようだが、いずれも「実験機」との認証を受けている。複数社が新規開発をしている現在も状況に変化はない。「実験機」の場合、商業用に供することはできず、有償運送、つまり「空飛ぶタクシー」としての運用は禁じられている。

一方、欧州の新世代航空機は、道路に限らず、どこからでも垂直に離陸し、垂直に着陸する機体を指す。「自動車のように手軽に」の意味が込められたものを目指すが、車輪で走行する自動車と航空機の融合形を意味しない。

一時は「空飛ぶクルマ」とされたが、現在はこの呼称は滅多に聞かれない。日本では、「空飛ぶクルマ」は欧州型を指す。夏ごろは、次年度予算の雰囲気作りもあり、官庁主導の研究会などが盛んに報道されていた。

欧州型の場合、欧州航空安全庁（EASA）が「VTOL（ブイトール）」との形式で認証するとの方針を打ち出している。

明確な分離をせずに、「クルマ」と称するのは、無用な混乱を招こう。

なお、個別の機体型式ではなく、交通ジャンルとして国際的に合意された表現は「UAM（都市航空移動体）」だ。

同じ回転翼でもヘリコプターとVTOLの最大の相違点は、緊急着陸時に使用する「オートローテーション」の可否にある。ヘリコプターは、この手法で衝撃緩和をする。一方、VTOLはこの手法を使えない。違いは大きい。

★ボロコプター

ボロコプターは、2011年から「有人マルチコプター」を開発している。ドローンではない。ドローンとは「無人機」の総称でありマルチコプターに限らない。

同社は、2018年のCESでは米インテル社の基調講演で機体を浮上させている。この時は、電源ケーブルなどがつながれたままだった。今回、シンガポールに持ち込まれたのは、第2世代の「ボロコプター2X（以下、2X）」機である。

2Xは、交換式のリチウムイオン電池を備えた実験機だ。同社CEOのフロリアン・ロイター氏は「2Xは当初、ドイツ航空当局から実験機認証を受け、現在はEASAの実験機認証を得ている」としている。

また、商業サービス用新型機「ボロシティ」は「EASAのVTOL特例での認証の取得を目指す」としている。EASAのVTOL特別条件（SC-VTOL）に準拠して設計されている。

★試験飛行成功

ITS世界会議に合わせて、ボロコプターとスカイポーツは、マリーナ湾の浮体構造施設「ザ・フロート」に離発着場能となった。ボロポート対岸の「ザ・プロモントリー」で準備していた2X機は午後0時1分に静かに浮き上がった。離陸場所との距離は約800㍍あり、全く音は聞こえない。その後、同機は高度30㍍ほどまで上昇（筆者目測）し、旋回飛行し「ボロポート」の実物大模型を建設した。将来、同様な施設から離発着をするという。同施設は10月21日に報道陣に公開された。

試験飛行は、10月22日に実施。現地の航空および港湾当局より、正午から午後0時20分までの飛行が許可された。しかし、当日は雨模様で、広報担当からは「11時55分から晴れるように祈ってほしい」といったメールが発せられる状況だった。雨天時の飛行は実施しないためである。

幸い、正午前に雨は止み、曇天ながら飛行は可

eVTOLの離発着拠点となるボロポート実物大模型

★拠点間飛行か

試験飛行前日、ロイター氏は記者会見で将来構想を語った。同社は「エアタクシー事業を展開し、ボロポート間を飛行するビジネスを指向する」という。エアタクシーとは、米国の航空業界に存在する事業で、予約に基づき小型機により乗客を送り届ける空港間運送で「流し」はない。

ロイター氏は「シンガポールは、このビジネスを最初に展開する場所として有望だ。交通の需要があるのに、地上交通が整っていない場所がある」と指摘する。

同社は、2年から4年後の商業化を目指す。

商業化時に投入されるボロシティ機は、有償搭載量200㌔㌘、航続距離35㌔㍍、飛行時間20分（予備時間を除く）、最高速度時速110㌔㍍の性能を持つという。当初は、操縦士が搭乗するため、乗客は1名となる。

拠点間を結ぶ「エアタクシー」事業では、「会社の玄関先や駐車場から自動運航機が離発着して、自由に送り届ける」としていた当初構想よりは大幅な後退となる。拠点間を結ぶのであれば「タクシー乗降場間の輸送」と変わらない。

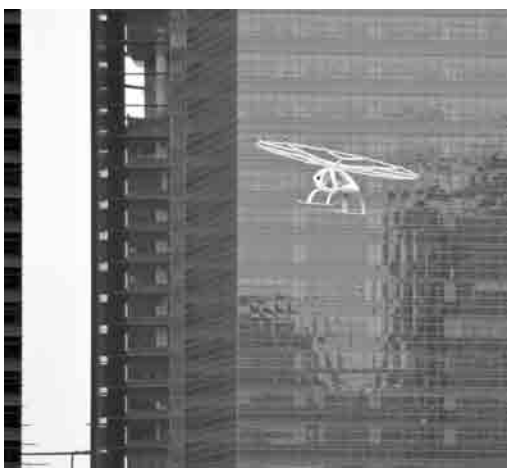
また、自動飛行ではなく、有人操縦であるのも大きな後退だ。このことから経済性のハードルが高まった。操縦士の雇用コストを考えると、ヘリコプターの方が低コストになる可能性が出てくる。

安全性についても、課題は多い。EASA、落雷対策を求めているが、電動機の落雷対策は研究途上だ。一般論として、ガラス繊維の機体では表面に雷の電流が流れず、内部の動力系の電線に入り込む恐れがある。安全対策開発が急務だ。

UAMは、当初考えられていた「アプリで呼べば、無人機が迎えに来て、それに飛び乗りどこにでも行ける」といったものにはならない模様だ。

主要国の法律は、ヘリコプターの自由な着陸を許していないのでVTOLも同様に扱われよう。一方で電動化により大幅な低騒音化が実現され、従来は離発着できなかった地域に進出可能となった。

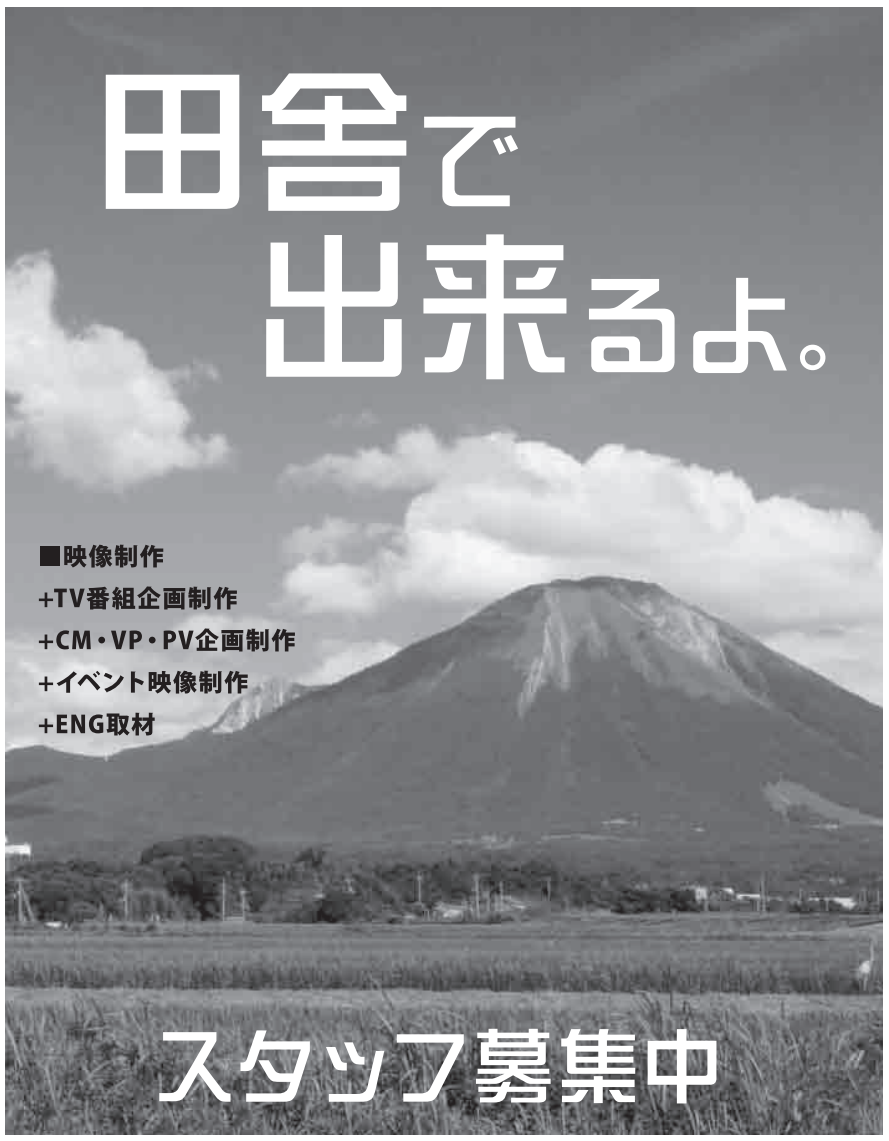
おそらく、eVTOLは低騒音性を生かした運用となるだろう。21世紀に実現を夢見た自由な離発着は、まだ夢物語のようだ。



マリーナ湾を静かに飛行するボロコプター　2X機

米国型と分けるためにも、垂直離着陸機はこのように呼称するのが望ましい。





株式会社 山陰ビデオシステム
〒683-0801 鳥取県米子市新開 2 丁目 1−7
TEL:0859-32-6100 URL:http://www.s-video.co.jp

SINCE1980
SVS SAN-IN VIDEO SYSTEM



http://www.welt.co.jp
〒105-0021 東京都港区東新橋 2-5-12 第一粕谷ビル
TEL：03-3433-9377　FAX：03-3433-9378

メディア産業を支える映像プロダクション



株式会社 クロステレビジョン
〒162-0043　東京都新宿区早稲田南町52−5
Tel:03-3200-8235　Fax:03-3200-5359
支社：北海道、東北、関西、中国、四国、九州

アストロデザインなど
第2回MADD・アワードを開催
11月23日にはワークショップも

アストロデザインと慶應義塾大学SFC研究所次世代映像コンソーシアムが主催するMADD.は、2回目となる次世代映像のアワード「MADD. Award2020」を開催。「Massive and Miniscule」をテーマに、大型映像は8K解像度（7680×4320）に対応した実写、アニメーション／CGが対象。「大型映像とスマートフォン」「大型映像」の2カテゴリーで作品を募集する。

スマートフォンは表示や操作、撮影などのデバイスとして大型映像と連動させる。

12月25日までにエントリーし、2020年2月28日までに作品を提出する。

11月23日には、東京都港区南麻布でワークショップ「大型映像＋スマートフォン作品制作講座」を開催。参考事例やセンサーデバイスシミュレーションアプリなどを紹介する。参加費は無料。終了後には懇親会（有料）も用意している。

◆詳細と申し込み
MADD.のフェイスブックページ（https://www.facebook.com/MADD.project/）から申し込むか、氏名・所属（団体）を記入して、info@madd.jpまで電子メールを送る。

TYOが発表
ドワーフの篠原氏が国際賞受賞
優れたアニメーターとして評価

こま撮りアニメーションを手掛けるドワーフのアニメーター篠原健太氏は、優れた若手クリエイターに与えられる国際賞「NY ADC Young Guns 17」を受賞した。グループ会社であるティー・ワイ・オーが発表した。

同賞は、30歳以下または2年の実社会経験があるプロフェショナルを対象とし、ニューヨークの非営利団体「One Club」と広告美術団体「ADC」が合併した「The One Club for Creativity」が主催する。

17回目となる今年は、45カ国から500人以上の広告やアニメーション、映像、グラフィックデザインなどのクリエイターが応募し、81人のファイナリストが選出。その中から28人のウイナーが発表された。篠原氏は日本人唯一の受賞者で、ストップモーションアニメーターとして受賞した。

篠原氏は2014年にアルバイトとしてドワーフに入社し、16年に正式参加した。ネットフリックスのオリジナルシリーズ『リラックマとカオルさん』や、26thキネコ国際映画祭日本作品短編部門グランプリ作品『モリモリ島のモーグとペロル』を手掛けている。

授賞式は11月20日にニューヨークのソニーホールで開催される。

銀座十字屋ディリゲント事業部
小型USBオーディオ
インタフェースを発売


MAYA22 USB

銀座十字屋ディリゲント事業部は、ドイツ・ESIオーディオテクニックの小型オーディオインタフェース4モデルを販売している。ESI社はドイツを拠点にオーディオインターフェースやモニタースピーカーを開発する。

「MAYA22 USB」はライン、マイク、ギターに対応した入力端子とヘッドホン出力、TRSバランスライン出力端子を備えた2イン／2アウトの24ビットUSBオーディオインタフェース。1万2000円（すべて市場想定価格、税別）。

「MAYA44 USB+」は、4つのアナログ入出力端子とオプティカルS／PDIF出力端子を備えたUSBオーディオインタフェース。1万6000円。

「GIGAPORT HD+」は24ビット／96kHzに対応し、8つのアナログ出力、2系統のヘッドホン出力を備えた再生専用USBオーディオインタフェース。1万5000円。

「U24 XL」は、TRSバランス端子を採用したアナログ入出力端子に加え、コアキシャルとオプティカルのデジタル入出力端子を装備。多彩な入出力系統と高音質を持つ2イン／2アウトの24ビットUSBオーディオインタフェース。1万3500円。

キヤノンが発売
8K放送用のズームレンズ
フィールド用と初のポータブル型


UHD—DIGISUPER 51


7×10.7 KAS S

キヤノンは、1・25型センサー搭載の8K放送用カメラに対応するズームレンズの新製品として、放送用フィールドズームレンズ「UHD—DIGISUPER 51」と、放送用ポータブルズームレンズ「7×10・7 KAS S」を12月上旬から順次発売する。

「UHD—DIGISUPER 51」は、画面の中心部から周辺部に至るまで8K放送用カメラに対応する光学性能を達成する。広角端15・5ミリから望遠端790ミリの業界最長焦点距離により、業界最高の51倍ズームを実現した。

レンズ本体には1・5倍のエクステンダーを内蔵し、ズーム域を15・5—790ミリから23・3—1185ミリに切り替え可能。エクステンダー使用時も8Kカメラに対応する高い光学性能を実現する。

高倍率を実現しながら、従来の2/3型HDTVや4K放送用フィールドズームレンズと同等の操作性を確保し、撮影スタイルを変えることなく8K映像の撮影・制作に移行できる。

屋内外でのスポーツ中継や中継車など幅広いシーンにおいて、臨場感のある高精細な映像の撮影を実現する。

「7×10・7 KAS S」は、焦点距離10・7—75ミリをカバーする7倍ズームの業界初8K放送用ポータブルズームレンズ。画面中心から周辺部のすみずみまで、8K放送用カメラに対応する解像力とコントラストを持ちながら、従来の2/3型4K放送用ポータブルズームレンズと同等の操作性を実現する。

8K放送用カメラに対応する光学性能と7倍ズームを備えながら、質量約3・09キログラムの小型・軽量を実現しており肩担ぎも可能。

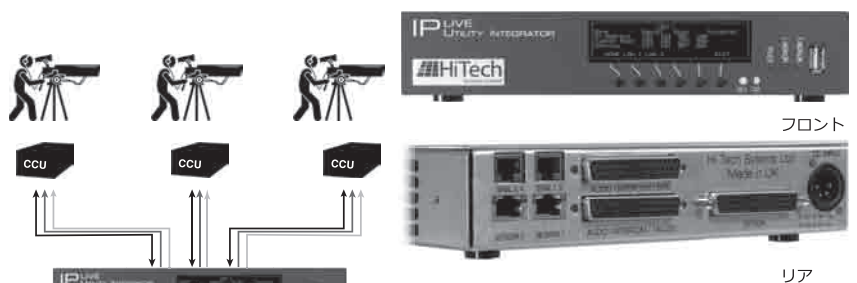
機材運搬の際など放送用機材に求められる機動性を確保しており、ドキュメンタリーや各種イベント撮影などの映像制作や報道などさまざまなニーズに応える。

また、2/3型4K放送用ポータブルズームレンズで実績のある高分解能16ビット絶対値エンコーダーを採用した高機能デジタルドライブユニットを搭載している。

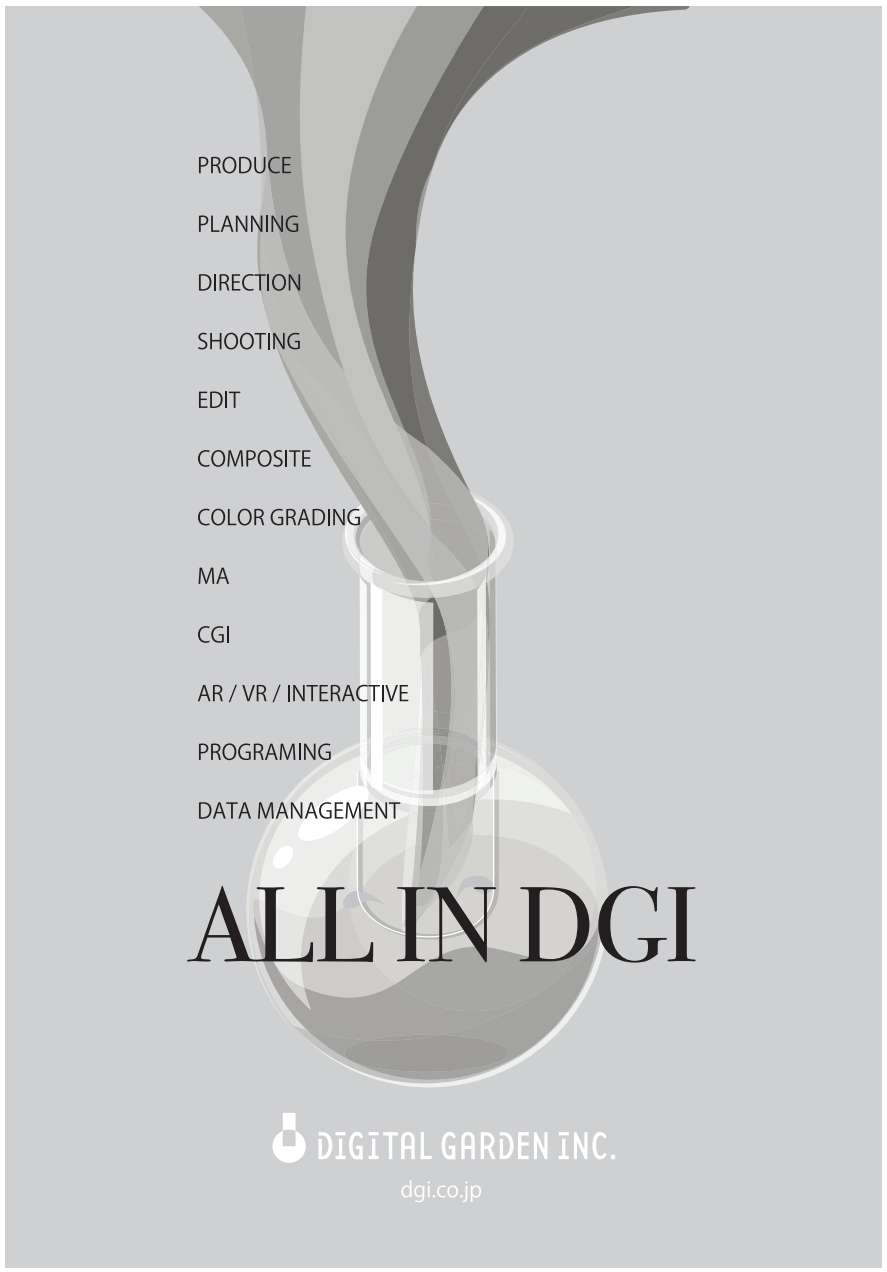
LiveU
モバイル中継装置ソリューション

LU600 4K-SDI
●4K-SDI 対応（12G-SDI/3G-SDI x4）
●最大 11 回線ボンディング（内 LTE x8 回線）
●高速起動（約 30sec）
●タッチパネル操作

LU300HEVC
●小型軽量設計
●最大 6 回線ボンディング（内 LTE x4 回線）
●高速起動（約 30sec）
●JOG コントローラ操作
LiveU レンタル大好評受付中、国内・海外に対応！
Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2019
11.13(水)»»15(金) 幕張メッセ
ホール：8
ブース：8215
弊社ブースへ、お気軽にお立ち寄りください
三信電気株式会社 ソリューション営業本部 映像システム営業部
http://www.sanshin.co.jp/business/solution/vd

IP LIVE UTILITY INTEGRATOR
HiTech Systems Limited
リモートプロダクションを実現する最も簡単なソリューション
※当社比


フロント
リア
中継先にカメラを置いて、制作は遠隔地の放送局とIPで接続することができ、4K映像は最適なコーデックを使用してIP伝送を行い、カメラへのタリー、インターカムやRS422データ等をIP LIVE UTILITY INTEGRATORで伝送できます。もはや、中継先に多くの機材を輸送するコストやスタッフの人件費を抑えることができる真のリモートプロダクションを実現することができます。
松田通商株式会社
▶https://mtc-japan.com/
本　社　〒107-0062　東京都港区南青山3-3-15　MTCビル　Tel: 03(5413)4611　Fax: 03(5413)4618
大阪営業所　Tel:06(6101)2822　Fax: 06(6101)2823　Mail: inquiry@mtc-japan.com



プリプロからポスプロまでトータル技術をプロデュース

株式会社 TBSテックス

技術営業部
港区赤坂2-5-4　赤坂室町ビル7F
tel：03-3505-7278　fax：03-3505-7955

ポスプロ事業部
TBS放送センター10F
tel：03-3505-7070　fax：03-3505-7085

取材技術部
港区赤坂7-6-38 アルファベットセブンビルG階（技術分室）
tel：03-3505-7110　fax：03-3505-7109

CG・デザイン部
TBS放送センター6F デザインルーム
tel：03-3505-7055　fax：03-3505-7088

TBS放送センター10F テロップ･デザインルーム
tel：03-3505-7090　fax：03-3505-7089

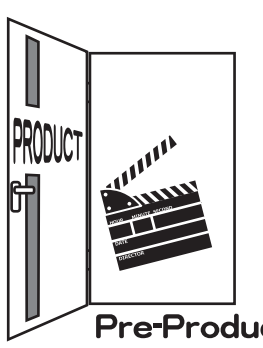
創造の達人を目指す技術集団

T-TEX

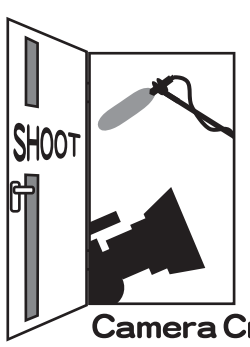
https://www.tbs-tex.co.jp/

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-5-4 赤坂室町ビル 6F
TEL 03-3505-7050　FAX 03-3505-7051

メディア産業を支える映像プロダクション



Pre-Production

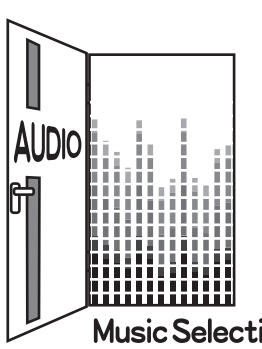


Camera Crew

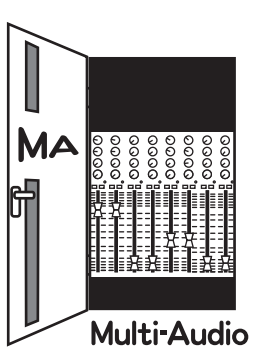
TSP
(株)東京サウンドプロダクション
http://www.tsp.co.jp

〒106-0031
本社 / 東京都 港区 西麻布 2-24-11
ウェストビル 4F
03-5466-5645

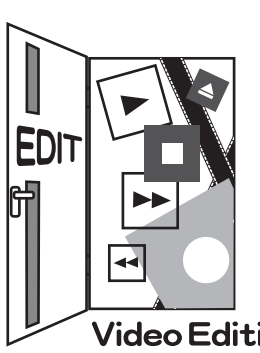
Video Center / 東京都 港区 西麻布 1-5-6
麻布富士ビル 3F
03-6455-5765



Music Selection
Sound Effects

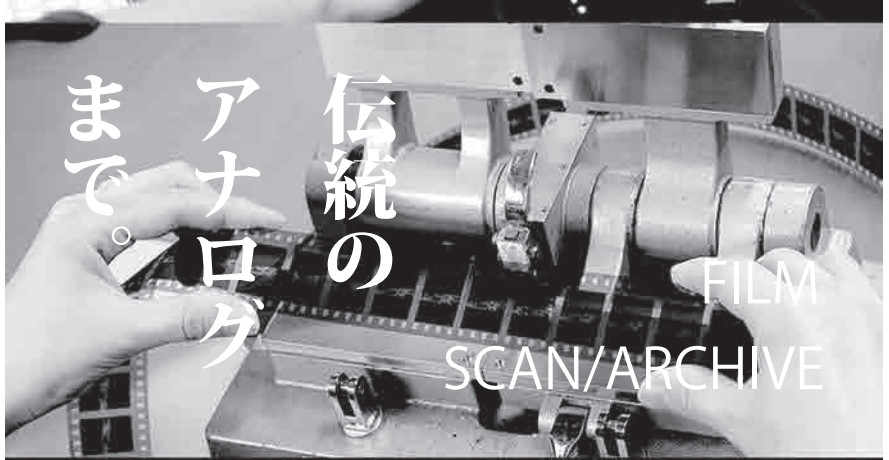


Multi-Audio Mixing



Video Editing





4K時代の総合映像ポストプロダクション

togen

株式会社 東京現像所

www.tokyolab.co.jp

ビデオマーケット
動画配信プラットフォーム
「GYAO！ストア」へ提供開始

ビデオマーケット（東京都港区）は、GYAOおよびヤフーとパートナーシップを結び、GYAOとヤフーが協力して運営する有料動画配信サービス「GYAO!ストア」に「ビデオマーケット」の動画配信プラットフォームの提供を11月1日から開始した。

ビデオマーケットは、2006年に業界初となる長尺動画配信を携帯端末向けに提供し、本格モバイルVODとしてサービスを開始以来、現在では22万本を超える一般映像作品（映画、ドラマ、アニメ、バラエティーなど）を配信している国内最大級の動画配信サービス。これまで「ビデオマーケット」で配信している作品は、自社で映像作品の調達からシステム開発、サービスの運用までワンストップで手掛けてきたという。

今回のパートナーシップにより、ビデオマーケットの配信プラットフォームを通して「GYAO!ストア」でもこれらの作品が順次提供される。

今後は、視聴品質に関しても、ビデオマーケットの高品質エンコード技術（UHQエンコード＝大画面テレビで高画質を実現する独自技術）による高画質・高音質での作品視聴が「GYAO!ストア」で可能となる予定。また、新たに「GYAO!ストア」にお試し視聴機能が追加され、映像の冒頭部分が無料で視聴可能となる。

多チャンネル放送の実態②

衛星放送協会の研究所が19年度調査

衛星放送協会加盟の89chに対して、多チャンネル放送研究所が調査。有効回答数は88事業者（有料放送事業者は回答率100％）だった。

◆◇★◇◆

【費用の現状】

最も多い回答は、「10億円以上20億円未満」（19・8％）、次いで「30億円以上」（17・4％）、「20億円以上30億円未満」（14・0％）と続く。各費用の範囲の中央値を平均として、未回答（9件）を除いた回答（77件）1件あたりの平均ネット費用を算出すると約15億7600万円で、そこから割り出した回答者全体（86件）のネット費用推定総額は約1355億3000万円となった。

前回と今回の調査結果を比較すると、1件あたり平均ネット費用は約17億3100万円から約15億7600万円へと減少した。

【営業損益の増減】

収入・費用に加え、同じく2017年度の実績ないし見込みから、営業損益について聞いた。

最も多い回答は、「1億円未満の利益」（19・8％）で、次いで「1億円以上―3億円未満の利益」（15・1％）だった。損失となった事業者は計12件（14・0％）。

前回調査との比較では、「1億円未満の利益」および「1億円以上―3億円未満の利益」の回答が合計で9・3ポイント減少し、一方で「3億円以上の損失」および「3億円未満の損失」の回答が合計で2・5ポイント増加した。前年度決算との比較では、「減益」の回答をした事業者は56・1％と過半数を超える結果となった。

「減益」事業者が過半数超える

【これからの視聴サービス展開】

◆自社プラットフォームでの「配信」への取り組み

リニア配信ではコンテンツの権利面で、許諾範囲としてサイマル配信までが包含されているケースが多く、また別編成リニアは、編成運用における業務コストが発生することなどから、実施している割合は低い。

SVOD（定額制動画配信）は、これまで放送側で編成したコンテンツの見逃し配信やアーカイブとしての活用が可能で、一定の価格で見放題という価格との調和も図りやすいため、比較的サービス展開におけるハードルが低いと考えられる。

一方、TVOD（都度課金型動画配信）は、コンテンツごとの課金が主体となるため、コンテンツ自体の独占性や先出し、オリジナリティなど相応の価値が求められることから、放送での編成が優先される場合は配信をファーストウィンドーとすることが難しいため、実施割合は低いとみられる。

CEATEC 2019に出展

8Kサイネージ映像配信
ソシオネクスト　4面液晶マルチでデモ



8Kライブ映像配信ソリューション

ソシオネクストは、10月15―18日に千葉市美浜区の幕張メッセで開かれた「CEATEC 2019」に出展し、民生用製品から産業機器まで幅広いアプリケーションにおける、さまざまな課題を、同社の技術でどう解決できるのかをデモによって説明した。

8Kサイネージ映像配信ソリューション／4K・8Kリアルタイム映像配信では、8K対応の4面液晶マルチビジョンを使って、4K・8K映像のリアルタイム配信をデモした。

同社では「スポーツほか各種イベントのライブ配信をはじめ、セキュリティーカメラ、遠隔地医療など、さまざまなアプリケーションでの活用が期待される」と説明していた。

8Kストリーミングエンコーダー「e8（イーエイト）」は、リアルタイム・ライブストリーミングに最適な8K／60p対応エンコーダーでパブリックビューイングなどのリアルタイム・ライブストリーミングに適しているという。

8Kメディアプレーヤー「s8（エスエイト）」は、8K映像の高精細な画質を最大限に活用できるパブリックビューイングやサイネージなどのアプリケーション向け8Kメディアプレーヤーとして提案している。

凸版印刷　アバター技術を活用
多言語AIサイネージ展示
遠隔対話機能と組み合わせ



多言語チャットボット搭載のデジタルサイネージ

凸版印刷は、『心を動かすスマートシティ』をテーマにしてCEATEC 2019に出展。同社が考える4つの成長領域〝である「健康・ライフサイエンス」「教育・文化交流」「都市空間・モビリティ」「エネルギー・食料資源」に基づき、人々の生活に寄り添うさまざまな技術・サービスをデモした。

体験型ブースでは、多言語チャットボット搭載のデジタルサイネージと、アバター操作技術による遠隔対話機能を組み合わせた多言語AIサイネージを展示。音のバリアフリースピーカー「ミライスピーカー」搭載による聞き取りやすい案内、アバター操作技術を活用した遠隔地からリアルタイムのコミュニケーションなどについて説明した。

また、情報通信研究機構（NICT）のニューラル機械翻訳（NMT）エンジンを使用した音声やテキストでの高品質な翻訳による多言語コミュニケーションを実現した様子などを示した。



Visual Research Inc.（VRI）日本総代理店　ジャパンマテリアル株式会社　東京都新宿区西新宿 6-12-1 パークウェスト 8F　TEL 03-5323-0820　http://www.jmgs.jp

FOR-A®

SFP+および
SR Live for HDR に対応

SR Live for HDR

4K/12G-SDI/HDR/広色域対応 2系統プロセッサー
FA-9600

SR Live for HDRはソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社の提唱するHDR映像制作ワークフローです。



1M/Eで12G-SDI 10入力
現場持ち出しに最適

ビデオスイッチャー　HVS-1200



4K収録サーバーとして活躍

マルチチャネルビデオサーバー　MBP-1000VSシリーズ



セキュアな通信環境で
どこからでも簡易中継

モジュラ型トランスミッター Dejero EnGo260
モバイルインターネット接続ソリューション
Dejero GateWay Router

Dejero



株式会社 朋栄 www.for-a.co.jp
Tel: 03-3446-3121 I E-mail: ad@for-a.co.jp

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE ホール4 ブースNo.4206

東京モーターショー2019
各社が多彩な映像演出
大型ディスプレーが活躍

「第46回東京モーターショー2019」が10月24日―11月4日に、東京・有明の東京ビッグサイト西展示場と青海展示場で開催された。モーターショーは毎回、最新の大型映像ディスプレーがそろうことでも注目される。今回は例年にも増して大型映像を使った選出が充実していた。

その中で最大数の大型LEDディスプレーを使っていたのが、ホンダのブースだった。20面以上の大型LEDディスプレーを使い、迫力ある演出を展開していた。

ホンダブースの大型映像は、レイヤード製LEDディスプレーが使われていた。レイヤードジャパン社長の三浦衛氏は「東京モーターショーでは、各ブースで大型LEDディスプレーが活躍していたが、当社製品が目立っていた」と話す。レイヤード製の大型LEDディスプレーはマツダ、日野自動車、ブリヂストンなどでも利用された。

また、トヨタはヒビノの運用でROE社製、スズキは映像センターの運用でグロウシャイン製を使っていた。いずれにしても中国製LEDディスプレーが大半を占めており、日本の大型映像レンタル業界において、中国製品の需要の高さが浮き彫りになった。

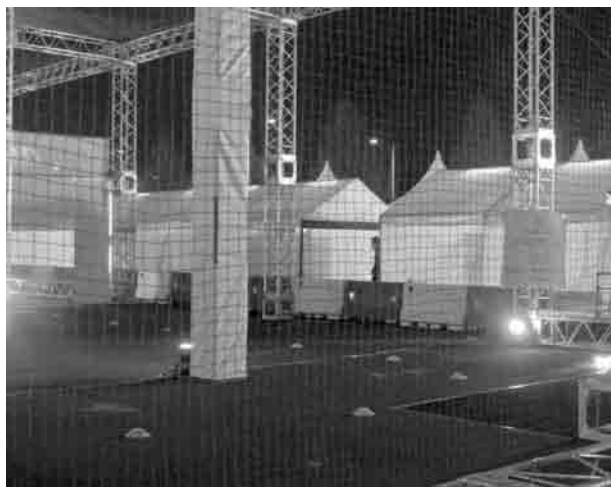


ホンダ


トヨタ


スズキ

東京モーターショー
ドローンのレースを実施
5G使い4K映像で中継


DRIVE PARK青海地区G1エリアなどでドローンレースを実施した

東京モーターショーにおいて11月1、2日の両日、東京・有明のDRIVE PARK青海地区G1エリアなどで、国際航空連盟（FAI）が日本実施を初公認する国際的ドローンレース・カンファレンス「DTRC2019（FAI Drone Tokyo 2019 Racing & Conference）」が開催された。

日本では「空の移動革命に向けた官民協議会」が立ち上がるなど、官民学が一体となりドローンや「空飛ぶクルマ」が前提となった社会を設計しようとしている。その勢いは加速する一方、懐疑的な見方もある。そこで「東京モーターショー」というモビリティが注目されるタイミングに合わせて、社会的受容性を高めるコンテンツを発信することを目的に、ドローンレースとカンファレンスの2つのイベントを実施したという。

新たなコンテンツの可能性体感

ドローンレースは、単なるレースだけでなく、音楽イベントの中を飛び回るドローンおよびアイドルグループ日向坂46による新しいエンターテインメントの提供や、KDDI協力による5G（第5世代移動通信システム）を活用して、会場内の大型モニターにドローンで撮影した4K映像を大型モニターでリアルタイム中継する技術などを披露した。

DTRC2019実行委員会では「新たなコンテンツを一挙に体験する場とし、さまざまなものと融合するドローンの可能性を体感することができるコンテンツを提供した」という。

カンファレンスでは、2022年からのドローンの産業利用の実現化の過程における課題を明確化し、課題解決を加速することを目指し多様な議論が繰り広げられた。

VRで住宅内の機能説明
大日本印刷
販売支援システム開発

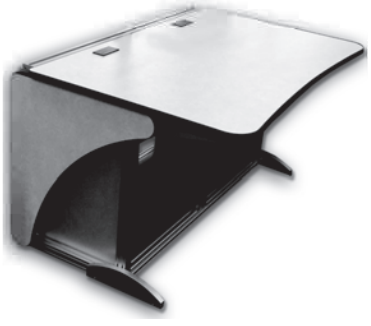
大日本印刷（DNP）は、マンションや戸建て住宅などのCADデータや設計図面をもとに、限りなく実物に近い三次元CGデータを制作し、VR（仮想現実）空間で、多様な間取りやインテリアのコーディネートを疑似的に体験できるシステム「DNPバーチャルエクスペリエンス VRモデルルーム」を開発した。

同システムは、生活者が大画面ディスプレーとHMD（ヘッドマウントディスプレー）を装着して体験するもので、モデルルームなどで利用する。

住宅の購入を検討する生活者は、同システムの高精細なVRで、好みの間取りや内装を確認できるため、納得して購入を判断できる。内装は、DNPが多くの住宅メーカーに提供している床やドア、天井などの内装建材の印刷柄データを使用するため、より具体的な表現が可能となっている。

制作したCGデータを「VRモデルルーム」に登録することで、企業は実物のモデルルームを多数作ることなく、多様なマンション、戸建て住宅の間取りや内装のバリエーションの疑似体験を提供できる。

space RAIL
― シンプルで低コスト、そして高い拡張性のデスク ―



メインフレームは拡張性高いアルミフレームを採用し、デザイン性も持ち合わせたコストパフォーマンスに優れたマルチデスクです。
W:1250/1800のサイズで豊富なオプション設定による欲しい機能の組み合わせが可能。
下部ベース部には弊社19インチシステムラック「NEOシリーズ」のラックマウントアングル（オプション）の設定も可能なため、弊社製品との親和性が高いのが魅力です。
【オプション例】







あらゆるソリューション設備（医療／教育／映像／音響／情報）の筐体開発・設計・販売・施工
ニッキャビ株式会社　〒211-0051川崎市中原区宮内2-5-8　E-Mail:niccabi@niccabi.co.jp
TEL:044-766-2111 FAX:044-777-9000　URL:http://www.niccabi.co.jp

EXA RENTAL 4K
EXA INTERNATIONAL
中継、システム系機材を中心に、幅広いラインナップの機材をご用意。映像製作現場でのあらゆるニーズにお答えします。　※地方への発送も承ります。


12G/3G/HD ビデオスイッチャ
HVS-1200


4K/HD ビデオライタ
FVW-700-4K


12G-SDI対応
マルチパーパスシグナルプロセッサ
FA-9600


映像/音声遅延時間調整装置
EDA-1000


マルチビューワ
MV-4320


マルチビューワ
MV-1220


4Kモニタ・波形・レコーダー
BVM-X300 / LV5300 / KiPro ULTRA Plus

株式会社エクサインターナショナル　〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目16番9号
TEL：03-5575-3911 FAX：03-5575-3910 http://www.exa-int.co.jp/

電源レンタル エコパワー 利用事例

紙面作成 オンリースタイル

蓄電型電源レンタルエコパワーの利用が広がっている。実際に利用した各担当者のコメントを紹介。

各社様のご利用概要

路面電車から生中継

中国放送様

広島原爆投下から70年目の8月6日に行われたNEWS23の広島原爆の日のスペシャル番組で当時の被爆しながらも残った市電が今でも大切にメンテナンスされていて走れる状況になっているので、その中から女優の綾瀬はるかさんに移動しながら生中継をしてもらうという企画でした。JNN系列の看板ニュース番組なのでミスは許されず特に電源に関・・・詳細はWebへ



TVドラマ撮影の際の電源確保

某製作会社様

ロケ現場に置いて電源を確保する事が難しい状況が意外と多いので、その際に利用できないかと考え、お試しでお借りしました。やはり、発電機の様に音が出ないのと、大容量なのでとても魅力があります。エコパワーはとても強力でスグにでも導入したいと考えています。エコパワーの存在は、ロケの体制を根本的に変える可能性を感じました・・詳細はWebへ



祇園祭山鉾巡行

京都放送様

2014年、49年ぶりに祇園祭の後祭巡行が復活。河原町御池交差点地点にもカメラを配置し中継放送を実施。AC電源確保出来ず移動式発電機などの騒音を出す電源の配置は困難で、Vマウントバッテリーの4連エクステンダーで、映像伝送のためのFPUに電源供給をしていましたが、バッテリー容量の問題から継続的な運用が困難だった。そこで2015年はエコパワーをレンタルし安定した電源が確保できた。2016年もエコパワーを現用・予備として2台レンタル。300Wの・・・詳細はWebへ





検証撮影

ユーツー様

屋外でカメラ製品4台、PC2台を同時稼働でしたが問題なく電力供給できました・・・詳細はWebへ



マラソンイベントの中継

関西テレビ放送様

Wings for life World Run 2015で全世界配信・地上波放送の依頼がありエコパワーを利用。20時にスタートするマラソンということもありランナーに照明をあてないと収録できない。先頭ランナーが最低でも4時間、最大で5時間強走り続ける。その間バッテリ交換をするタイミングがまったくない。真っ暗な街での開催のため、ある程度の消費電力のライトを使用しなければならない。先頭ランナーを撮影する車に発電機を搭載すると、その騒音で選手の音声が取れない。発電機の排気ガスを換気する必要性と・・・詳細はWebへ



撮影移動車内での電源確保

プログレッシブ様

使用できれば恩の時と思っていましたが、インバーターに搭載しているUPS機能のおかげで車載の1500wインバーターを併用でき、ストレス無く1日中使用できました。オプションで急速充電器をお借りしたので、ホテルにて5時間でフル充電できたのも良かったです。製品には　まったく不満がありませんでした。あえて挙げるとすれば、とても重たいので輸送用ケースに入れたまま運用できると現場的には嬉しいと思います。・・・詳細はWebへ



弊社は　CM・MV等の撮影のDIT・業務を行っています。わかりやすく説明すると撮影機材の運用とDATA管理等です。普段はDESK TOPPCを使用して大容量電源を使用しますが、今回の撮影では車両移動時間に作業しなければならないので、発電機が使用できず　車載のインバーターではこころもたなかったので、御社のエコパワー2500を使用させていただきました。300Wの使用で6時間



実績多数、信頼の電源レンタル エコ・パワー シリーズ

バッテリー式“電源車”



電源レンタル専門店

500VA なら 24 時間動かせる！ オペレーターなし、クルマごと電源レンタル！

エコ・パワー電源車は、軽自動車（ガソリン車）にバッテリー式電源装置を搭載し、クルマごと電源がレンタルできるサービスです。既存のエコ・パワーシリーズ同様に電源装置はバッテリー式、ガソリン不要、静かで排気ガスが出ないため、ゼネレーター（発電機）を使いたくない。使えない。といったシチュエーションでもご使用頂けます。

バッテリー容量：15kWh　最大出力：3kVA　出力電圧：単相 AC100V 単相 AC200V

電源レンタル専門店　検索

WEB サイトに放送局様など多数のご利用事例を掲載しております！



お問い合わせ先　株式会社オンリースタイル

〒169-0074 東京都新宿区北新宿 1-5-2 佐藤ビル2F

平日 10 時～18 時　0120-511-550　info@onlystyle.jp

みんなのタクシー

後部座席IoTサイネージ

関係各社との事業連携を強化



10.1型液晶ディスプレーを使った後部座席IoTサイネージ

みんなのタクシー（東京都台東区）は5日、東京都港区のソニー本社で事業説明会を開き、同社社長の西浦賢治氏が事業開始以降の主な実績や今後の方向性、ソニーとの事業連携強化およびパートナー各社との事業・資本提携などについて説明した。

みんなのタクシーは、東京都内タクシー会社5社（グリーンキャブ、国際自動車、寿交通、大和自動車交通、チェッカーキャブ）と、ソニーおよびソニーペイメントサービスの合弁企業である。同タクシー会社5社が保有するタクシー車両は、11月時点で都内最大規模の1万台を超えている。

西浦社長は、PR会社ベクトルとその子会社のニューステクノロジーの協力を得て実施している、タクシー車内における後部座席IoTサイネージ事業（THE TOKYO TAXI VISION GROWTH）における広告事業について説明。ベクトルは、総合PR会社として8期連続で過去最高売上、最高益を達成しており、年間約2万5000社の安定的な顧客基盤を所有していると話した。

ソニー AIやセンシング技術活用 モビリティ領域への取り組み推進

ソニーは5日、みんなのタクシーの事業説明会に合わせて記者会見を開き、同社との協業を軸にAI（人工知能）やセンシング技術を活用したモビリティ領域への貢献の取り組みを「フューチャー・モビリティー・プロジェクト」として推進することを発表した。

会見したソニー執行役員でAIロボティクス担当の川西泉氏は「第1弾として、みんなのタクシーを通じタクシー会社へAI技術による需要予測サービスを提供する。また、安全運転支援ツールの開発や、モビリティ社会の安心・安全・快適につながるサービス構築などを目指す」と話した。

ソニーの需要予測サービスは、東京都内のタクシー5社の約1万台の走行データを活用して開発した。予測結果はタブレット上のアプリケーションにヒートマップ形式で表示される。ドライバーはこの結果に基づき、効率的な走行ルートが決定できるという。



試験車両（後方）とタクシー会社5社の社長、ソニーの担当者ら

5日から、大和自動車交通が保有するタクシーに搭載されているドライバー用タブレットに、この需要予測アプリを搭載し、商用サービスを開始した。みんなのタクシーに参画するほかのタクシー会社4社についても順次対応する。

このアプリは単に需要予測するだけではなく、乗車点予測、長時間乗車率、空車動態表示、お勧めルート表示、特需発生表示など、タクシー会社の稼働率・売上向上に貢献する多くの機能を搭載する取り組みを推進する」と話した。

交通量が膨大で歩車分離されていない道路も多いなど、東京近郊の交通事情は複雑である。「この環境の中でセンシングデータや運転操作記録（アクセル、ブレーキ、ハンドル操作）を収集・解析することは、より実用的で高いレベルの認識技術を開発していく上で大変重要である。そのため、タクシーと同型の試験車両を用意し、ソニー製イメージセンサーや、LiDARなどの各種センサーを搭載し、東京近郊にてデータ収集のための試験走行を間もなく開始する」と川西氏は説明した。

ソニーでは、この取り組みを通して得られる情報を元に、安心・安全スコアの算出アルゴリズムや、熟練度の高いドライバーとの差分評価技術、さらに安全運転支援ツールの開発を進め、実際のタクシーへも展開し検証も目指す。ドライバー向けの安全運転支援ツールを開発し、将来的なモビリティ全般の安心・安全につながる取り組みを推進する」と話した。

交通量が膨大で歩車分離されていない道路も多いなど、東京近郊の交通事情は複雑である。「この環境の中でセンシングデータや運転操作記録（アクセル、ブレーキ、ハンドル操作）を収集・解析することは、より実用的で高いレベルの認識技術を開発していく上で大変重要である。そのため、タクシーと同型の試験車両を用意し、ソニー製イメージセンサーや、LiDARなどの各種センサーを搭載し、東京近郊にてデータ収集のための試験走行を間もなく開始する」と川西氏は説明した。

ソニーでは、この取り組みを通して得られる情報を元に、安心・安全スコアの算出アルゴリズムや、熟練度の高いドライバーとの差分評価技術、さらに安全運転支援ツールの開発を進め、実際のタクシーへも展開し検証を実施する予定だ。

タクシー後部席における空間で10・1型液晶ディスプレー画面と音声を使ったIoTサイネージ事業は、広告認知と想起度向上につなげている。同社は、映像制作から動画広告配信までサービスを提供する子会社を複数所有しており、みんなのタクシー広告事業は子会社の1つであるニューステクノロジーが手掛けている。

KVM OVER IP システム
ADDER
4Kの編集作業に
高解像度の作業に
XD522
高解像度の延長を可能にした
KVMエクステンダー
最大対応解像度：2560×1600
2048×2048
最大150m 延長
オーディオ伝送(24bit、96kHz)
ADDERLINK INFINITY
IP伝送による非常にフレキシブルな
マトリクスシステム
最大対応解像度：2560×1600
http://www.tacsystem.com/products/adder/
TIDE TAC Import, Distribution & Export
タックシステム株式会社IDE事業部
www.tacsystem.com
〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-5-1 Tel：03-3442-2955
Inter BEE International Broadcast Equipment Exhibition
ホール 6 ブース No.6304

DIGITAL FORECAST
Bridge UHD_HS
Inter BEE 2019 出展
Booth #4310
4K UHD 対応 HDMI 2.0 → 12G-SDI / クワッド 3G-SDI コンバーター
・HDMI 2.0(4K UHD) → 12G-SDI / クワッド 3G-SDI(2SI) 変換
・入力：HDMI 2.0 x 1
・出力：12G-SDI x 2 / 3G-SDI x 4(クワッド 3G-SDI)
・12G-SDI とクワッド 3G-SDI 同時出力可能
・SDI マルチフォーマットサポート (12G / 6G / 3G / HD)
・抜け防止 DC コネクタ採用
2019 年 11 月 11 日 (月) 発売開始！
12.5 INCH WIDE 15.6 INCH WIDE 23.8 INCH WIDE 28 INCH WIDE
UH1250S / UH1560S / UH2380S / UH2800S
12G-SDI 対応 4K Ultra HD 液晶パネル搭載 業務用マルチメディアディスプレイ (12.5 型 /15.6 型 /23.8 型 /28 型)
・4K Ultra HD液晶パネル採用
・選べるサイズ展開 (12.5型/15.6型/23.8型/28型)
・マルチフォーマットSDI入出力 (12G/6G/3G/HD-SDI) 対応
・2種類のクワッド3G-SDI入出力方式対応 (2SI/SQD)
・タリー機能搭載(ミニD-sub 9ピン)
・４ピンXLR電源入力対応
4K UHD
2019 年 12 月 5 日 (木) 発売予定 ― 予約受付中 ―
※UH1250S は販売中
専用キャリーボックス (オプション) 同時発売予定
軽量かつ頑丈なアルミ製で、モニター本体を搭載したまま前後が開閉するため、そのままケーブル類の接続とディスプレイ表示を行うことが可能。
※15.6型、23.8型、28型用のみ
※大阪営業所、事業拡大の為移転しました。(11 月 1 日より新住所で営業開始)
ADTECHNO エーディテクノ
www.ad-techno.com / info@ad-techno.com
株式会社エーディテクノ
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 3-29 FORECAST 市ヶ谷 3F
TEL：03-5206-3330 / FAX：03-5206-3339
[大阪営業所]
〒553-0003 大阪市福島区福島 5-13-18 福島ビル 7 階
TEL：06-6451-0050

進むライブ制作のＩＰ化

11月13－15日 千葉・幕張メッセ



放送の高度化を後押しする多彩な提案がある（Inter BEE 2018より）

Ｉｎｔｅｒ ＢＥＥ 2019（主催＝電子情報技術産業協会）が11月13－15日の3日間、千葉・幕張メッセで開催される。人々の情報接触の主体がモバイルデバイスにシフトしつつある中で、放送にも大きな変化が必要になってきた。今回のＩｎｔｅｒ ＢＥＥは、次世代放送に対応する設備、番組制作環境が焦点になる。ＩＰライブ制作が着実に浸透する一方、新たな映像符号化方式、８Ｋの応用範囲の拡大の動きも見られそうだ。

パナソニックが本格対応

パナソニックグループは、映像制作・放送関連機材部門ブースで、ＬＩＶＥ ＩＰ、カメラ、制作業務効率化の各ソリューションゾーンを展開する。

注目のＬＩＶＥ ＩＰソリューションは、次世代ＩＴ／ＩＰプラットフォームを中心に撮影・制作・送出をＩＰで結ぶプロセスを提案。カメラソリューションは、リモートカメラシステムの新製品に、自動追尾ソフトやＮＤＩソリューションを活用した「ＩＰライブストリーミングシステム」など。制作業務効率化ソリューションでは、音声認識による自動文字起こしサービス「Ｐ－ＶｏＴ」や「ファイルワークシステム」など新たなワークスタイルを提案する。

ソニーは、４Ｋ ＨＤＲ／ＨＤ ＳＤＲの同時制作を実現する「ＳＲ Ｌｉｖｅ ｆｏｒ ＨＤＲ」や「ＩＰ Ｌｉｖｅ プロダクションシステム」など、ライブ制作に対応するソリューションを提案する。

ＮＭＩ（Ｎｅｔｗｏｒｋ Ｍｅｄｉａ Ｉｎｔｅｒｆａｃｅ）によるＩＰ Ｌｉｖｅ プロダクションシステムは着実に納入実績を積み上げている。北海道文化放送は、国内地上波テレビ局として初めて、基幹系映像信号のルーティング設備を、ＩＰ Ｌｉｖｅプロダクションシステムをベースに構築し、今年4月から運用を開始した。

ＨＤ－ＳＤＩが混在しているが、今後の制作サブの更新の際には各サブのＩＰ化を図り、スタジオカメラなども含めてＩＰへの段階的な統合を図りたい意向だ。

今後もローカル局では、設備更新に合わせてＩＰ化を進めるケースが増えると考えられ、ＩＰ Ｌｉｖｅプロダクションシステムの存在感がさらに高まる可能性がある。

朋栄は、ブース内を「トータルマネージメント」「スイッチャー／ルーティングスイッチャー」「プロセッサー」「ファイルベース」「グラフィックス」「スーパースローモーションカメラ」「輸入取扱製品」の7つのエリアに分けて展示。12Ｇ－ＳＤＩ／ＩＰ製品、ＨＤＲ対応製品、グラフィックス関連製品などを組み合わせ、制作現場の省力化・自動化というニーズに対応可能な製品／ソリューションを出展する。

トータルマネージメント」では、12Ｇ－ＳＤＩ／ＩＰ、グラフィックスなどの技術基盤を活用し、信号分配や回線、ライブ制作、編集制作の各環境の統合を実現する製品を実演する。

池上通信機も、４Ｋ／ＨＤ番組制作における「ＨＤＲ」「12Ｇ－ＳＤＩ」「ＩＰ」に対する取り組みを前面に打ち出す。４Ｋ／ＩＰ伝送対応ＦＰＵ装置「ＰＦ－９００」を投入。新たにＡＲＩＢ Ｂ71規格にも対応した。この製品は、既存の設備を変更することなく４Ｋ伝送を可能にする。

「ＩＰ Ｒｅａｄｙ」訴求

ＮＥＣは、「ＩＰソリューション」「クラウドファイルベース」といった、新世代の放送設備を提案。演奏所のＩＰ・ソフト化への取り組みでは、放送に必要なすべての信号のＩＰ化対応や周辺システムまで含めた「ＩＰ Ｒｅａｄｙ」を訴求する。映像のクラウド管理によりロケーションフリーの作業環境、さらなる速報性、設備最適化を実現するクラウドファイルベースを提案する。８Ｋの応用範囲も拡大する。ＮＨＫテクノロジーズは、８Ｋ級３Ｄ顕微鏡手術映像を上映する一方、リアプロジェクション方式大型４Ｋ８Ｋ映像表示装置による170㌅アクリルスクリーンでの８Ｋ映像上映、マルチモニター方式大型４Ｋ８Ｋ映像表示装置によるＰＶ設備（110型、120型）、遠隔地より公衆回線を利用して複数個所へ配信できる８Ｋライブ配信システムで、高精細８Ｋライブ映像配信を実演する。

アストロデザインも「さまざまな産業分野への８Ｋ応用」をメインテーマに、これまで培ってきた超高精細映像技術とその応用事例を幅広く展開する。

８Ｋ産業利用ゾーンでは、最新の小型８Ｋ12ＯＨｚ対応カメラとＴａｍａｚｏｎｅ Ｗｏｒｋｓｔａｔｉｏｎの組み合わせによる映像解析アプリケーションや、ＶＲシステム、伝送システムなど、さまざまな産業分野における８Ｋ映像の活用方法を提案する。

ミハル通信は「ハイブリッドキャスト４Ｋビデオ」と「８Ｋ映像伝送システム」をデモ展示する。

「ハイブリッドキャスト４Ｋビデオ」は地上波テレビ局やＣＡＴＶ事業者はもとより、スタジアムやレース場、学校、公共施設などが、マルチチャンネルの４Ｋ動画を通常の４Ｋテレビ（ハイブリッドキャスト４Ｋビデオ対応機種）に配信できるシステムとして。また、ＣＡＴＶ局のコミチャンでのイベント中継（スポーツ、お祭り）や、スタジアムやコンサート会場などの施設内のライブ中継を映すテレビへの応用が可能なシステムとして提案する。

「８Ｋ映像伝送システム」は８Ｋ ＨＥＶＣエンコーダー（開発中）とＩＳＤＢ－Ｓ３変調器を使って８Ｋコンテンツを、汎用の８Ｋテレビに映し出すデモをする。

８Ｋは応用範囲を拡大

オーディオ・ビジュアルネットワークがさらに簡単に
GigaCore イーサネットスイッチ用管理ソフトウェア
Araneo（アラネオ）新登場

- ネットワーク全体を一つの管理画面で可視化
- 様々な情報を表示させネットワークを一括監視
- グループ（VLAN）機能は全体を俯瞰しながら簡単設定
- 追加料金なしで利用可能

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2019
11.13(水) ≫ 15(金) 幕張メッセ
弊社ブースで随時デモを実施します
お気軽にお立ち寄りください
プロオーディオ部門
Hall 1　ブース #1404

araneo™
収集　分析　接続
Luminex Araneo で検索
www.luminexjapan.co.jp





Luminex GigaCore
イーサネット スイッチ シリーズ

Luminex
NETWORK INTELLIGENCE
ルミネックスジャパン 株式会社
〒141-0001 東京都品川区北品川 5-4-14 イマス北品川ビル 2 階
tel: 03-6417-9653　fax: 03-6417-9654 | sales@luminexjapan.co.jp
MADE IN BELGIUM
※製品画面は Light Mode です。背景が黒の Dark Mode もございます。また、ご使用の環境等により画面のデザインが若干異なる場合があります。

次世代放送へ歩み

Inter BEE 2019が開幕

姿現す新符号化方式「VVC」

次世代映像符号化方式「VVC（Versatile Video Coding）」の動きも注目される。

これは、次世代放送や映像配信サービスを見据えた映像符号化方式として、国際標準化団体MPEGとITU－Rが合同で標準化を進めているもの。

HEVCの30－50％の符号化率改善を目標に、20年7月の標準化を目指している。VVCは、次世代地上放送の映像符号化方式としても研究が進められている。

Inter BEEでもそのエンコード映像のデモが見られそうだ。

VVCで4Kの映像を5・2Mbpsという驚異的な低レートでエンコードするデモを予定している出展社がある。BS4Kでは35Mbpsを費やしていることからも、VVCの有効性が分かる。


SDI/IP混在回線センターの提案（Inter BEE 2018 朋栄ブース）

4Kを5・2Mbpsで

一方、カメラレンズでは、富士フイルムが国内初出展となる新製品の4K箱型レンズ「UA107×8・4AF」と「UA125×8」を展開。オートフォーカスの合焦精度や高倍率ならではの画角を示す。シネマレンズでは、フルサイズ対応ズームレンズ「Premista28－100、80－250」を展示する。

キヤノンは、8K映像ソリューションとして、業界最長焦点距離および業界最高の51倍ズームを実現した8K放送用フィールドズームレンズ「UHD－DIGISUPER51」と、業界初の8K放送用ポータブルズームレンズ「7×10・7KASS」を展示。現在開発を進めている8K／HDR対応のカメラ、レンズ、ディスプレーのタッチ&トライもできる。

4Kプロジェクターを4台活用した8Kシアターでは、8Kの精細さと奥行きを体感できる。

編集システムでは、さくら映機が、8K、4K対応の最新環境を提案。8Kについては、8K番組制作に準じたロケ撮影を敢行し、フルスペック フルリアルタイム ダイレクト編集システム「8K Prunus」で編集を実演する「8K番組制作ワークショップ」を開催する。

4Kでは、60p 4回線収録・リアルタイム追っかけマルチカム編集システム「Super4K Prunus」で、ハイライト制作やスロー／リプレイ再生、スイッチングミスの即座の修正作業など、高性能プロダクションサーバーとリアルタイムノンリニア編集機の融合を示す。

LTO関連ではユニテックスが、高速USB接続LTO－8テープ装置「LT80H USB」や、LTOアーカイブソフトウエア「UNITEX ArchiveLT」、PC内蔵多機能型「Dual LTO」を出展する。LT80H USBは、大容量データのバックアップやアーカイブに向いた磁気テープのパフォーマンスを最大限に引き出す、最新LTO－8テープに対応した高速USB接続モデルだ。

コスミックエンジニアリングは、3G／12G－SDI用エンベデッドオーディオモニター、光ファイバー伝送カメラアダプター、3G／12G－SDI用モジュールシステムを展開。4K／12G－SDIをベースにしたコンテンツ制作・収録・送出に資する新製品を示す。

クロスイメージングは、自社開発の気象・防災情報の作画・送出の各種システムで、実際の運用をイメージしたデモンストレーションを実施し、「放送業務総合サービス」をアピールする。

このサービスは、気象・防災情報番組の放送をコンサルティングし、より良い番組作りや運用をサポートするもの。自動作画や音声合成の機能により無人運用を実現。操作性の高いオーサリングツールにより、画角の調整や分かりやすく見ごたえのある気象・防災情報の画面づくりができる。

AI関連の展示も広がっている。AIによるクリエイティブのアシストをテーマにシステム開発に取り組んでいるヌーベルバーググループの3M（サードミーム）は、モルフォ、ねこじゃらし、との3社共同出展をする。Morphoと共同で開発を進めてきた「FACE Target」「REACTION Tracker」の2つをメインに、放送業務自動化を示す。前者は、映像内の複数のターゲットから顔を認識し、AIが自動検出。動きに合わせてサイズ等の微調整が可能なマスクを作成できる。後者は、演出利用されるリアクションワイプを、AIが指定の画角内に最適な顔の位置、サイズなどを微調整し自動的に切り取れる。

AI関連の展示にも広がり

ルミネックス ジャパンは、GigaCore スイッチ用のネットワーク管理ソフトウエア「Araneo（アラネオ）」、イーサネット－IP間コンバートが主流になることを見越した照明向けイーサネット－DMXコンバーター。

電源装置も進化している。バッテリー式電源装置「エコ・パワー シリーズ」のレンタルサービスをするオンリースタイルは、撮影・中継現場、ロケバス車内、イルミネーション、イベント会場、監視カメラ、ドローンの充電など、さまざまなシーンで電源確保ができる点を訴求。エコ・パワー640／5000／2500／1200と用途に合わせたラインアップをそろえた。

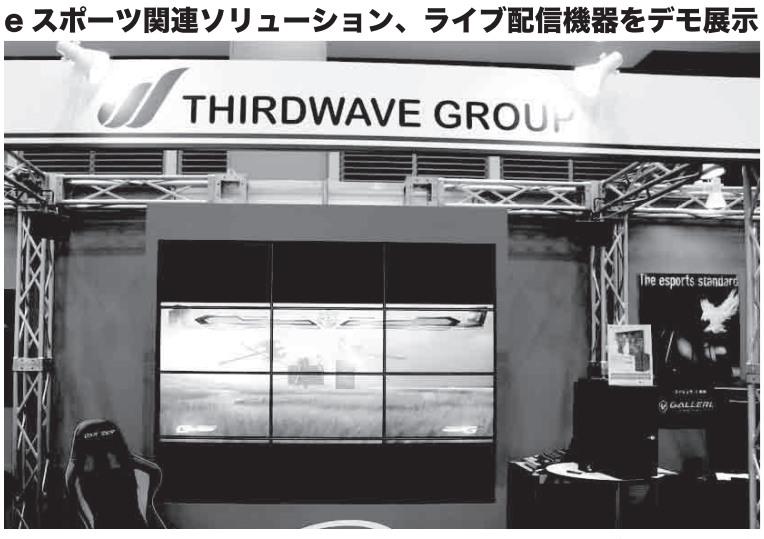
これまでベールに包まれていたイーサネットスイッチのネットワークを1つの画面上で可視化。LumiNodeはIP－IP間コンバートが主流になることを見越した照明向けイーサネット－DMXコンバーター「LumiNode（ルミノード）」、オーディオ・ビジュアル向けイーサネットスイッチ「GigaCore（ギガコア）」の各新製品を中心に展示する。Araneoは、ロケバス車内、イルミネーション、イベント会場、監視カメラ、ドローンの充電など、さまざまなシーンで電源確保ができる点を訴求。エコ・パワー640／5000／2500／1200と用途に合わせたラインアップをそろえた。

Inter Bee 2019 に出展します！

THIRDWAVE サードウェーブ × CYP

CYPRESS TECHNOLOGY

eスポーツ関連ソリューション、ライブ配信機器をデモ展示



※ブースイメージ

サードウェーブの出展ブースでは、「eスポーツ」と「映像」をテーマにした展示を予定しており、ライブ配信機材も同時に展示いたします。
「eスポーツ」の体験が可能な機材も取り揃えておりますので、是非ご来場ください。

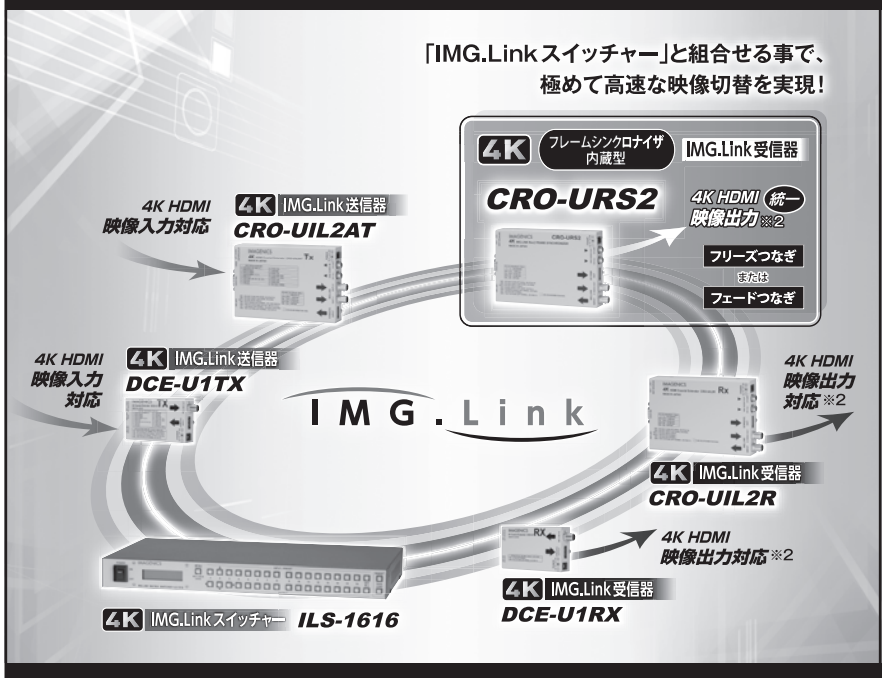
Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2019 11.13(水)»15(金) 幕張メッセ
出展ブース：映像制作 / 放送関連機材部門 / ホール8 / 小間番号 8211

製品に関するお問合せはこちら
株式会社 サードウェーブ 法人営業統括本部
☎ 03-5294-2041
03-3256-2532
受付時間 平日 9:00～18:00
sales_hq@twave.co.jp

設計から製造までメイド・イン・Japanの信頼品質
IMAGENICS

4K HDMI映像を同軸ケーブル1本で伝送する
IMG.Link 4K シリーズに、
フレームシンクロナイザ内蔵型受信器 登場！

HDMI信号4K60p（4:4:4）　同軸ケーブル1本　最長210m伝送※1



■IMG.Link機器間の同軸ケーブル長は、最長210m。※1
■1/2から1/5程度のビジュアルロスレス圧縮伝送。※3
■従来のIMG.Linkスイッチャーや分配器との組合せも可能！

※1 L-7CHDケーブル使用、ノーマルモード時　※2 条件により、4Kからフルに自動ダウンコンバート出力
※3 SILEX INSIGHT社のVC-2 HQ低遅延映像圧縮技術を採用

イメージニクス株式会社
東京営業所 TEL.03-3464-1401 / 大阪営業所 TEL.06-6354-9599 / 福岡営業所 TEL.092-483-4011　http://www.imagenics.co.jp/

特集 Inter BEE 2019 出展概要 1
International Broadcast Equipment Exhibition

ライブIPソリューション提案

パナソニック

【ブースNo. 2514/1209】

パナソニックグループ（パナソニック、パナソニック システムソリューションズ ジャパン）は、映像制作・放送関連機材部門、プロオーディオ部門に同時出展する。

映像制作・放送関連機材部門ブースでは「報道も・スポーツも・制作も。すべてをライブで魅せるLIVE IP×solution」をテーマに、4つのゾーンを設ける。

LIVE IPソリューションゾーンでは、次世代IT/IPプラットフォームを中心に撮影・制作・送出をIPで結ぶプロセスを提案。8K ROIカメラシステムや4Kスタジオカメラシステム、リアルタイム字幕制作システムと組み合わせることで、高度な映像表現と業務効率化を両立する制作方法を、スポーツ中継を再現したデモを通じて披露する。

カメラソリューションゾーンでは、発売10周年を迎えたリモートカメラシステムの新製品を展示。自動追尾ソフトやNDIソリューションを活用した「IPライブストリーミングシステム」など使い勝手を向上させる提案をする。ENG用には、4K/HDR制作とIP接続に対応する「CXシリーズ」第2弾「AJ-CX4000GJ」を体験できる。

制作業務効率化ソリューションゾーンでは、音声認識による自動文字起こしサービス「P-VoT」や、現場負担の軽減につながる「ファイルワークシステム」を展示。働き方改革を推進する新たなワークスタイルを提案する。

4K8Kソリューションゾーンではライブ送出で高画質化を推進する機器として、8K対応有機CMOSイメージセンサーを採用したカメラシステム、4Kや12G対応の小型ライブスイッチャー「AV-UHS500」を展示する。

また、ホール6のアマゾン ウェブ サービス ジャパンのブースでは、パナソニックの映像制作機材がつくる「クラウドワークフロー」「情報カメラライブ映像の収録・管理システム」と「P-VoT」を共同出展する



AJ-CX4000GJ

プロオーディオ部門ブースでは、「Beyond the Legacy」のテーマのもと「RAMSA」を中心とした新製品を展示。小規模空間に適した高音質2WAY方式のニアフィールドスピーカーや、大規模空間の音場を支えるラインアレイスピーカーと合わせて音作りをサポートする。ラインアレイスピーカーは「INTER BEE EXPERIENCE:X-Speaker」で試聴できる。

ポータブルワイヤレスアンプやワイヤレスマイクの新商品、RAMSAとTechnicsのターンテーブルシステムが融合したDJパフォーマンスも体験できる。

さくら映機

【ブースNo. 7413】

8K番組制作ワークショップを実施。「8K映像のチカラ」を作品に込めるために編集はどうあるべきか。このテーマに挑戦するために8K番組制作に準じたロケ撮影を敢行し、ブース内で編集の実演公開をする。

出展製品は、フルスペックフルリアルタイム ダイレクト編集システム「8K Prunus」。8K/60p対応のリアルタイム編集システムとして実際の制作現場で活躍してきた8K Prunusのニューモデルが誕生。ワークステーション1台で収録からファイル出力までをカバーするダイレクト編集が8K映像制作を新たな次元へと導く。

4K60p 4回線収録・リアルタイム追っかけマルチカム編集システム「Super 4K Prunus」を展示。ハイライト制作やスロー/リプレイ再生、スイッチングミスによる即座の修正作業など、高性能プロダクションサーバーとリアルタイムノンリニア編集機の融合を披露する。

独自の機能でダイレクト4K編集を支える、フルスペック フルリアルタイム ダイレクト編集システム「4K Prunus」は、Ver2.0にバージョンアップした。各種カメラによるHEVCコーデックのネイティブ対応のほか、新たに4K/HD-SDIからの編集プレビュー同時出力に対応し、HD制作を念頭においた4K編集環境を提案する。



Prunus

170型スクリーンで8K上映

NHKテクノロジーズ

【ブースNo. 3113】

NHKテクノロジーズは、今年4月1日に、旧NHKアイテックと旧NHKメディアテクノロジーが統合し、総合技術会社としてさらに進化する形で発足した。今回は統合後、初めての展示会出展となる。

主な出展内容は、①独自に開発した世界初となる「8K級3D顕微鏡手術撮影システム」を用いた脳神経外科手術映像を上映、②「リアプロジェクション方式大型4K8K映像表示装置」として、170型アクリルスクリーンで8K映像を上映、③マルチモニター方式大型4K8K映像表示装置として、PV設備（110型、120型）を展示、④複数個所へ配信可能な8Kライブ配信システムにより、遠隔地より公衆回線を利用した8K映像を配信、⑤4K番組送出システムとして、CATV向けに開発。自主放送に加え「ハイブリッドキャスト環境」などインターネットを使用し4Kを放送・配信できる環境を提案、⑥「ハイブリッドキャストサービス」による、ライブ配信、蓄積コンテンツ配信、情報配信のサービスイメージを展示――となっている。



特集 Inter BEE 2019 出展概要 2
International Broadcast Equipment Exhibition

4K HDR/HD SDRを同時制作

ソニー

【ブースNo. 6113】

ソニーは、「ともに創る。ともに進む。Live Your Vision」をテーマに出展。4K HDR/HD SDRの同時制作を実現する「SR Live for HDR」や「IP Live プロダクションシステム」など多様化するライブ制作に対応するソリューションを提案する。

そのほか、ワイヤレス取材ソリューション「XDCAM air」、Media Backbone報道ソリューション、HDR対応モニター、スマホインカムサービス「Callsign」やAIソリューションも展示。8K×4KのCrystal LEDディスプレーシステムでは、8K 120p HDRで撮影した映像を上映する。

「4Kライブ映像制作」では、マルチフォーマットスタジオカメラ「HDC-5000」、カメラコントロールユニット「HDCU-5000」、レコーディングオプションボード「HKCU-REC55」、放送設備の効率活用をサポートする「Live Element Orchestrator」を展示。

カムコーダーラインアップとしては、XDCAMメモリーカムコーダー「FX9」、フルサイズ対応大口径広角ズームレンズ「FE C 16-35mm T3.1 G」、XDCAMショルダーカムコーダー「PXW-Z750」をそろえる。



FX9

フジミック

【ブースNo. 7305】

リスピーク方式に加えて「ライン入力方式」と「テイク方式」を可能にしたハイブリッド方式のリアルタイム字幕制作システムと、ローカル放送局のストレートニュースをリモート環境で検証したトライアル事例について説明する。

自動放送サービス「DERTA（デルタ）」は、気象情報や鉄道情報をフジミックの自動原稿生成技術により原稿化。音声合成技術と組み合わせることでラジオ放送の無人化、自動化を実現する。

ネットニュース配信システムは、ニュースコンテンツを各種ネットニュース媒体・SNSに向け一括配信。映像の自動取り込み、動画の簡易編集から記事入力、各種媒体への配信までワンストップで実施可能なシステムを提案する。

このほか、AIを利用したCM放送順位付けサービスや、フジテレビジョンが導入した総合コンテンツ管理システム（MAM）について解説する。

エス・シー・アライアンス

【ブースNo. 2112】

海外取引先メーカーから発表された新製品を国内初出展する。米TelosグループのOmnia社からはアナログMPX信号を直接320kbpsでIP伝送するインタフェース「Omina MPX Node」を展示する。また、Telos社からはAoIP対応のインカムシステム「Infinity」を参考出展。AoIP対応コンソールシステムのユーザーは、既存のオーディオネットワークをインカム用にも使用できるため、インカムシステムを追加で導入しやすいメリットがある。

英BW Broadcast社からはFM送信機「TX50-V3」を展示する。出力は5-50Wまで対応で主にコミュニティFMの送信機として適する。FM同期放送にも対応できるよう従来機種より改良されている。

仏Digigram社からは今後の5Gにも対応するIPコーデック「IQOYA TALK」を出展。中継用途やトークショーに最適なポータブルオーディオIPコーデックで、1台で最大4人のゲストにスタジオ品質のインタビューが可能。また、昨年のInter BEEで初出展した自社開発のラジオ局向け放送システム「Harmony」も国内導入が始まり、今回も展示する。

8Kを多様な産業分野で応用

アストロデザイン

【ブースNo. 3114】

「さまざまな産業分野への8K応用」をメインテーマとして、アストロデザインがこれまで培ってきた超高精細映像技術と、その応用事例を幅広く展開する。また、直近のニーズに対応する実用性の高い放送機器や計測機器についても提案する。

「8K産業利用ゾーン」では、最新の小型8K120Hz対応カメラとTamazone Workstationの組み合わせによる8K映像解析アプリケーションや、 8KVRシステム、8K伝送システムなど、さまざまな産業分野における8K映像の活用方法を提案する。

「8K放送ゾーン」には、8Kカムコーダーや光伝送装置などのカメラ周辺機器、スロー再生に対応した8Kビデオサーバーといった8K映像制作に欠かせない機器を展示。

「8Kシアター」では、NHKエンタープライズとNHKテクノロジーズの共同制作による8K 3Dインタラクティブ映像作品『カナシミの国のアリス』を上映する。8K 2D映像は、共同出展のデルタのブース内で鑑賞できる。

また「4K/2K放送ゾーン」は、UI改良によりさらに使いやすくなった4Kコンバーターのほか、4Kインサーター、PIDチェッカー、液晶モニターなど4K/HD放送の現場で必要な機器群をそろえる。



8K120Hz対応カメラ「AB-4815」

「計測ゾーン」では、8Kカメラやレンズの解像度特性を測る8KリアルタイムMTF測定装置のほか、HDMI2.1に対応した最新の信号発生器などを展示する。

www.tokyobs.co.jp
株式会社東京舞台照明
Anywher Anytime
LED version
GLX IP 4K,8Kに High CRI Version も
GL8 IP
GLW760 IP
LPAR-7 IP
常設用 LED
雨でもそのまま使える IP65
6hall 6301Booth
東京舞台照明

Leader
高解像度の追求!!
8K Waveform Monitor
4K-25G IP 25G IP Option
NEW!
【新製品】
●LV5900 8K対応波形モニター
●LV5600 波形モニター / LV7600 ラスタライザー
・4K-IP対応オプション（25Gb/s）
・4K-IP対応パターンジェネレーターオプション（25Gb/s）
・ノイズメーターオプション
●LT4610 / LT4611 シンクジェネレーター
・8Kパターンジェネレーターオプション
【従来製品】
●ZENシリーズ
IP&SDI ハイブリッド 12G/6G/3G/HD/SDI/IP対応
・LV5600 波形モニター（SDI,EYE,IP オプション）
・LV7600 ラスタライザー（SDI,EYE,IP オプション）
・LV5300 波形モニター（SDI,EYE標準）
・LV5350 波形モニター（SDI標準）
・LV7300 ラスタライザー（SDI,EYE オプション）
●ジェネレーター
・LT4610 / LT4611 シンクジェネレーター（GPS/12G/PTP オプション）
リーダー電子株式会社
本社・国内営業部 横浜市港北区綱島東2-6-33 TEL(045)541-2122(代) 関西(06)6192-1152
https://www.leader.co.jp

FUJIFILM
Value from Innovation

FUJINON
4K ULTRA HD
TELEVISION LENSES
AF
ADVANCED FOCUS



2020年春発売予定

UA107x8.4BESM AF

◆放送用4K箱型ズームレンズで世界初※のAF機能を搭載

◆被写体保持特性により、障害物が遮っても元の被写体へのフォーカスを維持

◆フォーカスの正確性が格段に改良し、4K映像に相応しいフォーカス精度を実現

※放送用4K箱型ズームレンズで世界初。当社調べ。2019年8月14日時点の公開情報に基づく。

富士フイルム株式会社　■お問い合わせ先　光学・電子映像事業部 国内販売グループ　〒331-9624 埼玉県さいたま市北区植竹町1-324
URL: https://fujifilm.jp/business/broadcastcinema/lens/

特集 Inter BEE 2019 出展概要 3
International Broadcast Equipment Exhibition

8K対応の3DCGシステム披露

ジャパンマテリアル

【ブースNo. 4203】

Visual Research社リアルタイム3Dオンエアグラフィックスシステム「KarismaCG 8K」は、7680×4320 50p/60pのフルスクリーンで美しい3Dグラフィックスをリアルタイムで送出する。8Kに対応。

Matrox社 4K対応ストリーミングエンコーダー新製品「Monarch EDGE」は、4Kリモートプロダクション・ウェブ配信用エンコーダー。12G SDIまたはST2110からの4K映像をストリーミングにエンコード可能。

VNS社からは、今冬発売のエッジブレンディングプロセッサー「M800EXシリーズ」を展示。同シリーズは、任意のエリアをマスキング可能な新機能を搭載。



Monarch EDGE



KarismaCG 8K

MuxLab社のIP伝送ビデオウォールシステムは、複数のディスプレーにマルチ・拡大・縮小・画面をまたいで表示するレイアウト設定ができ、タブレットやコントロールパネルから切り替え可能。

ContourDesign社エルゴノミクスインプットデバイス「Shuttle PRO v2/ Shuttle Xpress」は、ビデオ編集/DTM/DTPや医療画像診断などに最適な多目的マルチコントローラー。ロータリー式ジョグホイール・リターン式シャトルホイール・15個のプログラミングボタンで作業効率がアップする。

トラフィック・シム

【ブースNo. 5206】

4K・8K対応ソフトウエアプレイヤー「Jack」、TLV/MMT監視、ISDB-S3/S復調器、ACASデスクランブラや、地上デジタル放送の監視・同録システム、ポータブルTSレコーディングアナライザー「HACOBE2+」などを出展する。

4K・8K対応ソフトウエアプレイヤー「Jack」は、4K/8K同録システムを実現。HEVC/H.265対応。字幕表示、データ放送表示、デスクランブルと続々と機能を追加予定。ユーザーの運用に応じてカスタマイズが可能。同録期間や帯域などに応じて提案する。

ISDB-S3/S復調器は、高度BS-IFを受信し、単一TLVのIP出力が可能。トランスポンダ内に複数のTSIDがある場合、TSIDを選択して出力できる。単一TLVはNULLパケットを削除して出力可能。マルチキャスト出力に対応する。

SWIT／エルグベンチャーズ

【ブースNo. 5405/5408】

SWIT製品のHDR対応12G-SDI液晶4K UHDモニター、明るさ3000nit・高輝度ENGモニター、350W Bi-voltageVマウントバッテリー、航空輸送対応セパレートバッテリー、DC出力付き各種DVバッテリー、6A超急速チャージャー、パワーボックスステーション、RGBW LEDパネルライトなどを出展する。

SWIT社は1996年に設立された、カメラ用バッテリーや各種映像モニター、LEDライト、無線伝送装置を中心とした業務用映像関連機材メーカー。中国・南京に本社を構えている。日本ではエルグベンチャーズが総代理店をしている。

自動音声認識を利用した装置

シナジー

【ブースNo. 4415】

ToolsOnAir社のインジェスト、マルチカメラ制作、ライブ制作/送出、放送キャラクタージェネレーター/送出機能を持つ放送スイート「just:」シリーズから、Final Cut ProやアビッドMedia Composer、Premiere Proによる追いかけ編集に対応したマルチビデオストリームインジェストソリューション、マルチカメラ制作、収録から編集までのライブ制作システムを展示する。また、文字、ロゴ、人物、物体をAIによる画像認識と自動音声認識を併用して検出し、メタデータを自動付与する「ReCAP」および自動音声認識を利用した字幕生成システム「just:CC」を披露する。

Pomfort「Silverstack」は、映画製作・CM撮影で幅広く利用されている撮影データのチェック、チェックサムベリファイによる安全確実なデータのコピー、強力なクリップライブラリーによる撮影データの整理・分類、編集やグレーディングなど、ポストプロ工程への引き渡しを円滑化するデータマネジメントソフトウエア。

Projective「Strawberry」は、共有ストレージを利用した映像編集環境におけるコンテンツとプロジェクト管理をする編集プロジェクト管理サーバーシステム。

DaVinch Resolveワークステーションは、4Kやフィルムスキャナー利用時の高解像度データ利用時のリファレンスシステムとして構築した。

Archiware P5は、データ消失に備える機能や、データの再利用を前提としたアーカイブなどの機能を組み合わせて導入できる統合データセキュリティーソフトウエア。今回は、クラウド連携を強化した新バージョンを展示する。



ToolsOnAir「ReCAP」

シナジー「MIDO NAS」は、10Gbイーサネット、オプションで40Gbイーサネット端子を搭載可能な映像制作用途向けの国産NASストレージ。4K編集などの映像制作で高い実績を持つ。



SIMPLY LIVE ▶ ViBoxシリーズ、ビデオサーバーシステム

Vibox シリーズは 3 種類のハードウェアがあり、映像 / 音声処理を行うバックエンドソフトウェアの上に、異なった機能を持つ 4 種のアプリケーションソフトによるシステムです。

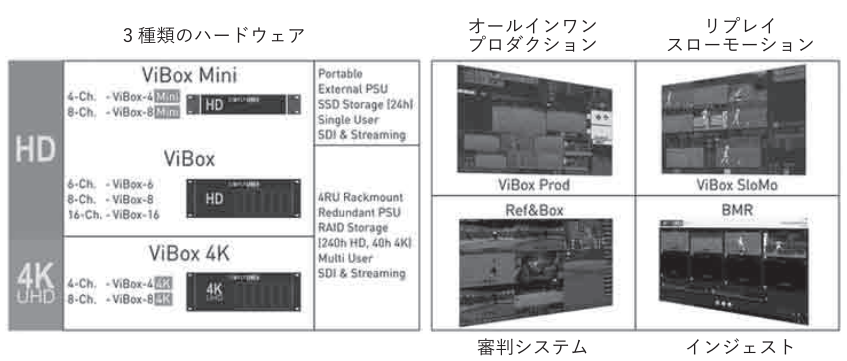
1．**Vibox** オールインワン･プロダクション システム
4/8/16 入力の同時収録、ビデオスイッチング、オーディオミキシング、ダウンストリームキーヤ、撮って出し再生、プレイリスト再生機能

2．**ViBox SloMo** リプレイ／スローモーション システム
4/6 入力の撮って出しスロー専用システム

3．**Ref&Box** ビデオ判定／審判システム
4/8/16 入力の同時収録／再生、選択したアングルのピンチアンドズーム機能を持った審判システム

4．**BMR8** インジェストサーバー システム
8 入力のベースバンド映像を収録し、ファイル化と同時にストリーミングする機能

ViBox SloMo 及び BMR8 には 4K 対応版もあります。





武蔵エスアイ株式会社
〒161-0033　東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F
TEL：03-5996-7455　FAX：03-5982-4784
http://www.musashi-si.co.jp

特集 Inter BEE 2019 出展概要 4
International Broadcast Equipment Exhibition

中継現場と局内設備をIP接続

グラスバレー

【ブースNo. 7313】

グラスバレーは、アプリケーションごとに展示し、最新のワークフローを提案する。注目されているリモートプロダクション、東京五輪での活躍も期待されるカメラを用いたHDR制作、今や数少ない日本開発の編集システムとなったEDIUSの8K対応、ハイエンド編集/カラーグレーディングシステム「Rio」の最新バージョンを出展する。

「Remote/At-Home Production」ゾーンでは、ライブ中継の現場と局内設備をIPで接続、現場に持ち込む機材と人員を最小限にすることで、ライブ制作の効率を大幅にアップする、End to EndのIPソリューションを展示するとともに、海外のリモートプロダクション事例も多数紹介する。

このゾーンの主な出展製品は、4Kシステムカメラ「LDX 86N with Direct IP+」、プロダクションスイッチャー「Kula IP」、リプレイシステム「LiveTouch IP」、IPスイッチ「GV Fabric」、IP SDIゲートウェイ「IQUCP25」、IPマルチビューワー「MV-820-IP」、統合型設定・管理・監視システム「GV Orbit」など。

「Belden Connectivity」ゾーンでは、映像、音声、ネットワーク、さまざまな用途で高品質を提供する接続ソリューションを披露する。



Remote/At-Home Production

NHK／JEITA

【ブースNo. 6404】

展示のテーマは「8Kスポーツ」。最新の8Kスポーツコンテンツや、8K大規模中継の制作現場の様子を伝える。また、スポーツ中継には欠かせない8Kワイヤレスカメラや、2K/4K/8Kといった、さまざまな映像フォーマットに応じた柔軟な番組制作を実現できるIP番組制作システムのクラウト化に向けた技術も解説する。

8Kスポーツコンテンツは、NHKが開発したシートタイプの88型8K有機ELディスプレーを使い、22.2マルチチャンネル音響で上映する。

メーカー各社の新4K8K衛星放送に対応したテレビのほか、これまでに発売された4K対応テレビで新4K8K衛星放送を見るための外付けチューナーや録画機などを展示。また,新4K8K衛星放送の基本的な受信方法から、周波数変換方式や光伝送方式など、多様化する受信設備の改修方法についてのシステムイメージを示す。

アイ・ディ・ケイ

【ブースNo.5409】

AVC統合型システムソリューションとして、4Kリアルタイム伝送AV over IP「IP-NINJAR」、ヤマハとのコラボレーションによるAVコントロールシステム「MSD+Pro Visionaire」、会議室システムを低コストで実現可能なオールインワンスイッチャー「MSD-701AMP」を中心に展示する。

また、4K対応にリニューアルをしたHDBaseT分配延長器「HDCシリーズ」や4K中央監視システムを実現するスイッチャー・ビデオプロセッサーを出展。

さらに、ワイヤレス接続によるプレゼンテーションと映像配信を実現する「Huddle Hub One」など、次世代ProAVシステムをサポートする各種映像機器の展示デモを実施する。

効率的なワークフローを提案

フォトロン

【ブースNo. 6403】

フォトロンは、従来の映像制作を効率的に改善するための新しいワークフローを提案する。各作業に特化した製品やサービスだけでなく、ワークフローとしてシステムアップした場合のメリットや運用イメージを示す。

IPとSDI、クラウドとオンプレなど、それぞれの制作によって最適な形を選択できるよう、各製品コーナーではスペシャリストが詳細に説明。8K/4Kに対応した編集・グレーディングツール、ライブ/スマートプロダクションシステム、リアルタイムグラフィックシステム、クラウド編集やテロップツール、ストレージ、パッケージング用トランスコードシステム、ファイル転送サービス、働き方改革を訴求するモバイル編集アプリなど、映像制作全体をカバーするソリューションを提案する。

Sportsゾーンでは、ハイエンドプロダクションサーバー「XT-VIA」を中心としたラインアップを展示。また、VoIPベースで高速、かつ長距離での映像共有を可能とした「XNET-VIA」も出展する。ライブスイッチング、スローリプレイ、ハイライト、グラフィック、オーディオミキシングなどライブプロダクションに必要な機能を2Uのサーバーに搭載した「X-ONE」で、従来のプロダクションから進化するスマートプロダクションを提案する。

また、アマゾンウェブサービスジャパンブース（No.6401）内フォトロンコーナーに、クラウド制作フロー対応の新サービス



Sportsゾーンで展示する「EVS X-ONE」

「Pharos（仮称）」を初出展。「Pharos（仮称）」は、完成原版などのメディアや資料等のデータを一括で管理し、活用する国産・自社開発のサービスとなっている。そのほか、AIによるSpeech To Textやトランスコードサービス連携、Cloud編集などの製品も出展する。



特集 Inter BEE 2019 出展概要 5
International Broadcast Equipment Exhibition

制作現場の省力化・自動化対応

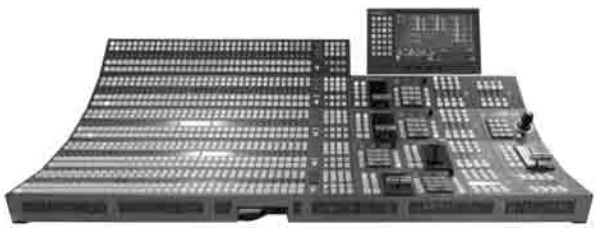
朋栄

【ブースNo. 4206】

朋栄は、「FOR-A World of Possibilities（無限の可能性に向けて）」をメインテーマとして継続しながら、ブース内を「トータルマネージメント」「スイッチャー/ルーティングスイッチャー」「プロセッサー」「ファイルベース」「グラフィックス」「スーパースローモーションカメラ」「輸入取扱製品」の7つのエリアに分けて展示する。12G-SDI/IP製品、HDR対応製品、グラフィックス関連製品などを組み合わせ、制作現場の省力化・自動化というニーズに対応可能な製品/ソリューションを出展する。

「トータルマネージメント」では、12G-SDI/IP、グラフィックスなどの技術基盤を活用し、信号分配や回線、ライブ制作、編集制作の各環境の統合を実現する製品を展示する。「スイッチャー／ルーティングスイッチャー」では、番組/報道制作に不可欠な各種12G-SDI対応スイッチャーを展示。「HVS-6000/6000M」は全入力が12G-SDIに対応し、2M/E構成に拡張可能。25Gbイーサネット用IPポート8基を備えたIP入出力カードオプションを新たに追加する。ルーティングスイッチャー「MFR-6100」は12G-SDI入出力で最大144入力や144出力のマトリクス構成が可能。入出力はそれぞれ9系統単位で拡張できる。CPU、電源ともに冗長構成が可能。

「プロセッサー」で展示する「FA-9600」は、標準でHD2系統、オプションで4K＋HDの処理が可能。SR Live for HDRに対応するほか、SFP＋オプションも登場。4K HDRディスプレーの設定を連動させるVideo Payload ID連動機能を搭載する。


HVS-6000のパネル（HVS-3355OU）

Insta360

【ブースNo. 8105】

中国・Shenzhen Arashi Vision社のVR球形カメラブランドであるInsta360製品を出展。最大11K解像度の超高画質映像を撮影できるプロ向け360度カメラ「Insta360 TITAN」や、最大8K対応の360度カメラ「Insta360 Pro 2」に加え、軽量コンパクトながら5.7K動画の撮影に対応した高画質360度カメラ「Insta360 ONE X」など、実機を使用したデモを交えながら説明する。

Shenzhen Arashi Vision社は、2014年に中国・シンセンを拠点に設立。Insta360は、90以上の国や地域で広く使用されている。日本国内ではアスクが正規代理店を務める。

3MIM

【ブースNo. 3112】

3MIMでは、「AIがクリエイティブをアシストする。」をテーマにさまざまなシステム開発に取り組んでいる。今回の展示は「3MIM」「Morpho」「ねこじゃらし」の3社が共同出展する。

3MIMとしてはMorphoと共同で開発を進めてきた２つのシステムをメインに展示。「FACE Target」は映像内の複数のターゲットから顔を認識し、AIが自動検出。動きに合わせてサイズなどの微調整が可能なマスクを作成できる。「REACTION Tracker」は演出としてよく利用されるリアクションワイプをAIが指定の画角内に最適な顔の位置、サイズなどを微調整し自動的に切り取ることが可能。２つのシステムをメインに、放送業務自動化に伴うシステムを提案する。

初の8K放送用ポータブルズーム

キヤノン

【ブースNo. 4314】

キヤノンは「高解像度のその先へ。あらゆる映像表現の可能性を超えていく。」をコンセプトに、新製品や最先端技術を展示する。

8K映像ソリューションでは、業界最長焦点距離および業界最高の51倍ズームを実現した8K放送用フィールドズームレンズ「UHD-DIGISUPER 51」と、業界初の8K放送用ポータブルズームレンズ「7×10.7 KAS S」を展示する。現在開発を進めている8K/HDR対応のカメラ、レンズ、ディスプレーのタッチ&トライもできる。4Kプロジェクターを4台活用した8Kシアターでは、8Kならではの精細さと奥行きを体感できる。

映像制作機器CINEMA EOS SYSTEMをはじめとする4K／HDR対応製品群も紹介する。5.9Kフルサイズセンサーと新開発の映像処理プラットフォームを搭載したデジタルシネマカメラの新製品「EOS C500 Mark II」、PLマウントのシネマカメラ用単焦点レンズシリーズ「Sumire Prime」、最大・全白輝度2000カンデラ/平方メートルと高コントラスト200万対1を実現した業務用31型4K/HDRディスプレー「DP-V3120」を体験できる。

実用化段階に進展した、自由視点映像生成システムによるラグビーの試合のハイライトシーンを上映する。自由視点映像は、実際のカメラ位置にとらわれない自由な位置や角度からの映像により、グラウンドの中にいるような体験を提供する。

会期中には、「EOS C500 Mark II」で撮影された映像とともに、


8K放送用ポータブルズームレンズ「7×10.7 KAS S」

4組のクリエイターがその印象や使用感について語るセミナーをブースで開催する。2019年アカデミー賞長編ドキュメンタリー賞を受賞した映画『フリーソロ』のジミー・チン監督への単独インタビューをもとに、CINEMA EOS SYSTEMの魅力についても解説する。

BOLT 4K
DETAIL MATTERS



BOLT 1500：最長伝送距離450m
BOLT 750：最長伝送距離225m

最先端ワイヤレステクノロジーを保有するTeradekが送り出す、
超高品質の無線伝送システム

●BOLT XTシリーズより8倍優れたシグナル性能、伝送距離は従来BOLTの1.5倍
●1台の送信機から、最大6台の受信機に同時接続が可能
●便利なiOS Appが登場。ペアリング設定や、無線チャンネルの混雑状況確認をiPhoneやiPadで
●モデル間の互換性を向上。伝送距離の異なる別モデルの送受信機でも組み合わせ可能に
●HLG, PQ, HDR-10規格に対応（10-bit, 4:2:2）
●解読や傍受からの防御に、AES-256とRSA-1024の2つの暗号化技術を採用

CS TERADEK
4k.teradek.com

株式会社キャムキャスト7 keep on streaming
〒550-0003 大阪市西区京町堀1-4-3 TCFビル5F
TEL 06-6131-9995　FAX 06-6131-9996
http://www.camcast.jp/

Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2019
ホール4 ブースNo.4413

ASTRO
8K 120p カメラシステム
軽量、小型で高精細な映像を撮影



8K 120Hz ポータブルカメラ
AB-4815

Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2019
11.13(水)»15(金) 幕張メッセ
ホール３／小間番号 3114

120p 撮影機材システム

8K120p/60p映像をリアルタイムにVIDEO出力するカメラシステムです。高精細な映像を撮影することが可能なため、細部までありのままを表現することができます。
スポーツ、イベント、監視などさまざまなシーンでご利用頂けます。



アストロデザイン株式会社
URL http://www.astrodesign.co.jp
事業本部（営業）
〒145-0066 東京都大田区南雪谷1-5-2
TEL:03-5734-6301　FAX:03-5734-6102
大阪営業所
〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-27-1010
TEL:06-6328-8558　FAX:06-6328-5058

特集 Inter BEE 2019 出展概要 6
International Broadcast Equipment Exhibition

ライブ映像に対応した各種装置

三信電気/LiveU

【ブースNo. 8215】

三信電気は、イスラエルLiveU社と共同出展し、同社をはじめとする海外メーカー商品を中心に、撮影から編集、送出、配信、アーカイブまでワンストップですべての映像ソリューションを提案する。

LiveU社からは、「LU600」「LU300」「LiveU Solo」などの送信機ラインアップのほか、拡張アンテナ「Xtender」やラックマウント型送信機「LU610」を出展。また、ライブ映像を複数局間で共有する「Matrix」やライブ映像のシーン検索ができる「AIエンジン」、クラウドでライブ映像を切り替え可能な「ストリームセレクター」、配信中のユニットを表示する「タリー」も展示予定。また、4Kや5Gに関する最先端の取り組みも披露する。

Imagine Communicationsからは、SMPTE ST2110に準拠したIP⇔ベースバンドのゲートウエイ装置「Selenio Network Processor」を出展。また分配器、FS、マトリクススイッチャーなどの豊富なラインアップをそろえる。



LU600HEVC㊨とLU300㊧

アビッドテクノロジー

【ブースNo. 6210】

最新バージョンのPro Tools2019やMedia Composer 2019およびAvid Cloud Solution・Fast Serve Streamなど最新のクラウドソリューションを出展する。

メディア制作のためのAvid MediaCentralプラットフォームは、従来のオンプレミスでの利用形態から、そのワークフローをクラウド環境へ持ち込むことが可能。アセットマネージメントのMediaCentral、メディアへのアクセスとシェアをどこにいても可能にするMediaCentral | Cloud UXやNEXIS | CloudStorage、そして編集ツールのMedia Composerなどすべてが、Azure上でAvid on Demandの最新クラウドソリューションとして実行できる。

さらにMediaCentralプラットフォームと緊密に統合されたFastServe | Streamの新たなIPソリューションにより、ニュース、スポーツ、エンターテインメントなどのライブプロダクションで瞬時にコンテンツを収録、編集、送出を実現する。

Avid S4は、中規模スタジオのためのワールドクラス・ミキシング。ファイナル・ミックス・ステージでの標準的存在となったS6のミキシング・パワーを、よりコンパクトな環境でも実現できるようにした。最大24フェーダーまでの拡張性、ならびに最高２台までのPro Toolsシステムが接続可能。

高橋建設

【ブースNo. 4504】

多様化する映像業界では、デジタル化が当然の環境となった。このような情勢のもと、編集現場のエンジニアからの「手軽に、安価で、移設も可能、しかも、高性能なブースが欲しい」という声に応え、簡易型アナウンスブースを提案する。

このアナウンスブースは、パネル施工型（組み立て式）で限られたスペースでも簡単に設置ができる。基本的なサイズ以外でも、設置場所に合わせて対応可能なセミオーダー方式となっている。

解体移設も可能ながら優れた遮音性能（Dr-40）で外部の騒音をシャットアウトし、快適な作業空間を実現する。


簡易型のアナウンスブース

4K箱型レンズを国内で初出展

富士フイルム

【ブースNo. 5306】

「高倍率レンズコーナー」では、新製品の4K箱型レンズ「UA107×8.4 AF」と「UA125×8」が国内初出展となる。オートフォーカスの合焦精度や高倍率ならではの画角を体感できる。「シネマレンズコーナー」は、フルサイズ対応ズームレンズ「Premista28-100、80-250」を展示。「報道レンズコーナー」は、小型・軽量タイプの「UA24×7.8」などをカムコーダーに搭載して出展。担いだ際のバランスや操作感をタッチ＆トライで確認できる。8月に販売を開始した富士フイルム初の望遠監視カメラ「SX800」も出展する。

「スタジオ/中継レンズコーナー」は、ARIA、RBFを搭載した「UA13×4.5」レンズや、寄れて引ける4Kレンズの「UA18×5.5」、「UA27×6.5」などを出展。クレーンや天吊りスタイルで展示することで、現場での操作感がイメージできる。

「西尾レントオール 中継車コーナー」では、12月にレンタルを開始する、レンタル業界初の４K大型中継車を展示する。フジノン4Kレンズも多数採用されており、中継車内からモニターチェックが可能。

「Xコーナー」では、ミラーレスデジタルカメラ最新モデル「FUJIFILM GFX100」や「FUJIFILM X-T3」と、Xシリーズ専用シネマレンズ「FUJINON MKXシリーズ」を組み合わせた小型・軽量の撮影システムをそろえる。



4K箱型レンズ「UA107×8.4AF」

ブースでは、業界初という「屈曲型二軸回転機構レンズ」を搭載し、本体を動かさずにレンズの回転だけでさまざまな方向へ投写できる超短焦点プロジェクター「FP-Z5000」を使い演出する。

InterBEE2019 ホール7 No.7413
8K番組制作ワークショップ開催！
「8K映像がみた東京の今 -MIXTURE TOKYO 2019-」
2020年オリンピック開催にあたり、日々生まれ変わっている2019年の東京
留まるものと過ぎ去るもの・伝統と革新の融合・進化する街を８K映像で表現します。
8Kコンテンツ制作から見えてきた映像編集のあるべき姿とは
PRUNUS
8Kフルスペック フルリアルタイム 8Kダイレクト編集 を切り拓く
8K Prunus
新Ver登場! SDI出力からの 2K4K同時モニタリング 機能搭載
4K Prunus
さくら映機株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 3F
http://sakuraeiki.co.jp info@sakuraeiki.co.jp

特集 Inter BEE 2019 出展概要 7
International Broadcast Equipment Exhibition

ゲストユーザーによる事例報告

ビジュアル・グラフィックス

【ブースNo. 7203】

映像制作の品質向上と作業効率改善のための最新プロダクトの機材展示および、ミニシアタースペースをブース内に設け、注目製品のメーカープレゼンテーションや、ゲストユーザーを招いた事例報告などを日替わりで実施する。

注目プロダクトは、オートデスク「Flame」、アドビ「Premiere Pro」の最新機能解説、それらアプリケーションを用いた4K HDR/HLG制作環境を実現するために必要な最新機器とのシステム展示。そして近年、放送局やポストプロダクションへの導入が進むメディアファイルの品質チェックシステムEditshare社「Qscan」の最新バージョンを国内初披露する。

「Flame」は、最新機能のデモと4K/HDR制作に必要な最新システムとの実機展示をする。昨年リリースとなったFlameのためのメーカー認定ハードウエア「Dell 7920R - BTO VGI Model for Linux Flame」が新GPU搭載でよりパワーアップ。Local Stoneの容量も飛躍的に増量した。

米PIXSPAN社の「PIXMOVER」は、あらゆる種類やサイズのデータをオンプレミス、オンプレミスからクラウド、またはクラウド内で移動するための最速の転送方法を提供するとともに、フル解像度の映像や画像に独自のソリューションを提案する。クライアント用ソフトウエア「Vdrive」と組み合わせて、2Kサポート用の制作端末で、フルスピードの4K-8Kワークフローをリアルタイムで実現する。


QScan

ケンコープロフェショナルイメージング

【ブースNo. 4313】

MISONICS社ならびにグループのケンコー・トキナー、スリックと合同で出展。LEDライトを中心とした各種撮影用、照明機材、シネマレンズ、撮影機材/照明機材用バッテリー、カメラ・オーディオ用バッグ、撮影用アクセサリーなどを展示する。

単焦点タイプシネマレンズ「VISTAシリーズ」には、新たに135mmT1.5が追加。またズームレンズでは50-135mmMarkIIT2.9もラインアップした。

撮影機材/照明機材用バッテリーのFXLIONに「NANOONEシリーズ」が新たに加わった。Vマウント仕様ながらコンパクトで、小型LEDライトをはじめ、Vマウントのほか、Dタップ、USBタイプA/Cを備え、PC、モバイル機器など幅広く使える。

ライムライト・ネットワークス・ジャパン

【ブースNo. 7116】

Limelight Realtime Streamingは、主要なウェブブラウザーで特別なプラグインなどの必要なしに、遅延のない（1秒未満）放送品質でのライブビデオストリーミングを視聴可能にしたソリューション。これによりオンライン視聴者は、放送の視聴者と同時にライブビデオを楽しむことができる。

また、Limelight Realtime Streamingは、リアルタイムデータをライブビデオに統合することができ、インタラクティブなオンライン視聴エクスペリエンスを提供するため、配信側と視聴者の間の新しいコミュニケーションを可能にし、新しいビジネスの可能性を開く。

次世代の映像制作に向けた製品

共信コミュニケーションズ

【ブースNo. 3508】

「MISTIKAテクノロジー」「スケールアウト・ストレージ」「MAM/Transcodeファイルベースワークフロー」「ビデオ／オーディオ編集」「AI解析コンテンツマネジメントシステム」「高精細４K LEDディスプレー」など、次世代の映像制作に欠かせない最新ソリューションをトータルで提案する。

「MISTIKA Boutique」は、Windows/Macに対応したフィニッシングシステム。オンライン編集、VFX、カラーグレーディング、S3D、VR、デリバリーを1つのシステムに収めた。「MISTIKA Workflows」は、高速・正確で簡単なコンテンツマネージメントソフトウエア。トランスコード、メタデータ、プロキシ生成、パッケージング、ファイルコピーなどを自動化することで、効率的な制作フローを実現する。

「Quantum Xcellis」スケールアウトNASは、組織の収益と製品がデータを中心に成り立っているハイバリュー・データ環境のニーズに包括的に応える業界初というストレージ・ソリューション。コストパフォーマンスと柔軟性に優れたファイルベースソリューションとして、ファイルベース管理システム「Dalet Galaxy」、ファイルトランスコードシステム「Dalet AmberFin」を展示する。

「DaAlps」は、さまざまなデータを登録、管理、解析（AI）し、コンテンツをフル活用するプラットフォーム。機能を向上し、メタ情報の強化、複数クライアントからの視聴/管理や、ノンリニア連携、共有サーバー連携を実現した。最新ODA（ソニー光ディスク）に対応したアーカイブは、AI解析、音声解析、ユニークなメタ作成により、完パケ／素材管理機能を強化した。


Mistika boutiqueターンキー

" ワンマンオペレーション超小型ポータブル
DSNG アンテナシステム "
「MantisMSAT」
" 現場到着後、約 10 分で
映像伝送開始！ "



中継車用 地上デジタル放送
受信用アンテナ
「FRN-1D」



エリクソン RX8200 マルチフォーマット衛星受信機
MPEG4/HEVC、DVB-S2/S2X 対応



MOUBIC
株式会社マウビック
www.moubic.com

本社
〒435-0056 静岡県浜松市東区小池町 408
Tel:053-433-1238 Fax:053-433-4030

東京営業所
〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-24-9
吉田ビル 7 階
Tel:03-3280-3691 Fax:03-3280-3692

K-WILL Corporation
www.kmw.co.jp/



QuMax シリーズ
映像・音声自動品質監視装置
PROBE 12G（12G-SDI 対応）

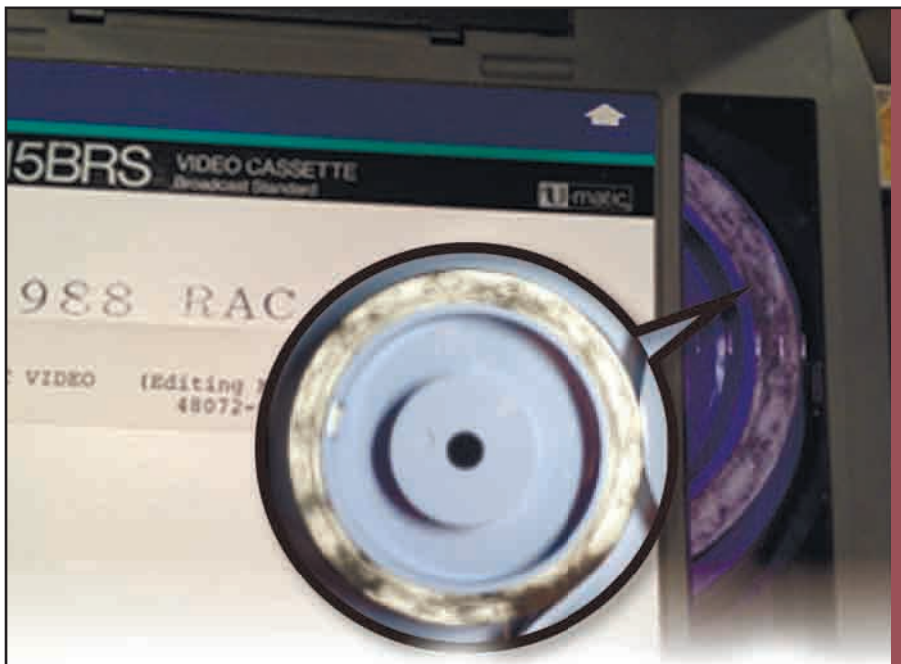
・待望の 4K / 12G-SDI 対応
・ITU-TJ.144 による二重刺激監視アルゴリズム
・検知パラメータを調整可能で、ユーザ基準による監視最適化
・PROBE300D（二重刺激）、PROBE300S（一重刺激）との
12G/1.5G 混在監視が可能
・1 筐体で最大 12 チャンネルを比較監視

展示製品
4K/8K HDR 対応 画質評価装置 VP4000
2K/4K 映像・音声検査システム ProQ4000
2K/4K 遠隔監視用 FED 装置（参考出品）

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2019
11.13水 »» 15金 幕張メッセ

ホール 5 / ブースNo.5106
ご来場を心よりお待ち申し上げます

株式会社 K-WILL
〒194-0001 東京都町田市つくし野 3-23-41　マルビシビル 2 階
TEL: 042-788-3834（営業部）FAX: 042-788-3835



よみがえる

Recovery





まとめる

Migration



古いデータも、古いメディアも、将来のために新しく残す。

ユニテックスの データ・メディア復旧サービス



ユニテックスの LTOアーカイブ・ラインナップ



お問い合わせ・ご相談は　株式会社 ユニテックス
〒194-0021 東京都町田市中町2-2-4 ユニテックスビル
TEL:(050)3386-1242　FAX:(042)710-4660
http://www.unitex.co.jp

※記載の内容、仕様、デザインなどは予告なく変更および終了となることがありますのでご了承ください。

InterBEE2019 ユニテックスブース　ホール3 No.3408（映像制作/放送関連機材部門）

InterBEE2019 JEITAブース　ホール3 No.3311（映像制作/放送関連機材部門）

特集 Inter BEE 2019 出展概要 8
International Broadcast Equipment Exhibition

新開発のマルチパーパスカメラ

池上通信機

【ブースNo. 7314】

池上通信機は、ますます運用が広がる4K/HD番組制作に向けて、「HDR」「12G-SDI」「IP」に対する取り組みを「ADVANCED BROADCAST EXPERIENCE」として、同社の先進技術で実現する新たなシステムソリューションを訴求する。

ステージでは、システムカメラと同じ2/3型4KCMOSセンサーを採用し、新たに開発した「UHL-43」マルチパーパスカメラを披露する。伝送コーナーでは、4K/IP伝送対応FPU装置「PF-900」を展示。新たにARIB B71規格にも対応した。4K/2K両用コーデックを搭載し既存の設備を変更することなく4K伝送を可能とし、さらにIP伝送機能により収録した映像データと同時にIP信号の伝送ができる。

スイッチャーコーナーでは4Kスイッチャー「MuPS-5000」に加え、4K対応大型ルーター「UHSM-220×220」などを展示し、4K/2Kを独立させた高品質なサイマルキャストソリューションを提案。モニタコーナーでは、4K HDR対応マルチフォーマット液晶マスターモニター「HQLM-3125X」を展示する。

特別共同展示として本格的な広域のネットワークを構築し、映像、音声、インカム、監視を網羅した総合的な放送IPシステムをデモする。



UHL-43

NEC

【ブースNo.7206】

「IPソリューション」「クラウドファイルベース」といった、新世代の放送設備実現に向けた提案と、「放送設備に適したセキュリティー対策」や「新型送信システム」など、放送局経営を支援するアイテムを前面に打ち出した展示をする。

NECでは演奏所のIP・ソフト化への取り組みをいち早く進めている。放送に必要なすべての信号のIP化対応や周辺システムまで含め、当日はコアコンポーネントの実機動作イメージを示す。また、映像のクラウド管理によりロケーションフリーの作業環境、さらなる速報性、設備最適化を実現する、クラウドファイルベースを披露する。

新型送信システムでは、親局送信機、中継放送装置、STL/TTLといった新製品を一堂に集めた機器展示をする。そのほか、IP化やクラウド対応など、放送設備の進化と共に増える、サイバーセキュリティーリスクに対する解決策も提案する。

EIZO/カリーナシステム

【ブースNo. 7510】

EIZOとカリーナシステムは、合同ブースを出展する。「映像の力を引き出す、最新映像制作ソリューション」をテーマに掲げ、映像制作における「撮影」「編集」「グレーディング」「配信」それぞれの工程を支える、さらにパワーアップした映像ソリューションを提案する。

撮影・編集向けには、制作段階から正確な色表示を提供することで、効率アップに貢献するColorEdge 4K HDR対応モニター「ColorEdge CG319X」を、DaVinci ResolveやEDIUSといった、編集ソフトウエアと組み合わせた使い方で実演する。

グレーディング向けには、輝度1000ｶﾝﾃﾞﾗ/平方㍍・コントラスト比100万対1の4K HDRリファレンスモニター「ColorEdge PROMINENCE CG3145-BS」を活用した最終グレーディング環境を再現し、HDR最終色確認の色基準となるモニターの導入メリットについて説明。さらに、Inter BEE会場限定での参考展示として、CG3145-BSの後継機種となる新型HDRリファレンスモニターを展示する。

配信向けには、カリーナシステムのライブ中継や配信向けソリューションを案内。ネット配信コンテンツの時差編集システムや、4K/60p対応のIPネットワークカメラを展示する。

小型でシンプルな4K送受信器

イメージニクス

【ブースNo. 4205】

HDMI信号を同軸ケーブル1本で伝送する「IMG.Linkシリーズ」として、4K HDMI(HDMI2.0 HDCP2.2)に対応したフル4K(60p4:4:4)の映像を伝送できる伝送器に従来サイズから-60%のコンパクト化を実現した小型でシンプルな送信器「DCE-U1TX」・受信器「DCE-U1RX」を初出展。また、4K HDMI信号をIMG.Linkにてスイッチングして非常に高速なシームレス動作で映像をつなぎ、各種入力映像の解像度を4K映像へ全自動で変換統一して出力するフレームシンクロナイザー内蔵型の受信器「CRO-URS2」をデモ展示する。

4K HDMI(HDMI2.0 HDCP2.2)に対応した4系統の映像をマルチビュー合成し任意のレイアウト表示や各映像信号の拡大縮小・切り取りなどの画角調整ができ、出力解像度もフル4K(60p4:4:4)および任意の解像度へと変更が可能で、入力された4K HDMIを完全シームレス切り替えができる「HEV-U41」を動作展示する。



DCE-U1TX

HDMI信号をCat5e/Cat6ケーブルで伝送するHDBaseT製品として、アナログRGBとHDMI信号を入力検知して自動で切り替える機能を持つ送信器「ASE-C21」や、壁プレート式の送信器「HCE-CP1ATX」と、それを駆動させるPoHインジェクター「PU-PH1」を動作展示する。

Canon
make it possible with canon



4K CAMCORDER LINE UP
FOR PROFESSIONALS

4K

プロの要望に応える
キヤノンの
4Kラインアップ。



XF705 12G SDI
4K 60P 4:2:2: 10bit
1.0型CMOSセンサー
マニュアル操作も充実した
フラッグシップモデル



XF405 3G SDI ／ XF400
4K 60P
1.0型CMOSセンサー
機動性と高画質を両立した
小型・軽量モデル



XA55 3G SDI
4K 30P
1.0型CMOSセンサー
3G-SDI端子搭載の
高画質モデル



XA40
4K 30P
1/2.3型CMOSセンサー
高倍率光学20倍ズームレンズ
搭載のスタンダードモデル

詳しくはこちら

◎キヤノン 業務用デジタルビデオカメラホームページ
canon.jp/prodv

◎キヤノンお客様相談センター
業務用デジタルビデオカメラ 050-555-90004
※海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は043-211-9790（業務用デジタルビデオカメラ）をご利用ください。※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
受付時間（平日）9:00～17:00（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます。）

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

カタログは、canon.jp/catalogからダウンロードしていただくか、ハガキの場合は、住所、氏名、電話番号を明記の上、〒261-8711千葉件千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンマーケティングジャパン（株）カタログ請求「業務用ビデオカメラ」係までお送りください。※カタログ請求を通じてお客様より任意でご提供いただいた個人情報は、カタログ送付の目的のみに使用いたします。

特集 Inter BEE 2019 出展概要 9
International Broadcast Equipment Exhibition

高速USB接続LTO8テープ装置

ユニテックス

【ブースNo. 3408】

ユニテックスは、高速USB接続LTO8テープ装置「LT80H USB」、LTOアーカイブソフトウエア「UNITEX ArchiveLT」、PC内蔵多機能型「Dual LTO」を出展する。

LT80H USBは、大容量データのバックアップや長期保存（アーカイブ）に向いた磁気テープのパフォーマンスを最大限に引き出す、最新LTO8テープに対応した高速USB接続モデル。

UNITEX ArchiveLTは、独自のデータ転送アルゴリズムによる高速転送と、アーカイブデータのオフライン管理が可能なアーカイブソフトウエア。ベリファイによるデータの完全性、処理履歴による結果管理、メタデータによる検索性向上などに加え、フォルダー監視やスケジュール機能、コマンド連携など自動化オプションも完備。

Dual LTOは、1台でLTOアーカイブやマイグレーションが完結できるスタンドアローンシステム。制御PC不要で、装置前面の「タッチパネル」で手間なく直感的かつ容易な操作が可能。

さらに、映像メディア（フィルムやテープ）、ディスク内の大量データなど、データを資産化（修復、長期保存、利活用）していくためのコンバージョンサービスも案内する。



LT80H USB

テクノハウス

【ブースNo. 2213/1515】

映像制作/放送関連機材ブースではevertzのSCORPION-4メディアプロセッシングプラットフォームを展示。これは、1GbE/10GbEおよび25GbEイーサネットWANネットワーク上でビデオ・オーディオおよびデータサービスを同時に転送することが可能な、スタンドアローンのコンパクトなマルチサービス信号変換、アグリゲーションゲートウェイ。SCORPION I/Oミニモジュールを使用することで、SCORPION-4は非常に柔軟で、12Gシングルリンク SDI、イーサネット、MADI、AES、HDMI、インターコム、シリアルデータを含むさまざまな種類の信号に対応できる。

プロオーディオブースでは、SONIFEX社のDante対応オーディオインタフェースAVN-DIOシリーズを展示する。同シリーズは、マルチチャンネルで構成されるDanteオーディオネットワークに接続できる、2chのIO BOX。マイク、ライン、AESなど多様なラインアップを持っているため、Danteに対応していなかったこれまでのアナログ製品などを簡単に組み込むことが可能。

アサカ

【ブースNo. 3507】

4K/HD サイマルAVファイル「AVR-4200」は、4K/HD同時サイマル送出、独立2系統送出が可能なAVファイル装置。従来製品（AVR-802Bシリーズ）を踏襲した操作性を実現。動画コーデックは4K/HDともにXAVC Intra、静止画、音声は非圧縮ファイルに対応。番組タイトルやキューカットなどFILL/KEYスーパー用素材の収録・再生ができる。動画1時間、静止画1万枚、音声2時間の記録が可能。

「VC4000」は、4K（12G-SDI）/HD/SD対応のマルチフォーマットコンバーター。高精度の動き補償技術により、動きの速い映像でも高画質なフレームレート変換ができる。低遅延のリアルタイム変換が可能。アップ・ダウン・クロスコンバートにも対応。HD→HD変換時は2系統独立変換運用も可能。4K→4K変換時においては、4K変換出力と共にHDのサイマル出力も可能となる。

SCTE104 VANCインサーター「DU-187B」は、インターネット同時配信のCMや番組差し替えに必要となるSCTE104信号を、HD-SDI信号のアンシラリデータ領域に重畳。差し替え配信システムの仕組みであるSSAI（Server-Side Ad Insertion）への対応ができる。Web APIによる尺長やID情報の制御が可能。

なお、ブース内でJストリームの配信システムとの連携展示を実施する。

直感的な操作でカスタマイズ

タムラ製作所

【ブースNo. 1210】

新製品「NETWORK INTERFACE TS-10289」と可搬型DECT方式インターカムシステム「MK-H96」を出展する。「NETWORK INTERFACE TS-10289」は、放送業界でスタンダードになっているIP伝送規格のSMPTE ST 2110に対応する、同社ミキシングコンソール「NTシリーズ」用TR-LINK/ST2110変換ユニット。「MK-H96」は、128×H130×D36㍉のコンパクトサイズでありながら、10台の子機MK-B96が接続でき、さらに2グループの通話設定にも対応したポータブルサイズのメインコントローラー。

SPエンジンを搭載したオーディオインタフェースユニット「NT MATRIX」は、新たに開発した「REMOTE FADER」、「SWITCH PANEL」との組み合わせによるOTC（One Touch Controller）システム、直感的な操作でカスタマイズが可能なGUIソフトウエア「Custom UI」をデモ。また、DECT方式インターカムシステムは、同社が取り扱う「RTS社製有線インターカムシステム」との組み合わせによるトータルインターカムソリューションを提案する。



NT MATRIX

ほかにも主力デジタルオーディオミキサーNT880Plus、NT660Plus、NT900、NT110も出展。



ISDB-S3変調器 MR7000X

高度広帯域衛星デジタル放送方式（ISDB-S3）対応の信号を出力
単一・局間・合成の各TLV伝送フォーマットに対応

●ISDB-S3変調出力は、BS-IF、CS-IF（右旋/左旋）の任意のチャンネルに出力
●単一・局間※・合成の各TLV伝送フォーマット（A-PAB TR-001）に対応
※40チャンネルのみ、諧調変調には非対応
●webブラウザを使用した本体設定、ファイル操作が可能
●前面パネルからの手動設定操作により、ユニット単体での運用も可能

RFアナライザー RFAZ1

新4K8K衛星放送をはじめ
国内全ての放送信号の測定が可能

●新4K8K衛星放送信号のBER/MER測定が可能
●全ての放送方式に対応
●USB Type-C給電
●本体の高さは151mmという小型化を実現、スイッチ類は押しやすいゴムキーを採用

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2019
11.13水 ⋙ 15金 幕張メッセ

出展製品 8K映像伝送システム＆ハイブリッドキャスト4Kビデオ
小間番号 2709（ホール2）

三ツ矢通信株式会社
鎌倉本社 〒247-8538 神奈川県鎌倉市岩瀬1285 TEL 0467(44)9111(代)
https://www.miharu.co.jp

特集 Inter BEE 2019 出展概要 10
International Broadcast Equipment Exhibition

4K・8K製品のラインアップ強化

リーダー電子

【ブースNo. 7205】

リーダー電子は、かねてより開発を進めてきた4K/8K製品をさらに拡充する。新製品である8K対応波形モニター「LV5900」、「ZENシリーズ」に追加された4K-IP(25G)モニター/ジェネレーター、「LT4610」の8K対応オプションは、今後の国内・海外需要に適応させた多様なユーザー層をターゲットにした製品。

また、世界的な市場を持つ英国の映像/音響/放送用測定器メーカーPHABRIX社がリーダー電子グループとなり、製品ラインアップを強化した。さらに、リーダー電子では新しい試みになるクラウド環境を利用したコンテンツヘルスチェッカーを参考出品するなど、多様化するニーズに対応する製品を一堂に展示する。



8K対応波形モニター「LV5900」

エーディテクノ

【ブースNo. 4310】

4K UHD液晶ディスプレー15.6型「UH1560S」、23.8型「UH2380S」、28型「UH2800S」は、4K（3840×2160）液晶に12G/6G/クワッド3G-SDI入出力端子とHDMI2.0入力1系統、HDMI1.4入力3系統を搭載。クワッド3Gは2SI/SQD両方式に対応。

3年保証付きのフルHD IPS液晶ディスプレー10.1型「LCD1017」、13.3型「LCD1331」、15.6型「LCD1560」は、HDMI/VGA/ビデオ(RCA)入力に対応。液晶表面に高硬度(硬度6H)のガラスを装着し、クリアで強固な設計を実現。

また、同社の変換器ブランドmabcoシリーズの最新製品、マルチフォーマット入力対応スケーリングコンバーターHDMIモデル「SCHD01」、SDIモデル「SCSD01」を展示。SCHD01は、HDMI/ DisplayPort/ VGA/ Y.Pb.Pr/ CVBS映像信号のデジタル・アナログ両入力に対応。選択した映像入力信号を最大4K/30（10.2Gbps）までの任意HDMIフォーマット信号にスケーリング変換が可能。

このほか、Advoli社製HDBaseT出力端子搭載グラフィックカードや、DigitalForecast社製の本邦初公開最新製品など、InterBEE2019で初公開の最新の製品から定番製品まで幅広く展示する。


UH1560S

ブラックマジックデザイン

【ブースNo. 8216/8501】

先進の8K対応製品や、全く新しい編集スタイルを提供するダビンチリゾルブ16.1など多様な製品を展示する。

メインブース（No.8216）のデモンストレーションシアターでは、ハリウッドの有名作品を手掛けるカラリストや、国内の第一線で活躍しているカラリスト、ディレクター、撮影監督をゲストに迎え、ダビンチリゾルブ16.1やPocket Cinema Camera 4K/6Kの作品事例をもとにデモ&トークセッションを実施する。最新のHDR映像や映画、CM、MV、インスタレーション、V-log作品など、多彩なアーチストと作品がそろう。

また、ダビンチリゾルブの実践無料トレーニングブース（No.8501）を設置。認定トレーナーによる、ダビンチリゾルブのあらゆる側面をカバーする多数のクラス分けで実施。経験豊富なプロユーザーにも適したクラスも用意する。毎朝午前10時より、メインブースで受講登録（先着順）し、その日のトレーニングクラスの中から、1クラスを受講できる。ペアでの受講も可能（定員になり次第、受付終了）。

eスポーツのライブ制作を実演

アスク/ディストーム

【ブースNo. 7204】

「eSportsソリューション」コーナーでは、ネットワーク環境下にNewTekの44chライブプロダクションシステム「VMC1」やスロー・リプレイシステム「3Play 3P1」、NDI互換のリモートコントロールPTZカメラなど、NDI互換システムやデバイスで構築されたステージにおいて、女性eスポーツプロチーム「Creatives」の協力により、実際のeスポーツ現場でのライブ・プロダクションの実演を実施する。さらにメインステージにおいて、プロダクションやスタジオ各社による事例紹介も予定。

「CATVコーナー」では、ライブプロダクションシステム「TriCaster TC 410 Plus」と複数のPTZカメラをNDIで接続し、SDIやHDMIケーブルを使用しない近未来型のIP映像制作ワークフローの現場環境を提案する。

さらにNDIコーナーでは、9月のIBC2019で注目を浴びたNewTekリモートネットワークストレージ「NRS」、BridDog製NDIコンバーターとPTZカメラ、3D STORMのNDIからさまざまなビデオフォーマットへの変換ソフトウエア「LiveMediaServer NDI」、SimplyLiveのマルチオペレーションや4K映像入力に対応したスロー・リプレイシステム「 ViBOX Slomo」などの展示を予定している。


NewTek「VMC1」

MEDIAEDGE
4倍速のハイスピードカメラ
QDCAM
FHD 240p　UHD 60p　シネマ4K 24p　FHD 59.94i

動きの速いシーンを歪みなしに撮影可能なグローバルシャッター方式を採用

ローリングシャッター

グローバルシャッター
低価格でシステム構成を実現
・マイクロフォーサーズ方式のマウントを採用
・種類が豊富で安価な高画質レンズを利用可能
・リモートでフォーカス/アイリス調整が可能
スポーツ収録に最適化された数々の機能
・ファンレス静音設計
・スタジアムでの運用を可能にする光伝送装置
・複数カメラの露光タイミングを同期させる新方式（特許出願済み）
Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2019
11.13(水)»»15(金) 幕張メッセ
「QDCAM」はINTER BEE SPORTにて展示しております
MEDIAEDGE
メディアエッジ株式会社
http://www.mediaedge.co.jp
●神戸本社 〒651-0083 神戸市中央区浜辺通5-1-14 神戸商工貿易センタービル23F TEL:078-265-1551 FAX:078-265-1550
●東京本部 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-13-4 室一ビル7F TEL:03-3517-1655 FAX:03-3517-1657
●名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦3-11-25 アーク栄錦ニュービジネスビル608号室 TEL:052-857-1881 FAX:052-857-1881
●e-mail:info@mediaedge.co.jp
mediaedge.co.jp

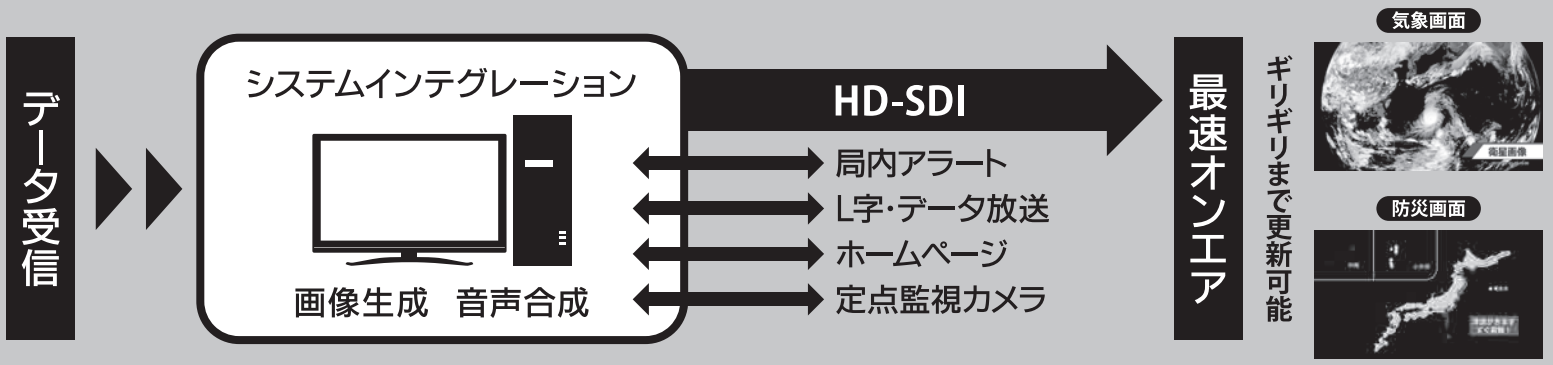
Broadmedia & Entertainment Inter BEE
4K映像配信システム、
デジタルコンテンツ ECサイト
お任せください
・マルチデバイス再生アプリ「NeSTREAM」
・ECポータル制作、独自CMS構築
・ストリーミング配信、ダウンロード配信
・個別課金、サブスク課金
・メタ管理、コンテンツ管理
・素材アーカイブ(クラウド、オンプレミス)
・著作権管理・印税管理
メモリーテック / ラディウス
Hall4 ブース番号4306
radius
MEMORY-TECH

IT×気象防災

ワンストップソリューション

業界NO.1のグラフィックス技術と 気象・防災のエキスパートによる
放送業務総合サービス





完全自動放送 無人運用の実現	**コンテンツ** 1kmメッシュ地点データ提供	**APC・APS連動** 手動作画対応	**訓練モード対応** 訓練シナリオのご提供
原稿支援 ニュース原稿 天気概要	**画角の任意調整** 自由なスーパー画面設定	**24時間 気象予報士常駐** 解説ポイントの相談受付	**出力設定変更可能** 標準4出力2入力対応
平常時・災害時 24時間サポート体制リモート監視	**音声合成** アナウンサー不在時のOAサポート	**緊急地震速報** 入電からOAまで1秒以内の情報配信	**HIOボード** 24時間365日6年間ノンストップの運用実績

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2019
11.13水 »» 15金 幕張メッセ

映像制作／放送関連機材部門／ホール4／4513

展示会期間中、ブース内にて各製品の個別デモンストレーションを承っております。
ご希望の方は、お時間を調整させて頂きますので、事前にお申込みをお願い致します。
連絡先: ts@crossimaging.jp

クロスイメージング株式会社　〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-5-1 A-PLACE 五反田駅前 9F
TEL. 03-6417-9190(代表)　FAX. 03-6417-9195
http://crossimaging.jp/

特集 Inter BEE 2019 出展概要 11
International Broadcast Equipment Exhibition

電源装置レンタルサービス展開

オンリースタイル

【ブースNo. 4511】

オンリースタイルは、バッテリー式電源装置「エコ・パワーシリーズ」のレンタルサービスを実施しており、撮影・中継現場、ロケバス車内、イルミネーション、イベント会場、監視カメラ、ドローンの充電など、電源が必要とされるさまざまなシーンでの電源確保に幅広く利用されている。

電池容量の多い順に「エコ・パワー6400」「エコ・パワー5000」「エコ・パワー2500」「エコ・パワー1200」と用途に合わせてラインアップがあり、増加する需要に応える。エコ・パワー シリーズは、「ガソリン不要」「排気ガスゼロ」「騒音なし」が最大の特長。インターネットで必要な時だけレンタル注文でき、充電した状態で届けられるので利便性が高い。注文前に使用機器や用途を伝えることで、適切な数量の提案も可能。

機動性を兼ね備えた「エコ・パワー電源車」も新たに追加した。同社の「電源レンタル専門店」ホームページには、数多くのケーススタディーが掲載されている。



エコ・パワー5000

日本サムスン/ITG マーケティング

【ブースNo. 7404】

日本サムスンと、その販売特約店である ITG マーケティングは、Project White（TSUKUMO）、ビジュアルテクノロジー、 ジャパンブロードキャストソリューションズ、オンサイトスタンダード、聖仁商事 と共同出展（計７社）する。

Samsung SSD ブースでは、「4K 8K映像制作を支えるSamsung SSD」をコンセプトに、映像コンテンツの録画・編集・レンダリング・再生のワークフローにおいて、大容量で高速の Samsung SSD を搭載した機器が、4K8K の大容量データを安定した動作環境で高速処理し、高い負荷を軽減するソリューションを提案する。

主な展示ソリューションは、SSDへの直接収録が可能なカメラ機器やレコーダー機器、SSD RAIDストレージを搭載した4K/8K映像編集ワークステーション、8K放送デッキや4Kレコーダーを用いたSSD収録・編集フロー。高速データ転送Thunderbolt3接続外付けSSD RAIDストレージ、映像制作や編集に適した10/25GbE対応SSD搭載NAS、各種カメラに適した高品質、高性能カメラリグなど。

アイ・ディー・エクス

【ブースNo. 8503】

Vマウントバッテリーの「Imicro-150/Imicro-98」は、小型機器にも最適なマイクロサイズハイレートバッテリー。小型サイズで、最大出力154W(14A 11V時)と高いパフォーマンスを持つ。アクセサリーA-Vmicro2を使うことで、ホットスワップ機能にも対応。大容量を実現し、消費電力の大きな機器やアクセサリーに長時間電源供給が可能。

「IPL-150/IPL-98」は、PowerLink(連結)することにより、大容量・大電力供給を実現し、消費電力の大きいカメラや、複数のアクセサリーに長時間電源供給可能なバッテリー。2ch充電器VL-2000Sで8本(4本×2)の連結充電もできる。

ワイヤレスビデオ伝送システム「CW-D10」は、送信機×2を受信可能なマルチキャストモデル。免許不要の5GHｚ帯を使用し、4×4MIMO、OFDM、ビームフォーミングテクノロジー搭載により、最大1㌔㍍の長距離伝送が可能で、かつ同一エリアで複数の送信機を同時に使える。

「CW-1dx」は、5GHz帯無線のHDMI専用モデル。最大で250㍍の伝送距離を実現。1TX:1RXの無線映像伝送だけではなく、ストリーミング（RTSP）も対応しており、スマートフォンやタブレットでの映像確認も70㍉秒の低遅延でできる。

アラームファンモニター初出展

ニッキャビ

【ブースNo. 2609】

シンプルで低コストでありながら拡張性とデザイン性に優れたコンソールデスク「spaceRAIL」に「ウォールマウントフレーム」と「モニターアーム」を組み合わせた多面監視仕様として、より再現性高く展示する。

さらに新製品としてラック用排気ファンを最大６機搭載し、回転数低下などの異常時にアラーム出力を可能とした「アラームファンユニット」および、対応オプションとして各ファンの回転数や電源、コネクターボックスの通電状態を監視して異常時にはLEDランプの点滅とブザーによる発報をし、どのファンまたはコネクターボックスによる異常なのかを一目で確認できる1Uサイズの「アラームファンモニター」が初出展となる。

また、さまざまなシーンに対応可能なモジュール式コンソールデスク「cyber RAIL」やマルチモニターウォール「cyber WALL」、スタイリッシュでコンパクトな「cyber RACK」、サイネージ


spaceRAIL

スタンド、多様なツールキャリアとしても使える「cyberSTAND」などの「cyber series」を中心に、ブロードキャスティングラック「NEO Rack series」などのラック製品と排熱・配線におけるソリューション関連を組み合わせる。

期待を 超えていく

優れた拡張性や性能、管理性などにより高い評価をいただいているDell EMC Isilon。
求められるものはデータ容量の爆発的な増加への対応にとどまらず、AIや機械学習など、高度な映像解析に基づく全く新しいコンテンツの分野に広がっています。
そう、Isilonが一層真価を発揮する時代の到来です。

DELL EMC ISILON

今年の見どころ

- Isilonの真の実力を目で見て納得!ライブデモ!
- 最新のワークステーション Precision や 4K HDR モニタ、曲面モニターを実機展示!
- 図研ネットウエイブ株式会社、テクマトリックス株式会社、株式会社ブロードバンドタワー 各社様との共同出展とプレゼンステージ!
- Isilonが映像制作の業務をどう変えたのか!? 約7倍の性能向上を実現した導入事例の紹介!

★必見の特別講演

東映アニメーションが語る！
システム管理者に送る ストレージ今昔物語
～徹夜なんてもうイヤだ！ 聖闘士星矢やプリキュアを支えるストレージ基盤～
11/15(金) 10:30～12:00　国際会議場 1階「104」
講師:東映アニメーション株式会社　様

Animal Logicの元IT部門トップが語る
近未来のシステムの姿
来るべき"データ ファースト"の時代に求められるものとは？
11/13(水) 16:00～16:45
ホール8「INTER BEE CREATIVE」オープンステージ
講師：Alex Timbs（アレックス ティムズ）
Dell EMC　UDS事業本部　事業開発マネージャ（Animal Logic　元IT部門長）

幕張メッセ ホール3 小間番号：3313 でお待ちしております！

DELL EMC　ISILON

映像制作/放送関連機材部門 ホール5 小間番号:5301　Soliton

世界最小・最軽量

モバイル回線を利用した、H.265モバイルエンコーダ

Smart-telecaster Zao-S



3キャリア LTE 同梱スペシャルパック
Zao-S本体
~~89~~万円 → 49万円 45% OFF
LTE3本セット(SIM・モデム)
スペシャルプライス
1万6500円/月

レンタルサービスもご用意してます
Zao-S ※国内の他に海外レンタルサービス有
好評につき レンタル機増設! 5万円 国内 3日間プラン

株式会社ソリトンシステムズ
Mobile Broadcast事業部
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-4-3
TEL: 03-5360-3860
MAIL: stc-sales@list.soliton.co.jp

Zao-S 検索　商品の詳細は弊社HPへ www.soliton.co.jp

特集 Inter BEE 2019 出展概要 12
International Broadcast Equipment Exhibition

4K放送システムを省スペースに

ビデオトロン

【ブースNo. 4204】

12G-SDI対応モジュール製品として、REF入力付き70形筐体10モジュール「Vbus-70V2」、12G対応16×16マトリックススイッチャー「MTX-70U-1616」、12G対応32×32マトリックススイッチャー「MTX-70U-3232」、12G対応チェンジオーバー「CHO-70U」、12G対応2chカラースーパー「CK-70U」、12G対応ダウンコンバーター「UHC-30U」を出展する。

また、4K放送システムを省スペースに完結可能なVbusシリーズの新製品を展示。静音性が向上し、WebServer機能を標準搭載した新筐体「Vbus-70V2」、入力信号監視機能を搭載した12G対応16×16マトリックススイッチャー「MTX-70U-1616」、32×32モデルの「MTX-70U-3232」、12G信号を監視し、エラー発生時自動切り替えに対応した12G対応チェンジオーバー「CHO-70U」、12G信号に2系統スーパー可能な「CK-70U」、場所を問わず活躍するミニボックス型でHLG LIVEに対応した12G対応ダウンコンバーター「UHC-30U」などをそろえる。



MTX-70U-1616

カンバス

【ブースNo. 4601】

カンバスは、字幕制作ソフト「SSTG1Pro」、吹替台本制作支援ソフト「SSTG1Dub」、アフレコ練習ソフト「アフREC」などを展示する。

「SSTG1Pro」は、字幕制作ソフト国内シェアトップを誇る「SSTG1」シリーズの制作会社向け機種。展示の目玉は新たにオプション搭載した校正機能。SSTG1Proからジャストシステム社の文章校正支援ツール「Just Right!」を呼び出し、その場で字幕の文字校正や手直しが簡単にできるようになった。これまでも要望の高かった本機能の搭載により、字幕のさらなる品質向上が期待されるという。また、昨今の動画配信において需要が高まっているIMSC1.1（TTML2）エクスポートオプションも披露。そのほか最新の便利機能が実機デモで体験できる。

一昨年の発売以来、今も進化しつつある吹替台本制作支援ソフト「SSTG1Dub」も実機操作で体験が可能。字幕⇔吹替のデータ連携により、日本語版制作の効率と品質アップをさまざまな角度からサポートする。さらに近日発売予定のアフレコ練習ソフト「アフREC」のプロトタイプ版も展示する。

ティ・アイ・ディ

【ブースNo. 7502】

4K・8K映像編集用に使われている台湾Accusys社製の高速ディスクストレージ「T-Share」、「ExaSAN」を国内代理店として取り扱う。T-Shareは、Thunderbolt3.0（最大40Gbps）接続用の共有型ストレージで、4台のホストとダイレクト接続をサポートする。ExaSANは、PCIe3.0バスにダイレクトに接続することで約2000MB/s以上のパフォーマンスを実現。

会期中はThunderbolt3.0接続の各種ストレージを主に訴求する。T-ShareとmiｎｉPC（メタデータコントローラー）を組み合わせることで、高速なミニマムSANを実現し、4台のクライアントPC（Thunderbolt3.0×3ポート、PCIe3.0×1ポート）からT-ShareをSAN共有ストレージとして利用した「T-Shareスターターパック」（パッケージ製品）を展示する。T-Shareスターターパックの「操作性」「利便性」「高パフォーマンス」をアピールする。

ハイブリッキャスト4Kビデオ

ミハル通信

【ブースNo. 2709】

ミハル通信は「ハイブリッドキャスト4Kビデオ」と「8K映像伝送システム」をデモ展示する。「ハイブリッドキャスト4Kビデオ」は、地上波テレビ局やCATV事業者をはじめ、スタジアムやレース場、学校、公共施設などが、マルチチャンネルの4K動画を通常の4Kテレビに配信できるシステムとして注目されている。デモ展示では、4Kテレビのデータ放送を使って2K（HD放送）から4Kに切り替えられる。

また、ハイブリッドキャストはマルチアングルにも対応しており、データ放送画面に「カメラ1」「カメラ2」「カメラ3」が表示され、テレビのリモコンで好きなアングルを選択するデモも実施。さらにユーザーのスマートフォンと4Kテレビが連携するハイブリッドキャストコネクト（ハイコネ）により、4Kテレビに配信される4Kコンテンツをスマホでも視聴可能。

「8K映像伝送システム」では8K HEVCエンコーダー（開発中）とISDB-S3変調器を使って8Kコンテンツを、汎用の8Kテレビに映し出すデモをする。昨年も同システムは展示したが8K HEVCエンコーダーの性能が更に向上した。



RFアナライザー

会場ではアストロデザインブースから8Kコンテンツをリアルタイム伝送する予定。またブース内には販売を開始した「RFアナライザー」も展示する。

同製品はBER、MER、C/Nの測定、日本で流れるほとんどの放送の測定が可能。GUIは画面を大型にし、機能の階層をわかりやすくした。スイッチ類はゴムキーを使用し、筐体を小型化。現場で使いやすい製品を実現している。

「映像 × AI の未来像」

3MIM は AI で映像業界の働き方改革、クオリティ向上を
現場で活躍するクリエイターに寄り添いながら開発を
進めていきます。
AI が映像制作を手助けする。そんな未来を見据えています。

NOUVELLE

3MIM

クリエイティブをアシストする。

InterBEE2019 出展概要

・フェイスターゲット（自動モザイク）
・リアクショントラッカー（自動ワイプ）

【出展場所】
ホール３　ブース No.3112

Hall 8 Hall 7 Hall 6 Hall 5 Hall 4 Hall 3 Hall 2 Hall 1

3MIM 株式会社
（サードミーム株式会社）
〒102-0081
東京都千代田区四番町 5-6　四番町ビル 1 号館 5F
TEL:03-3288-4891 / FAX:03-3234-6602
MAIL:info@3mim.jp

特集 Inter BEE 2019 出展概要 13
International Broadcast Equipment Exhibition

効率的な新ワークフロー創出へ

コスミックエンジニアリング

【ブースNo. 5107】

今回は、「4K/12G-SDIをベースにした効率的且つ新たなワークフローの創出」をテーマに、未来志向のコンテンツ制作・収録・送出シーンに貢献する多様な新製品発表と、デモンストレーションを通じてその実用提案をする。

優れた音量再生とさまざまなコンテンツ管理・監視に対応したエンベデッドオーディオ製品群では、ラウドネス表示を追加した多機能VU・リサージュメーター「LjM3aシリーズ」３機種を新たに投入。また、中継運用に便利な1RUハーフサイズオーディオモニター「SP106-16」、視認性と操作性を追求したマルチチャンネルVUメーターパネル「VUM1」を発表する。


LjM3aシリーズ

地上局マスター、重要な伝送設備、中継車構築用途などで高機能性・高信頼性を発揮している、放送映像・音声モジュールシステム「C5000シリーズ」では、ルーターをはじめとした12G-SDI対応モジュール各種実績紹介のほか、さまざまな検出トリガーを兼ね備えた高機能版チェンジオーバー「CHO5102」を発表。

また、安定した運用実績と確かな製品品質を持つ光ファイバー伝送カメラアダプター「SCAシリーズ」では、HD～4Kまで多様な中継・収録シーンに応じたプランを実機を交えて訴求する。

さらに、3G/12G-SDI対応のコンパクトルーティングスイッチャーを新製品ラインアップとして発表。16×16と32×32を中心にユーザー課題を解決に導く操作性を追求したコントロールパネルも含めた画期的な製品を案内する。

営電

【ブースNo. 5204】

新4K・8K衛星放送（ISDB-S3）ほかデジタル放送用変調器、FM放送用モニター/アナライザーを出展する。

ISDB-S3信号発生器「3260A」は、TLV発生、ISDB-S3変調、RFコンバーターの機能を1筐体で実現する。MMT/TLV記録再生装置「1708A」は、アナライザー機能、ISDB-S3受信機能も搭載が可能。

FMラジオモニター/アナライザー「6042A」は、FM直線検波器とステレオ復調器の機能を1筐体で実現する。FM変調部も搭載できる。

NIXUS 北海道日興通信

【ブースNo.7309】

スポーツオンエアシステム「S-PORTER（エスポーター）」は、迫力のあるオンエアを実現するスポーツCG専用システム。さまざまなプラットフォームへの出力を実現し、ハードウエアも常設型からコンパクトな可搬型まで、多様な種類を用意している。対応する競技も多彩なラインアップをそろえ、競技ごとに特化した機能を多数備えている。

高機能テロップシステム「CG-NEXTA（シージーネクスタ）」は、表現力と使い心地にこだわった。生放送の即時性を必要とする番組のテロップも、少人数、短時間でブラウザー発注からオンエアまで全てのワークフローを効率的に実現。生放送でもノンリニア編集でも活躍する。各ユーザーが最適な構成を選べるカスタマイズ性を備える。

ウェブ連動リアルタイムテロップ「QUMO 2（クーモ2）」は、アドビAnimate CCコンテンツをキー情報付HD-SDI信号でオンエア。ウェブツールならではの自由な演出ができる。

このほか、ツイッター収集・登録ソフトウエア「TweetConnection2（ツイートコネクション2）」、簡単Excel送出リアルタイムCGシステム「Nixuscelio（ニクサスセリオ）」を出展する。

モバイルライブ中継機など展示

ソリトンシステムズ

【ブースNo. 5301】

H.265コーデック搭載の、モバイルライブ中継機Smart-telecaster Zao-Sや、クラウドソリューションを中心に展示する。クラウドソリューションの１つである「Zao Web Management」は、Zao-S本体や受信機をブラウザーでコントロール可能で、多数の送信機・受信機を一元管理できる。そのほか、送信機・受信機それぞれで必要だった設定などすべてクラウド上からできるようになる。年間保守に加入しているユーザーは無料で利用可能。

このほか、クラウド上で映像のスイッチング・音声ミキシングなどができる「Cloud Video Switcher」（以下CVS）を展示。CVSはクラウド上に複数送出されているZao-Sのストリーミング映像をブラウザー上でスイッチングやミキシングができ、YouTube Liveなどの映像配信システムに簡単に映像の送出が可能になる。

また、次世代ファームウエアであるRASCOW2を搭載した超短遅延ライブ中継機「Zao-SH」も展示。Zao-SHは4G回線で100msec以下、5G/Wi-Fi回線で35ミリ秒以下の中継が可能だ。Zao-SHは中継機能だけではなく、遠隔地の自動車や建機などを制御できる機能も持っており、低遅延でお天気カメラなどの操作もできる。発売は2020年3月の予定。


Cloud Video Switcher(CVS)

Professional Mount Solution
CHIEF
SINCE 1978 TO THE FUTURE



オーディオ＆ビジュアルの
黎明期から業界をリードする
CHIEFのマウントソリューション


デスクマウントシリーズ
大型・デスクトップタイプ
LDS1U


中型・プロジェクター天吊マウント
ツールフリータイプ
VCTU


ディスプレイスタンド
壁寄せタイプ
AVSFSS


ベルト固定タイプ
FCASCA

正規輸入総代理店
AVC 株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.
http://www.avc.co.jp/

【システム販売事業部】
首都圏：〒135-0063東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー8F
TEL 03-3527-8660
関　西：〒564-0062大阪府吹田市垂水町3-18-25
TEL 06-6836-7827

CHIEFブランドサイト
http://chiefmfg.jp/

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2019
11.13水 »» 15金 幕張メッセ
HALL7/小間番号7407

・・・ 進化を続けるラムダシステムズ ・・・
Lambda Systems

クラウド × テロップ
クラウドによるテロップソリューション



GRID-ZERØ
ソフトウェア環境をプライベートクラウド上に全て構築

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2019
11.13水 »» 15金 幕張メッセ
弊社ブース No. 6110 ホール６
今年もInter BEE 2019に出展いたします。
みなさまお誘い合わせの上、是非ご来場下さい。
特設ページ　http://www.lambda.co.jp/event/

お問い合わせ
〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-11-26コア第2ビル
TEL: 03-5787-3366　FAX:03-5787-3578
http://www.lambda.co.jp/
ラムダテロップ　検索

be right with you
ラムダシステムズ

Panasonic

CX SERIES

次世代に備える「映像力」×「対応力」、CXシリーズ・カムコーダー。

CREATIVITY　CONNECTIVITY

● 4K（UHD）/60pの高画質。HDRに対応するHLGガンマ
● 4K10ビットを高効率・低ビットレートのHEVCコーデック記録
● ダイレクトストリーミング機能により、収録しながらライブ配信
● NDI｜HX対応のIP接続により、マルチカメラシステムを構築



2/3型レンズマウント採用の
放送用4Kショルダー

メモリーカード・カメラレコーダー
AJ-CX4000GJ
本体希望小売価格2,700,000円（税別）
※レンズ、ビューファインダー、マイク、バッテリーは別売です。

広角20倍ズームレンズ搭載の
軽量4Kハンドヘルド

メモリーカード・カメラレコーダー
AG-CX350
本体希望小売価格495,000円（税別）
※マイクロホンは別売です。

※NDIはNewTek社の「ネットワークデバイスインターフェイス」技術です。使用には別途、NewTek社が提供するライセンスキー（有償）が必要です。

Worldwide Olympic Partner　Worldwide Paralympic Partner

https://panasonic.biz/cns/sav/

特集 Inter BEE 2019 出展概要 14
International Broadcast Equipment Exhibition

Vチューバーのライブ演出披露

タケナカ／シムディレクト

【ブースNo. 3505】

シンユニティグループのタケナカとシムディレクトがデザイン、キャラクター設定をしたバーチャルYouTuber「りむ」のライブステージにおける構成、演出の技術を披露する中で、4つのソリューションを訴求する。ステージのイベントやライブの企画・制作をシムディレクトが、映像音響照明のプランニング、コンテンツ制作、本番オペレートをタケナカが担当している。

「イマーシブオーディオ」では、9個のスピーカーを用いた8.1chオーディオで「りむ」が会場内を移動しているように聞こえるよう、声の位置を３次元的に動かすデモを実施する。また、ライブステージの中でも声や音楽にイマーシブオーディオを駆使した演出をする。

「多様なLEDディスプレイとステージデザイン」では、円や三角形、シースルーなど多様な形・種類のLEDを組み合わせたステージデザインを披露。デザインを作成する際は3Dシミュレーションソフトを用い、ビジュアライズしながらステージデザインをしている。ソフト上で映像や照明を動かして見ることも可能。

「Join Visual」は、参加者がコメントや投票をし、その結果をリアルタイムにビジュアライズし効果的に演出する参加型イベント演出パッケージ。会場で表示されたQRコードを読み取ることで、アプリをダウンロードすることなく、ウェブページからコメントや投票ができる。ライブ中にQRコードを用いて、インタラクティブなやりとりを演出する。


バーチャルYouTuber「りむ」

「Vtuber」では、モーションキャプチャー技術に加え、キャラクター・デザイン、音楽制作、イベント制作など、トータルにVtuberを使用したソリューションを提案する。

IIJ／JOCDN

【ブースNo. 6207】

インターネットイニシアティブ（IIJ）とJOCDNは、同時配信、100G IP、4K＋ハイレゾ配信、CDN（Contents Delivery Network）の各テーマで展示する。

同時配信では、伝送に必要なソリューションを参考展示。放送品質を目指した信頼性の高い配信基盤をアセットレス・月額課金制で提供するソリューションを見せる。

主な機能（クラウドサービス）は、①SCTE35/ARIB字幕付きのMPEG2-TS から、HLS/MPEG-DASHへパッケージング②SCTE35の情報をもとに広告の差し替え、LiveからVodファイルの切り出し③ARIB字幕から、文字コードの変換、TTML/WebVTTへの変換、ビットマップへの変換――など。

100G IP伝送は、IIJが放送局向けに提供しているネットワークサービス、ソリューションの１つで、当日はVideo over IPソリューションとして、100Gbpsの回線を用いた映像伝送デモンストレーションをし、ストレスのないリモートプロダクション環境を提案する。

4K＋ハイレゾ配信は、4K映像・ハイレゾ（96ＫＨｚ/24ﾋﾞｯﾄ PCM）という大容量のコンテンツを同時にインターネット経由でライブ配信するソリューション。

CDNは、JOCDNが提供する日本国内の動画配信に特化したシンプルなCDNを提案。主要OVP事業者と接続実績があり、スムーズなCDN切り替えが可能で、すでに多くの放送局で導入実績のあるサービス。

国別/都道府県別配信機能や時限URL機能、IPv4/IPv6のデュアルスタック設計などが特徴だ。

ブロードデザイン

【ブースNo. 4509】

ブロードデザインは、Matrox社「Monarch EDGE」のencoder、decoderを中心に「可搬型12G-SDI対応オーディオモニター」「DC電源分配器」「CM METAFACTURE」、「Quick Label」などを出展する。

Monarch EDGEは1筐体で3G-SDI信号を4系統、12-SDI信号を1系統 ネットワーク回線を使用し送信可能で、現場に行くスタッフを最小限に効率良い中継を可能とする。ネット配信も同時にでき、端末からは各カメラの映像を楽しむことが可能。一連のフローを実際に体感できる。

可搬型12G-SDI対応オーディオモニターは、4.3型の液晶モニターを搭載しており、映像および音声を確認できるハンディータイプのオーディオモニター。DC電源分配器は、DC12V専用機器に対して電源を供給できる。最大6系統出力が可能。

CM METAFACTUREは、XDCAM用CM素材交換メタデータ作成・関連帳票作成およびシール印刷が可能なソフトウエア。

フェローズ

【ブースNo. 8601】

フェローズは、クリエイターと企業、双方を熟知した専門性の高いエージェントによる仕事の紹介を中心に、スキルアップ講座の運営、イベント・交流会の開催、業界情報サイト運営などを、全国12拠点、東京・札幌・仙台・新潟・金沢・名古屋・京都・大阪・広島・福岡・沖縄・高松（11月18日開設）で提供する。UIターンの希望も、拠点ネットワークを生かして支援し、クリエイターライフのサポーターとして活動している。

Inter BEE MeetUpではフェローズアカデミー講師によるワークショップセミナーを開く。内容は、「動画の効果測定（前篇）」（13日10時30分-12時）では、ウェブマーケティングの進化から動画マーケティングの未来を展望。「同（後編）」（13日13時-14時30分）では、２つの事例から正しい効果測定の方法を検討する。

定額制レンダリングサービス

エヌジーシー

【ブースNo. 6402】

NVMeストレージ「Quantum F2000」、定額制レンダリングサービス「ServerNEST」、スタジオ管理スケジュール連動・請求書発行システム「NGC RISINGCⅡ」、ストレージ分析管理アプリケーション「Ordigraphe DataIntell」、ストレージ一体型Flameシステム「NGC Advant F2203」、オンプレミス・レンダリングサーバー「NGC Atum2101-GX」、コンパクト・ハイパワーワークステーション「NGC Lavoro Series」、4K（8K）対応波形モニター「Drastic 4K-Skope」などを出展。


Quantum F2000

アジア初出展となる「Quantum F2000」は、8K編集環境に適した超高速NVMeストレージ。2Uの筐体に24基のデュアルポートNVMeドライブを搭載可能で、46TB/92TB/184TBの容量モデルがある。クライアントとの接続は32Gb FCまたは100GbEに対応しており、総帯域25GB/sのパフォーマンスを実現する。

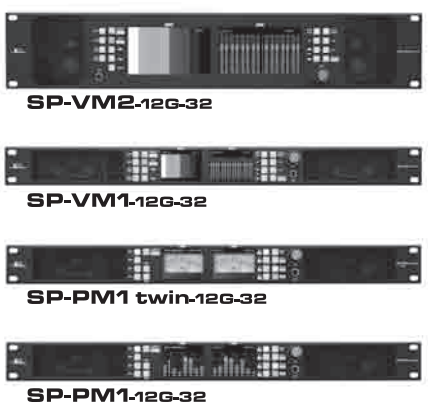
「NGC ServerNEST」は、リモート接続の定額制レンダリングサービス。IP-VPN接続によるセキュアな双方向通信をし、ユーザーはリモート接続経由で直接レンダリングサーバーを操作することもできる。

「Ordigraphe DataIntell」は、ストレージ分析管理アプリケーション。ネットワークマウントされているストレージの分析結果をGUI画面で表示・管理可能。プロジェクトベースで日々の増加容量を確認でき、ストレージコストの可視化を実現した。

「NGC RISINGCⅡ」は、スタジオ管理スケジュールシステムRISINGCの機能拡張システム。スタジオ予約画面と連動した作業実績・売上登録・請求書発行ができる。

Inter BEE 2019　4K・12G　新製品 出展のご案内

12G オーディオ・ビデオモニタ



4K・12G カメラアダプタシステム



新製品



Inter BEE 2019 11.13㈬≫15㈮ 幕張メッセ　ブースNo.5107 にて出展いたします。

株式会社 コスミックエンジニアリング　〒191-0065　東京都日野市旭が丘3-2-11　tel 042-586-2933（代表）　http://www.cosmic-eng.co.jp/　mail: c1000@cosmic-eng.co.jp

特集 Inter BEE 2019 出展概要 15
International Broadcast Equipment Exhibition

コンソールの最新バージョン

オタリテック

【ブースNo. 2413／2512】

LAWO社コンソールの中でも最大の導入数を持つ「mc256」は、SMPTE ST2110、AES67/RAVENNAへネイティブにフルサポートした最新第3世代バージョンを展示。また、IPルーティング/プロセッシングプラットフォーム「V_Matrix」をはじめとしたビデオ/IP関連機器を披露する。

Riedel社からは、多くの国内導入事例のあるワイヤレスインカム「Bolero」、レバーキーを搭載したインカムパネルをはじめ多様なアプリケーションに対応する多機能インタフェース「RSP-1232HL」、ST2110対応となったMicron IPなど多くの新製品を展示する。

英国PMC社からは、新世代のメインモニタリングシステム「QB1A」をはじめ「QB1A」と同じピストンフラットベースドライバーを搭載した3ウェイミッドレンジモニターの「IB1S-A」、ニアフィールドのtwotwoシリーズなど多彩なラインアップをそろえる。

OTARI製品は、600台を超える国内導入数をもつ光ジープLWBから、可搬型のLWB-24、据え置き型のLWB-72を展示するほか、Phonakからライセンスフリーの2.4GHz帯を利用したデジタル・ワイヤレス・イヤーピース・コミュニケーション（送り返し）システム「Roger」、d&b audiotechnikから新シリーズA-Seriesオーグメント・アレイ・ラウドスピーカーを展示する。


Riedel「RSP1232HL」

コイケ

【ブースNo. 5407】

コイケは初めて単独で出展。SDI機器、伝送機器をはじめ、Kramerのお勧め製品などを展示する。

「ASPEN-32UFX」は、全32のポートを個別に入力か出力に設定できる12G SDIマトリックススイッチャー。さまざまなインテグレーションに柔軟に対応できる。SDI規格：12G SMPTE ST-2082-1, 6G SMPTE ST-2081, 3G SMPTE 424M, 1.5G SMPTE292M, SD SMPTE259M/344Mに準拠。最大解像度は4K/60Hz(4:2:2)で、最大データ転送レートは12Gbps。入力ケーブル補償は、12G最大80㍍、6G/3G最大100㍍、1.5G最大200㍍、SD最大300㍍（高性能同軸ケーブル使用時）となっている。

「PT-871/2XR-KIT」は、DGKat2.0方式の4K/60Hz(4:4:4)対応のHDMIツイストペア送信器/受信器のセット。送信器、受信器および電源を備えたオールインワンキットで、HDR、HDMI 2.0、HDCP 2.2に対応。

ヤマハミュージックジャパン

【ブースNo. 1211】

「RIVAGE PM シリーズ」をはじめとしたデジタルミキサーラインアップや、ハイパワー・高音質を実現するポータブルPAシステム「STAGEPAS 1K」、薄型小口径シーリングスピーカー「VXC 2FB」「VXC 2 FW」、シーリングサブウーファー「VXC8SB」「VXC 8 SW」、機器のリモートと管理をするコントロールパネル作成が可能なソフトウエア「ProVisionaire シリーズ」を展示する。

ドイツのスタインバーグ社製品としては、CMやテレビ番組の音響効果、ゲームオーディオ制作といった音声業務の効率を大きく向上するDAWソフトウエア「Nuendo 10」を展示。さらに、フラッグシップのオーディオインタフェース「AXR4T」とヤマハのモニターマトリクスプロセッサー「MMP1」を組み合わせた、新世代のコンパクトスタジオシステムを提案する。

フランスのNEXO社からは、GEO Mファミリーのフラッグシップモデルとなるラインアレイ「GEO M1 2」、次世代パワードデジタルTDコントローラーNXAMP MK2シリーズの最上位モデル「NXAMP4x4MK2」、NEXO初となる低域12インチの同軸ポイントソースシステム「P12」を中心に展示する。

ヤマハサウンドシステム

【ブースNo. 2201】

自社オリジナル製品群「HYFAXシリーズ」を出展。電動吊マイク装置「MHN1」や高分解能FIRフィルターを使用したアコースティックメジャーメント/EQプロセッサー「AMQ3 SRなどの新製品のほか、マトリクスコントローラー「LDM1」などをそろえる。

また、今年5月から取り扱いを開始したAudinate社「Dante Domain Manager」も披露する。ヤマハブース【No.1211】で、同製品のセミナー『「DDM」ではじめるセキュアなオーディオネットワーキング』（3日間とも13時-13時45分）を開く。

ワイヤレス伝送装置の性能向上

キャムキャスト7

【ブースNo. 4413】

Teradek/SmallHD製品の販売、およびインターネットライブ中継サービスを手がけるキャムキャスト7のブースでは、性能が向上した高品質ワイヤレス伝送装置BOLT4Kを展示する。従来以上に堅ろうなワイヤレスシステムへ改良されたうえ、特許取得済みワイヤレステクノロジーで、SDIケーブル使用時と見分けがつかないほど高精細に映像のディテール・色再生を実現。

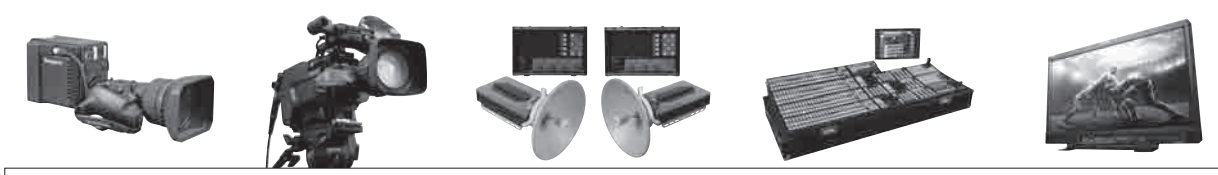

TeradekRTシリーズ

そのほか、最新製品も登場したTeradekRTシリーズや、RT製品と親和性の高いSmallHDのモニター類を合わせて展示する。



4K LIVE PRODUCTION

撮影から中継、送出に至るまで、Ikegamiの放送機器が生み出す4K映像の表現力と魅力をliveでつなげるSolutionを提供します。



4K/HD マルチパーパスカメラ	4K/HD ポータブルカメラ	4K・IP伝送対応 デュアルモード・デジタルFPU装置	4K ライブプロダクション スイッチャ	4K/HD マルチフォーマットLCDモニタ
UHL-43	UHK-430	PF-900	MuPS-5000	HQLM series

池上通信機株式會社 〒146-8567 東京都大田区池上5-6-16 www.ikegami.co.jp

お問い合わせは ●放送システム営業第1部 TEL:03-5748-2201 / TEL:03-5748-2221 ●大阪支店TEL:06-6389-4466 ●名古屋支店 TEL：052-705-6521 または右記営業所へ ●札幌TEL：011-231-8218 ●仙台TEL：022-292-2420 ●福岡TEL：092-451-2521

特集 Inter BEE 2019 出展概要 16
International Broadcast Equipment Exhibition

テロップ制作の作業環境を改善

ラムダシステムズ

【ブースNo. 6110】

「テロップシステムの仮想化ソリューション」をメインに展開する。仮想化ソリューションでは、ソフトウエア環境をすべてプライベートクラウド上に構築し共有化することで、Windows環境のみならず、Apple端末をはじめ、タブレット端末からの入力が可能になる。これにより作業する端末を選ばず、社内外も問わず、どこでもスタッフが作業環境を共有することができ、外部からの入力環境の幅を大きく広げる。さらに、在宅での作業が可能となれば、天候不良時などにテロップ制作担当スタッフが「数行のテロップのためだけに数時間かけて出社する」ということもなくなる。

また、「HDR/SDR相互変換ソフト」も出展予定。相互変換ソフトは、HDRで制作された素材をSDRに自然に変換し、再現することが可能。4K HDR対応テロップシステム/フレームバッファ「GRID-ZERO」に組み込まれる予定。4K製品展示コーナーにおいて公開する予定。

ほかにも、ノンリニア編集ソフト「EDIUS」をはじめとする各種プラグインや、スポーツ中継などで長年活躍している「スポーツコーダ」、テレビ画面の「L字」災害支援システム（L字）に関する展示を実施する。



テロップシステムの仮想化ソリューション

AJA Video Systems

【ブースNo.7312】

IBC2019で新たに発表された3G-SDI HD/SDビデオ信号のフレームシンクロナイザー「FS-Mini」や、12G-SDI接続対応でHDR/SDRのモニタリングとアナライズに対応する「HDR Image Analyzer 12G」など、新製品を使った最新ソリューションを展示する。

今年4月に発表されたマルチチャンネルH.264 HD/SDレコーダー&プレイヤー「Ki Pro GO」、open Gear準拠でビデオフレーム同期に対応する「OG-FS-Mini」、スケーリング/スキャニング変換を拡張する「OG-ROI-DVI/OG-ROI-HDMI」、H.264の収録/配信にボタン1つで対応する「HELO」など、最新の製品群を組み合わせたライブ映像制作向けのソリューションを披露。

ブースではソリューションごとに展示コーナーを設け、ユーザーの要望に合わせたAJAのワークフローを提案する。実機に触れながら専門スタッフに相談できる環境を提供する。

ニューメディア

【ブースNo. 7501】

テレビを新たなビジネスプラットフォームにする、CP2（Contents Player for Communication Platform）を提案する。

「有料コンテンツ配信」＝イベント映像やライブ配信、高画質映像などを有料コンテンツとして課金することが可能。視聴者からの直接的なコンテンツの購入という新たな収入源を生み出すことができる。

「テレビ画面上での決済」＝映像販売やオンラインショッピングなどの決済が可能であり、多様なビジネスモデルを創出できる。例えば災害寄付金を募ることや、クラウドファンディングのような仕組みを構築することも可能。

「レコメンドエンジン」＝視聴傾向や特定のキーワードに反応している人に対し、関連する商品や映像をお薦め、または販売ができる。コンテンツの課金率を高めることや利用者にとっても満足感の高い視聴体験が提供できる。

これらの機能を相互に組み合わせることで、事業者ごとのオリジナルビジネスの創出が可能になる。

気象・防災情報システムを実演

クロスイメージング

【ブースNo. 4513】

3D気象情報作画システム「BOLT Weather Station」、気象情報作画送出システム「New Weather Station」、防災情報作画送出システム「New Disaster Station」、緊急地震速報システム「EEW Station」、防災情報自動音声アナウンスシステム「Media Voice Station」、CATV局向け気象防災情報送出システム「Media Community Station」など、自社開発の気象・防災情報の作画および送出をする各種システムを展示。併せて実際のシステム運用をイメージしたデモを実施し、「放送業務総合サービス」について説明する。

「放送業務総合サービス」は、気象・防災情報番組の放送をコンサルティングし、より良い番組作りや運用をサポートするサービス。システムが有する自動作画や音声合成の機能により無人運用を実現するほか、操作性の高いオーサリングツールにより、画角の調整や分かりやすく見ごたえのある各種気象・防災情報の画面づくりを可能にする。

豊富な気象・防災情報コンテンツの提供や原稿支援、気象予報士への相談受付といった、日々の気象情報番組の作成に役立つ各種サービスを提供し、視聴者から信頼される番組作りに貢献する。これらのサービスを、問い合わせ窓口を一本化し、24時間のサポート体制で提供することで、滞りなく安定的な運用が実現する。



洪水警報の危険度分布

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2019 【ホール1 小間番号1210】
TAMURA

DECT方式インターカムシステム

新製品
可搬型DECT方式
インターカムシステム

MK-H96
ポータブル
コントローラ





MK-C96
メインコントローラ(2Uタイプ)



MK-A96
アクティブアンテナ



MK-316C
ヘッドセット

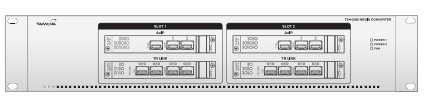
MK-B96
子機

W128×H130×D36 (mm) のサイズで10台の子機が接続可能な可搬型のメインコントローラMK-H96を初出展

NT MATRIX
DIGITAL AUDIO PROCESSER
OTCシステムに対応したNT MTX、REMOTE FADER (OTCフェーダー)、SWITCH PANELを初出展



ST 2110用
Network Interface
IPネットワークを実現するために必要なSMAPTE ST 2110に対応し、1,024chの伝送が可能



株式会社 タムラ製作所 https://www.tamura-ss.co.jp/
ブロードコム事業部 営業統括部　〒178-8511 東京都練馬区東大泉1-19-43　TEL.03-3978-2146
ブロードコム事業部 西日本営業所　〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-27-27第2江坂三昌ビル4F　TEL.06-4861-7722

NHK Technologies, Inc.

ONE STOP NT
支える技術溢れ出す技術

『株式会社NHKテクノロジーズ』は、去る4月1日に
旧NHKアイテックと旧NHKメディアテクノロジーが統合し、
幅広いサービスをご提供できる総合技術会社としてさらに
進化する形で発足しました。
この度、統合新社で初めての展示会となる、国際放送機器展
「Inter BEE 2019」へ出展いたしますのでご案内申し上げます。

映像制作、放送設備全般の施工から設置、保守、また難視聴対策
に至るまで幅広くOne stopで対応させていただきます。
ご多忙中のところ恐縮ではございますが、是非ご来場賜り
弊社ブースへお立ち寄りくださいますようお願い申し上げます。
詳細はhttps://www.nhk-tech.co.jp/まで

■ 会　期：2019年11月13日（水）～15日（金）10時～17時半（最終日は17時まで）
■ 会　場：幕張メッセ　ホール3 / 3113
■ 入場料：無料（登録制）詳細はWEBサイト（http://www.inter-bee.com/）よりご覧ください

150-0047 東京都渋谷区神山町4-14 株式会社NHKテクノロジーズ　03-3481-7710

NABSHOW
Where Content Comes to Life

www.nabshow.com

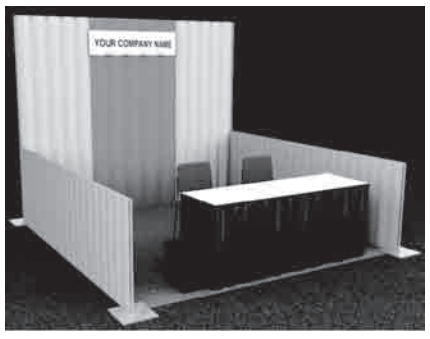
NAB SHOW 2020
出展企業募集

開催：2020 年 4 月 18 日 –22 日　展示：4 月 19 日 –22 日

Las Vegas Convention Center
Las Vegas, Nevada USA

※価格は 2019 年 10 月現在のもので、変更される場合があります。

スターター・ターンキーパッケージ



3m × 3m　5,800 ドル (税込)
内訳：ブース料金 5,500 ドル + サポート経費 300 ドル

・背面カーテン、横仕切りレール
・テーブル、椅子× 2
・背面カーテン会社名
・500 ワットの電源
・ゴミ箱



3m × 6m　11,500 ドル (税込)
内訳：ブース料金 11,000 ドル + サポート経費 500 ドル

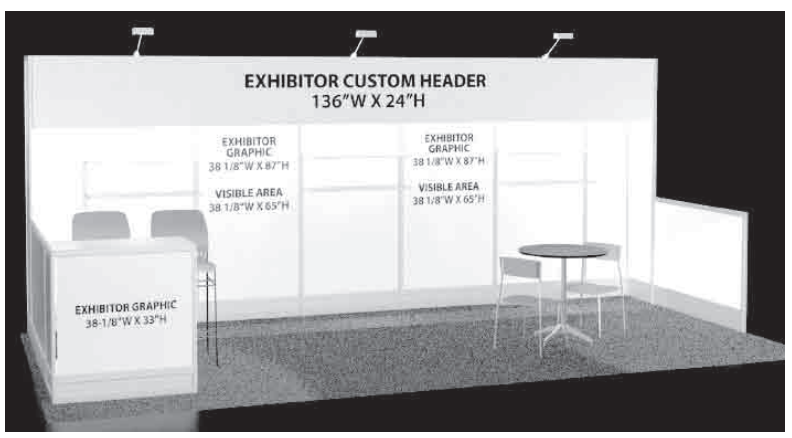
・背面カーテン、横仕切りレール
・テーブル× 2
・背面カーテン上会社名
・商談用丸テーブル、椅子× 4
・1,000 ワットの電源
・ゴミ箱

ベーシック・ターンキーパッケージ



3m × 3m　9,800 ドル (税込)
内訳：ブース料金 9,500 ドル + サポート経費 300 ドル

・背面ライト× 2
・幅 1m 受付カウンター (内側に施錠付き物入れ)
・カウンター椅子× 2
・背面棚× 2
・背面上部会社名
・1,000 ワットの電源
・ゴミ箱
・背面壁広告用パネル (96.8cmW x 174cmH)
・カウンター前面広告用パネル (96.8cmW x 85cmH)



3m × 6m　19,500 ドル (税込)
内訳：ブース料金 19,000 ドル + サポート経費 500 ドル

・背面ライト× 4
・幅 1m 受付ウンター (内側に施錠付き物入れ)
・カウンター椅子× 2
・背面棚× 3
・背面上部会社名
・商談用丸テーブル、椅子× 2
・1,000 ワットの電源
・ゴミ箱
・背面壁広告用パネル (96.8cmW x 174cmH) × 2
・カウンター前面広告用パネル (96.8cmW x 85cmH) × 2

出展に関する問合せ：NAB 日本代表事務所　nabshow@eizoshimbun.com
〒112-0006 東京都文京区小日向 1-24-8　Tel.03-3942-2381　Fax.03-3942-2581

特集 Inter BEE 2019 出展概要 17
International Broadcast Equipment Exhibition

Dolby ATMOS対応スタジオ装置

タックシステム

【ブースNo. 6304】

タックシステムは、AVID コンソールシステム「S6」「S4」を展示、Dolby ATMOSに対応したスタジオシステムを提案する。

ADDERは、世界初のシングルファイバーでのデュアルヘッド、高性能4K IP KVMマトリックス、従来のHD、2Kとの混在でマトリクスを組むことが可能な4K60pマトリクスシステム「ALIF 4000」と、アクセスが困難な場所にあるコンピューターを安全で応答性の高いリモート制御で操作可能にするユニット、リモートアクセス製品 KVM over IP「IPIPEPS-Plus」をハンズオンで実体験できる。

そのほか、DirectOut Technologies「PRODIGY.MC　MADI、ネットワークオーディオ(Audio over IP)に対応したモジュラーコンバーター」、Yellowtecの歪まないレコーダー/マイク「iXm」Decimator Design　SDI to HDMI マルチビューワー「DMON シリーズ」、タックシステム Studio Monitoring Controller「VMC-102」などを展示する。



ALIF 4000

エヌティーアイジャパン

【ブースNo.1304】

音響・オーディオ測定における最新の機器とテストソリューションを出展する。

オーディオ&アコースティックアナライザー「XL2」は、ハンドヘルド型XL2、リニューアルにより軽量化されたDS3 12面体スピーカー、レポート作成ソフトを組み合わせた新しい室内音響測定ソリューションを提案。ポータビリティに優れた測定システムは現場へ楽に持ち運びができ、測定後のデータ編集、レポート作成も容易になる。

XL2はオプションで音声明瞭度STIPAを測定できる。アナウンス放送の音声明りょう度は、特に災害時の避難誘導で重要になる。音声明瞭度測定に関しては、ISO、IECなどの国際機関で標準化されている。2019年5月から、最新の国際および国家標準に準拠したレポート作成ソフトSTIレポーター V4.27を無償で提供している。

オーディオアナライザー「FX100」は、スピーカー、マイクロホンが組み込まれた新しいアナログ・デジタルオーディオデバイス。入出力コネクターのないスマートスピーカー向けのクローズループ測定、ビームフォーミングやノイズキャンセル機能のためのMEMSマイクアレイを搭載するデバイス向けの新しいテストソリューションを提供する。

ベステックオーディオ

【ブースNo. 1208】

スピーカー、ミキサーコンソール、アンプ、PA/ライブサウンドシステムを出展する（ビーテックと共同出展）。

「L-Acoustic」Aシリーズ（A15Wide、A15Focus、A10Wide、A10Focus、KS21）は、ミディアムスローの定曲率WSTラインソーススピーカー。コンパクトでフライングとスタッキング、そして個別にポイントソース利用もでき、利便性が高い。

「Midas HD96-24」は、大型FULL HDタッチスクリーンを搭載し人間工学に基づいたUIデザインとAIによるアシスト機能で、これまでにないスムースなワークフローが可能となるデジタルコンソール。

最新の各種インターカムをデモ

松田通商

【ブースNo. 2412、2411】

映像・放送・音響そして会議システムの各新製品を多数そろえ、専門スタッフが説明する。

Clear-Com製品は、デジタルマトリックスインターカム「Eclipse HX」、デジタルワイヤレスインターカム「FreeSpeak II」、アナログパーティーラインインターカム「Encore」や、最新のワイヤレスインターカム「FreeSpeak Edge」を展示デモする。

Prodys製品は、SIMカードを挿入するだけで使用できる、軽量・手のひらサイズのIPコーデック「Quantum Lite」やひかり電話コーデックを展示。

Axel Technologyからは、日本初登場のイタリア製デジタルハイブリッドを披露。

IPライブプロダクションシステムを補完するために開発されたHi Tech Systemsの「IP LIVE UTILITY INTEGRATOR」は、既存の放送プロダクション設備とMedia Over IPシステムとの統合を図ることができる最新のソリューション。



FreeSpeak Edge

フォービット

【ブースNo. 1407】

MADIおよび22.2マルチチャンネル音響関連機器を中心に展示する。

モノ/ステレオ素材を22.2ch音響にアップコンバートおよび、22.2ch音響を5.1chやステレオにダウンコンバート可能な22.2chアップ/ダウンコンバーターをはじめ、MADI入力32chバーグラフメーター、MADIオーディオモニターユニットをそろえる。

また、中継用機材としてポータブルデジタルオーディオミキサーおよびオーディオマトリックスユニット、参考出品としてデジタル入力6chミックス機能付ラウドネスコントローラなども併せて案内する。





特集 Inter BEE 2019 出展概要 18
International Broadcast Equipment Exhibition

全天候型仕様の演出用照明器具

東京舞台照明

【ブースNo. 6301】

TERBLY製「L PAR-7 IP」「GLX IP」「G7B NOVA IP」「G8P IP」、GSARC製「DOT XXL」など、全天候型の演出用照明器具をそろえる。

2016年の販売開始以来、好評の「L PAR-7」は今秋、待望の全天候型仕様をリリース。小型軽量にもかかわらず、ハイパワー35W 4in1のLEDエンジンを7個搭載する基本構造はそのままに、使用環境を選ばないIPレート65仕様の筐体を採用した。7-55度に拡大されたズームレンジは、屋外イベントでの演出効果を大幅に広げる。周波数を任意の値に可変できるので、ハイスピードカメラでの収録時にもフリッカーが起こらない。

「GLX IP」は、ラグビーワールドカップ2019日本大会のオープニングセレモニーにおいて、その高度な演出を支えたTERBLYのIPシリーズで、フルスペック・ムービングヘッドにLEDエンジン搭載機種が加わった。ハイパワー1050WのLEDエンジンを搭載。ムービングスポットに要求される機能のほぼすべてを備えたフラッグシップモデル。



GLX IP

Dell EMC

【ブースNo. 3313】

Dell EMC Isilon スケールアウトNAS（データ保管装置）、Edius Isilon、Dell Precision（ワークステーション）、Dell モニターなどを出展。

Dell EMC Isilon スケールアウトNAS（以下、Isilon）は、独自の分散ファイル システム OneFSにより、大容量データを単一のファイルシステムで管理することが可能なストレージ。優れた拡張性や性能、管理性などにより、高い評価を得ているIsilonは、IP化やデータの大容量化が急速に進む業界において標準的な装置となっている。基幹インフラやアーカイブなど幅広い局面で活躍するとともに、グラスバレー社と共同開発のEDIUS-ISILONやデルとの統合で、ますます進化を続けている。



Dell EMC Isilon

Deity Japan

【ブースNo.2002】

「Lupo製品」としてLEDスポットライト、LEDパネルライト、「8Sinn製品」ではBMPCC4K/6Kケージおよび関連アクセサリーを出展する。

イタリアの照明メーカーLupoのLEDスポットライトは、高い演色性や高品位のフレネルレンズにより、既に海外で高い評価を受けている製品。同社では今年10月に輸入を開始した。

出力によりDAYLED650、DAYLED1000、DAYLED2000があり、それぞれに3200K、5600K、DUAL COLORのモデルが用意されている。今回展示するのは小型のDAYLED650 DUAL COLORを予定。

ポーランドの8Sinnは、ケージを中心としたデジタルシネマ用のアクセサリーを開発している。機能、外観だけでなく、使い心地も重視しており、細部にわたって丸みを帯びたデザインが特徴。

地デジ放送波でナローキャスト

アトラクター

【ブースNo. 7119】

地デジ放送の電波を使用して公共情報を伝達する「ナローキャスト放送」による防災・減災ソリューションを提案する。これは自治体の災害情報（Lアラート連携）を放送局から放送として配信するもの。ライフラインに影響を及ぼすような大きな災害を想定し、携帯電波やWi-Fi電波がなくなるような状況でも、自治体からの災害情報をスマートフォンへ一斉に通知する。これにより避難者の“情報難民”を解決する。また、放送波なので高セキュリティーのため、信頼できる情報を確実に伝達できる。

特定地域を対象とした情報配信を実現し、避難所単位での通知も可能。また、放送波を使用して公共設備の制御ができるため、例えば避難所の鍵ボックスを放送で解除することが可能となっている。



「ナローキャスト放送」による防災・減災ソリューション

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2019
11.13水 »» 15金 幕張メッセ

SPECIAL USER'S SESSION

DAY 13 Wed　DAY 14 Thu　DAY 15 Fri

「教えて、Flame! いまさら聞けない、Flameのアレ？コレ？」13:40 ~
太陽企画株式会社　プロデュースマネージメントセンター Unit3 Unit Leader 豊永　玲氏　+Ring/Edit ルーム chief Editer 渡邉　秀久氏

「Netflixの見据えるコンテンツ制作」
15:00 ~
Netflix 株式会社　Creative Technologies&Infrastructure Creative Technology Engineer 宮川　遥氏

「映画 東京喰種 トーキョーグールGC&Flame メイキング」
15:00 ~
VISUALMAN TOKYO　CEO・VFX Supervisor/Produser 桑原　雅志氏　VFX Compositor/Editor 宮城　雄太氏

「ハリウッドのビューティーワークとディエイジング、エイジング」
15:00 ~
digital bigmo　CEO VFX Creator 山際　一吉氏

「HDRの表現力」
12:10 ~
株式会社 Zaxx GZ TOKYO　デジタル・イメージング部　部長 長谷川　伸氏

Visual Graphics Inc.
Hall 7 / No.7203
詳しいスケジュールは

特集 Inter BEE 2019 出展概要 19
International Broadcast Equipment Exhibition

ライセンスフリーのBGM/効果音

クリプトン・フューチャー・メディア

【ブースNo. 2209】

ノイズリダクションツール「ERA」シリーズ、数百万件にも及ぶライセンスフリーBGM/効果音ライブラリー、音声の削除や抜き出しを請け負うB2Bサービス「APS」、オーケストラ音源メーカー「SPITFIRE AUDIO」などを出展する。

ブースでは、「音」に関するソフトウエア、プラグイン、素材の総合ダウンロードストア「SONICWIRE」取扱製品を披露。複数社の音声分離/ノイズリダクション・ソフトウエアを体験できるほか、数万ものライセンスフリー効果音/BGMのお得なバンドル版などを案内する。映像からの「BGM削除」「ダイアログ」や「ボーカル」の抜き出しを請け負うB2Bサービス「APS（オーディオ・プロセッシング・サービス）」についても説明する。



ERAシリーズ

ネットワークエレクトロニクスジャパン

【ブースNo. 4610】

ネットワークエレクトロニクスジャパンは、以下の取り扱い輸入ブランドを出展する。

▽Nevion（ネビオン）：SMPTE2110対応の非圧縮3GHD-SDI/IP伝送、TICOによる4K UHDビデオに新たに加わったJPEG XS低遅延コーデック実装可能なIP伝送プラットフォームVirtuosoと併せて大規模IPビデオルーテングシステムのフルオーケストレーションを可能にするVideoIPathをデモ展示予定。

▽Stream Labs（ストリームラボ）IPオーディオ＆IPビデオマルチフォーマットビデオマルチビューアーを展示。オーディオ、ビデオ信号の品質監視アラームGUIを装備した多チャンネル入力のリモートモニター切り替えが可能な拡張性に富んだマルチモニターシステムをデモ展示予定。

▽Digital Nirvana（デジタル ニルヴァーナ）：Volicon Obesrverに代わるデジタル ニルヴァーナ社のMonitor IQ法定同録装置を展示予定。SDIベースバンド及びTS、IPなど多くの入力方式に対応した長時間録画と軽快なファイルハンドリング機能を持つマルチチャンネルモニタリング機能を実装。同録、モニター、レポート、ファイル変換・転送が可能。データ解析、ソーシャルメディア向けやOTT、ストリーミングサービスとの連携が可能。

▽CHYROHEGO（カイロンヘーゴ）：販売元であるアセントとのパートナーシップによるカイロンヘーゴ社のVIRTUAL PLACEMENTセンサーレス リアルタイムバーチャルグラフィック合成システムを展示予定。

ティアック

【ブースNo. 2401、8609】

TASCAMブランドの放送音響機器、DanteやIP伝送に対応した設備音響機器、dBTechnologies社のPA/SRスピーカー、KLOTZ AIS社のオーディオ/ネットワークケーブルを展示する。

4Kライブストリーミング用AV Over IPエンコーダー/デコーダー「VS-R265」は、録画・エンコード・ストリーミング・デコードを同時に実現するオールインワンの映像配信機器。

マルチトラックレコーダー「DA-6400」やDante/アナログコンバーター「ML-32D」は、SMPTE ST 2110に対応、IPライブ伝送技術の接続展示をする「IP PAVILION（ホール3）」にも参加する。

設備音響新製品では、DSP内蔵マトリクスミキサー「MX-8A」をリモート制御可能な壁埋め込み型プログラマブルコントローラー「RC-W100」を参考出品するほか、業務用ブルーレイプレーヤー「BD-MP1」、小規模設備用ゾーンミキサー「MZ-123BT」を展示。

PA機器では、ラックマウント可能な16トラックライブレコーディングミキサー「Model 16」を出展。「INTER BEE EXPERIENCE SRスピーカー体験デモ」では、dBTechnologies新製品ラインアレイシステム「VIO L212」を試聴出展する。

衛星伝送できる可搬型アンテナ

マウビック

【ブースNo. 2509】

広指向性の地上デジタル放送受信用アンテナ「FRN-1D」は、高利得、広指向性のため、中継車、警察車両、消防車両、船舶などの地上デジタル放送受信に適している。FRP一体構造とゲルコート仕上げにより完全防水、高耐久性を実現した。風の影響が少ないスマートでコンパクトな形状になっている。

「Mantis MSAT 0.9m」は、衛星回線を利用して、映像伝送ができる可搬型アンテナシステム。ベースユニット、RFユニット、アンテナの3ブロックになっており、小型・軽量で、可搬性に優れ、短時間で組み立てができる。現場到着後、約10分で映像伝送が始められる。アンテナマウントも兼ねたベースユニットには、衛星中継に必要なエンコーダー、モジュレーターおよび衛星補足調整用受信機を内蔵。2020年1月に4K/HD対応HEVCエンコーダーおよびDVB-S2Xモジュレーターを搭載した最上位モデルを発売予定。



Mantis MSAT 0.9m

4K/HD、HEVC/MPEG4/MPEG2マルチフォーマットIRD/デコーダー「Cygnus RX-1」は、標準IP入力で、ASI入力/衛星入力/ビデオ出力モジュール（いずれもオプション）はリアパネル4スロットへユーザーが実装、交換可能。あらゆる入出力、フォーマットに対応した多機能受信機となっている。

第2回 2019 学生の為の短編映画祭
Fellows Film Festival 2019
for Students
ノミネート8作品をBSデジタルで放送・東京の映画館で上映！
BS-TBSテレビ 放送スケジュール
11/12(火)・16(土)・19(火)・23(土)・30(土) 〈毎週火曜・土曜 PM10:54～〉
映画祭〈上映・受賞式〉
12/8(日) 入場無料
場所：渋谷 ユーロライブ
Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2019
11.13(水)»15(金) 幕張メッセ
ICT/ クロスメディア部門
ホール 8 / ブース 8601
クリエイティブ業界専門の人材エージェント
映像・WEB・モバイル・グラフィック・ゲーム・アニメ・空間・プロダクト
FELLOWS Creator's Agent since 2003
www.fellow-s.co.jp
11月18日 四国・高松支社オープン！
国内12拠点：東京・札幌・仙台・新潟・金沢・名古屋・京都・大阪・広島・高松・福岡・沖縄
株式会社フェローズ 東京都渋谷区恵比寿西1-7-7 EBSビル5F TEL：03-5728-5580 ※恵比寿駅徒歩1分

POMFORT fn LiveGrade PRO ポムフォート ライブグレードプロ
ライブグレードで オンセット・カラーグレーディング
POMFORT fn Silverstack ポムフォート・シルバースタック
オールインワン撮影素材管理ツール「シルバースタック」
大切な素材管理とカラーの ワークフローをシンプルに。
tools ON air just:in ジャスト イン
多チャンネル ベースバンド インジェストシステム
- 多チャンネル同時収録
- 4K / HD対応
- スケジュール収録
- 同期収録
- 各種コーデック
- mxfへの収録
- 追っかけ編集対応
- RS422 VTR制御
tools ON air just:play ジャスト プレイ
Macで構築する番組自動送出システム
4K&HD対応／サイマル送出／IPストリーミング コーデック・解像度混在に対応／自動ルーター制御 強力なCGレイヤ／フェイルオーバー対応／ライブフィードCSV・XMLプレイリストインポート／ルーター制御
プロジェクト共有・管理 編集コラボレーションシステム
STRAWBERRY PROJECTIVE
「Strawberry」は、Avid、Adobe Premiere、Final Cut Proなど、プロフェッショナルビデオ編集環境のネットワーク共有ストレージ上で、独自の仮想抽象化レイヤ技術でプロジェクトとコンテンツ、ユーザーとグループを管理。プロジェクト共有とプロジェクト管理を実現し、より高度な素材データ共有を効率化する編集コラボレーションシステムです。
EIZOKO（えいぞうこ）
NAS機能つきアーカイブアプライアンス
シナジー「EIZOKO」は、LTOテープへのアーカイブとアーカイブ後のデータ活用を快適にする機能を備えたアーカイブシステムです。簡易MAM機能を備えたArchiware P5 ArchiveをストレージOSに統合し、あらゆるメディアデータをLTOで保管・管理。映像や音声データをプロキシムービーとともに保管するだけでなく、WordやPDF、予算管理などのExcelデータまでのすべてをLTOにアーカイブし、インデックス管理します。
ROOT6 TECHNOLOGY
ファイルベース ワークフロー自動化ツール
CONTENTAGENT
・映像・音声ファイルの自動トランスコード
・ノードベースのGUIで自動化ワークフローを構築
・メタデータ抽出・改変　・QCチェックツールとの連携
・GPU処理によるフレームレート/解像度/IP変換
映像用途に特化した国産NASストレージ
MIDO NAS
ARCHIWARE アーキウェア・P5アーカイブ
P5 Archive
LTO等にデータを長期保管 メディアアセット管理機能搭載
Synergy 株式会社シナジー www.synergykk.com 03-4563-1901

Next Generation IP Native Production Console

System T

System T S500 control surface





System T S300 - 16+1 faders control surface



System T S300 - 32+1 faders control surface

Visit SSL at Inter BEE show 2019

Hall 1, Booth No. 1306

Solid State Logic

OXFORD • ENGLAND

AES67 Dante SPOKEN HERE AIMS Member SMPTE 2110

ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン株式会社　〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14　Tel: 03-5474-1144　Fax: 03-5474-1147

特集 Inter BEE 2019 出展概要 20
International Broadcast Equipment Exhibition

各種ビデオサーバーの送出制御

武蔵

【ブースNo. 8312】

武蔵は、各種ビデオサーバーの送出制御をするマルチデバイスコントローラー「MDCシリーズ」、動画ファイルシステム「DCPシリーズ」などの制御システムおよび、撮って出しスロー／ハイライト編集可能なビデオサーバー「MVX/MVSシリーズ」などを出展。輸入品としてSimplylive社製ViBox8 All in one Production System、Phabrix社製Qx Analyzerを展示する。

「MDCシリーズ」は、各種VTR、ビデオサーバーなどのリモートコントロールをするシステムで用途に合わせた複数の機種をそろえる。「DCPシリーズ」は、各社のビデオサーバーを制御し素材を送出するシステム。スタジオサブなどで番組の素材送出をする際、大掛かりなサーバーシステムではなく、送出機を制御するだけのコンパクトな素材送出システムが構築できる。

「MVX/MVSシリーズ」はHD1～6入力の各機種があり、中継制作用において、撮って出しスロー／ハイライト編集が簡単に操作できるシステム。4K1入力1出力の機種もある。

「ViBox8 All in one Production System」は、6入力のビデオサーバーをベースに6入力2出力のビデオスイッチャー、3系統のスーパー機能を持ったコンパクト中継システム。

「Qx Analyzer」は、4K対応の12G-SDIおよびIPの信号発生器／測定器。コンパクト設計だが、ラスタライザータイプのため、いろいろな測定結果が1画面で確認でき、ビデオシステムの素材監視に適している。

「Inter BEE SPORTS」のコーナーでは、武蔵エスアイが「ViBox８Mini」を展示する。


DCPシリーズ（コントローラー）

シネマックス

【ブースNo. 4404】

新製品「SPIRAL SLIDER DOLLY KATANA MOBILE」は、自撮り撮影をするインスタグラマーやユーチューバーをターゲットにした、上下、左右、回転、パン/チルトの動きを組み合わせた多角度自撮り撮影機材。シネマックスが5年間をかけ開発した（現在特許出願中）。従来の「KATANA」製品と比べ軽量型で、初心者にも取り扱えるアイテムになっている。

そのほか、自動ELEVATION SYSTEM、英POLECAM社製AUTOPODと英MARK ROBERTS MOTION CONTROL社製のリモートヘッド「SFH-50」を展示する。


過去×未来　人×映像
IMAGICA Lab.
映像でつなぐ、映像がつなぐ。人でつなぐ、人がつなぐ。
未来の映像コミュニケーションをデザインします
事業内容
撮影、映画・TV番組・CM・PR等の映像・音声編集、DCP（デジタルシネマパッケージ）作成、コンテンツ流通・配信サービス、フィルム現像・プリント、映像の修復・復元・保存サポート、デジタル合成・VFX・CG / グラフィックデザインの企画・制作、吹き替え・字幕・翻訳、映像コンテンツの企画制作、イベント等の企画制作、Web やモバイルなどを利用した広告・宣伝・プロモーションの企画制作、システムやアプリケーションの開発、保守運用など、各種映像技術サービス
imagica
www.imagicalab.co.jp
2018年10月1日、(株)IMAGICA、(株)IMAGICA ウェスト、(株)IMAGICAイメージワークスは合併し、(株)IMAGICA Lab.となりました。

プラットイーズ

【ブースNo. 8301】

「放送・配信業務をもっとイージーに！」をテーマに、既存のシステム・サービスの提案のほか、機能拡張・バージョンアップ状況の報告、「次世代」のサービスを視野に入れた新商品を披露する。

放送・配信業務のマルチアウトソースサービス「ユニバーサル業務センター」は、番組やCMの放送・配信に関するさまざまな煩雑な業務を「標準業務フロー」に従って代行することで、効率化とコスト削減を実現する。

次世代リニア配信システム「PlayEase」（プレイイーズ）は、放送サービス提供各社のニーズから生まれた、簡易プレイアウトシステム。VOD 技術を応用し、常時ストリーミングではなく、Pull型の疑似リニア配信のため、CDNの利用コストが削減できる。また、プログラムの作り込みにより柔軟な設計が可能。

CM業務効率化サービスとしては、既存の放送局向けCM考査支援システム「こあらー」と広告会社向けCM考査支援システム「ADCoA」の機能強化と連携により、考査受付時の営業担当者の煩雑さが解消されるなど、考査業務全体の効率化が進む。

このほか、放送・配信業務のAI化・自動化、映像コンテンツの効果的な管理システム・サービスと新しいビジネススキームなどについて提案する。

登場人物の検索システムを展示

ＴＢＳテレビ

【ブースNo. 6303】

TBSテレビは、TBSグループの放送技術を起点とした他の事業分野への広がり、放送から新しい分野への拡張をテーマに、発表・実演をする。

体験コーナーでは、TBSラジオによるハイブリッドラジオとコネクテッドカーの体験、TBS&米ディズニー出資のスタートアップTYFFONによる次世代XRエンターテインメント体験を用意。高精度の顔認証エンジン（NEC製）を用いた登場人物検索システム「かおたん」（顔探）も展示する。

トークセッションでは、地上波やBS、ラジオの進歩や新たな技術、JNN系列での試み、マーケティングやダイバーシティへの応用など、現在注目のAI、IP配信、デジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組みについて、数多くの発表をする。

主なトークセッションは、24時間字幕付与システム、新回線センターのデザインコンセプトとIPモバイル受信体制、4K番組制作での工夫と活用事例など、現在の放送に直結したセッションから、音声認識AIによる文字起こし・放送字幕、若年層へスマホでニュースを届けるために開発したTBS News「いらすとキャスター」、JNN技術賞を受賞した最新技術――など。ScreenlessMediaLabやradikoログデータ分析など、新しい音声メディアを感じさせるセッションもある。

長距離・大容量の伝送技術デモ

NTTグループ

【ブースNo. 4401】

NTTグループブースではNTT、NTTエレクトロニクス、NTTテクノクロス、NTTビズリンクの4社が共同出展する。

NTTは、「光パケットトランスポンダを用いた非圧縮映像伝送（参考出展）」として、リモートプロダクションのための長距離・大容量映像伝送技術に関する展示をする。ブースでは、ホワイトボックス光パケットトランスポンダを用いた非圧縮映像伝送を実演。また、IPレイヤおよび物理レイヤの伝送状態を可視化する。

NTTエレクトロニクスは、自社開発ASICを搭載し、クロマ4:2:2 10bit HEVCマルチチャンネルと4K HDRに対応するリアルタイムエンコーダー「HC10000/HC11000シリーズ」を出展。放送クオリティーの高画質映像を低レート、低遅延、低電力で伝送する。同シリーズはオリンピックやワールドカップなど世界のメージャースポーツイベントで使用できる安定性を持ち、低遅延でプレミアムスポーツコンテンツに適した製品。HEVC技術により高品質を保ちながら使用帯域の削減と運用コスト削減を実現し、マルチチャンネルを使用することでチャンネル単価をさらに引き下げる。

このほか、NTTテクノクロスは、ARIB規格準拠の汎用性の高いファイルトランスコーダー「RealFeeil FileConvert4K」、NTTビズリンクは、4K映像配信ソリューションを展示デモする。

ATV

【ブースNo. 3301】

HDMI2.0 2ch 4K 1M/E AV MIXER「A-PRO-1」は、4K60p対応のミニマムAVミキサー。2入力2出力の最小構成。合成各種、静止画STILL、4K/HD間のアップ/ダウンコンバート、フレームレート変換、リモート制御、複数台連動、信号断による自動切り換えなどの機能を備えている。

HDMI2.0 4chマルチフォーマット・シームレススイッチャー「AV-4K-4X1」は、HDMI2.0、HDCP2.2/1.4対応。マルチフォーマット入力。ディゾルブ切り替え、4画面マルチビュー、PinP（ピクチャー・イン・ピクチャー）などの設定をプリセット記憶、RS-232、IR、LANによるリモート制御などの機能がある。

HDMI2.0 4ch SPLITTER with DOWN CONVERTER「AV-4K-1X4」は、最大解像度3840x2160/60p(UHD)8ビット 4:4:4、各種オーディオフォーマット対応、HDCP2.2/1.4対応、各出力にはダウンコンバーターを搭載し、UHD（4K）からFHDへの変換が各出力毎に独立して可能。

そのほか、HDMI2.0 to 12G-SDIコンバーター「AV-4K-HS」、12G-SDI to HDMI2.0コンバーター「AV-4K-SH」などを出展。

特集 Inter BEE 2019 出展概要 21
International Broadcast Equipment Exhibition

シームレスIP映像送出サーバー

MEDIAEDGE

【ブースNo. 8001】

4K/HD対応シームレスIP映像送出サーバー「MEDIAEDGE―APM/APM 4K」、多チャンネルループ映像収録システム「LoopREC」、IPベース動画視聴システム「EZTV」、企業・放送業界向け 映像管理/配信「CCMS」、インターネット映像配信 対応エンコーダー「MSelection SC6シリーズ」、マルチデバイス対応 映像配信サーバー「MMDS」を出展。またINTER BEE SPORTSの会場では、4倍速ハイスピードカメラ「QDCAM」を展示する。

同社初の製品ジャンルになるハイスピードカメラ「QDCAM」は、HD4倍速撮影ができ、通常速度では4K撮影が可能。スポーツ中継向けの業務用ボックスカメラとなる。性能は、フルHD240fpsの高速度撮影、グローバルシャッターの採用で、動きの激しい動作の再現に正確性を高めた。カメラ間の露出タイミングを同期する機能によって、多視点映像の演出でスムーズな映像表現を可能にする。マイクロフォーサーズレンズマウントを採用。


HD4倍速ハイスピードカメラ「QDCAM」

日本テックトラスト

【ブースNo. 1311】

RF機器に特化した高い技術を有するWISYCOM社から1.2GHz帯、B帯アナログワイヤレスシステムを展示。1.2GHz帯の中で最大約95波、B帯は最大15波で運用可能な高音質ワイヤレスシステム。どちらもデジタルワイヤレスと混同しての使用も可能なモデル。このほか、光ファイバーRF伝送システムを展示。

SOUNDDEVICES社からは、フィールドレコーディングに特化したポータブルミキサーレコーダーの新製品「SCORPIO」「888」「833」を展示。3機種共に内蔵SSD（256GB）と2枚のリムーバブルSDカードへ最高192kHz・24ビットで録音できるレコーダーを搭載し、SCORPIOと888はDANTEオーディオネットワークに対応している。

SCHOEPSの新製品として、10月発売のマイクプリアンプ「CMC 1U」を披露。ほかにスポーツ、プロ野球中継番組などで使われているSCHOEPSのパラボラディッシュ・マイクシステムを展示する。

衛星捕捉可能な小型アンテナ

エーティ コミュニケーションズ

【ブースNo. 3504】

エーティ コミュニケーションズ（ATC）は、映像音声データの緊急中継にも威力を発揮する、業界最小クラス小型衛星アンテナ「Satcube（サットキューブ）」やハイエースベースのSNG中継車、機動性の高い軽量の可搬型衛星アンテナ「QCT90」、「CCT120」などの出展のほか、新たな取り扱いとして、Sat-Lite Technologies（サットライトテクノロジーズ）社の1m可搬型衛星アンテナ、OBE社のソフトウエアH.264エンコーダーを出展する。


Satcubeはオプションを充実

Satcubeは、ラップトップPC型で重量8kgを実現した衛星捕捉機能を搭載した小型アンテナ。今回、オプションを充実させ、Satcube専用に作成したATCオリジナルのバックパックや、アイ・ディー・エクスが開発したSatcube専用電源ユニットなども展示する。また、スカパーJSATを事業者とする2020年4月から開始のSatcube回線サービスも案内。

ハイエースベースのSNG中継車は、東北・関西・九州の業界展示会で展示してきており、Inter BEEには初公開となる。

ユニゾンシステムズ

【ブースNo. 8202/7201（共同出展）】

同社営放システムは、日本で唯一、多チャンネル一括編成に対応するという。自社開発により独自性に対応、スピーディーで快適な操作性、情報を有効活用する連携性を特徴としており、少人数で効率的な運用が実現できる。

「STORM」は、国内で独自に開発された高速ファイル転送システム。昨年に続き、Inter BEE出展を記念した期間限定の特別キャンペーンを実施する。高速ファイル交換システム「STORM-Exchange」は、拠点同士の素材交換（動画・画像）・ファイル交換を目的としたウェブアプリケーション。素材を必要な場所に配信できる。「STORM」を組み込むことで、強固なセキュリティーで高速・確実なファイル配信を実現する。

キャプションサービスは、AIによる文字起こし結果を人の手で修正するプラットフォーム。AIによる一次文字起こしでコスト削減とリードタイムの大幅短縮をする。翻訳ベンダーと接続することで、迅速な外国語字幕を付けることができる。

Harmonic Japan

【ブースNo. 3407】

ソフトウエア版Spectrum X送出メディア・サーバーとVOS360 SaaSを展示。会場では、OTTとブロードキャストのハイブリッド・ワークフロー向けの実際の導入事例として、SDI/IP、UHD-HDRプレイアウト、オンプレミスやクラウドでのチャンネル・オリジネーションについて説明する。一連のSMPTE ST2110規格に準拠することで、ビデオコンテンツやビデオサービス・プロバイダーの完全IP化に向けた円滑な移行を実現するという。

VOS360 SaaSのデモンストレーションでは、OTTとブロードキャストの配信ワークフローの統合によって、事業者がビデオストリーミングサービスを迅速に導入し、機動力を高め、ビデオ配信を合理化できることを証明する。

8Kストリーミング・ソリューションと併せて、より良い視聴体験と最大50%の帯域幅削減を可能にするEyeQコンテンツ認識型エンコーディング（CAE）も展示する。

複数のモニターを一元管理可能

サードウェーブ

【ブースNo. 8211】

サードウェーブは「マルチスクリーン」をテーマに据え、ディスプレー変換機や延長器など、多種多様なAV周辺機器を開発・製造している台湾メーカー、サイプレステクノロジー社とのコラボレーションによる、「AV over IP」と「eスポーツ」ソリューションを展示する。

サイプレステクノロジー社の「HDMI・VGAマルチキャスト対応 AV over IP 延長器」は、CH-U331TX（送信機）、CH-U331RX（受信機）、CDPS-CS7（コントロールユニット）の3点で構成されている。4K（4K@60Hz YUV4:2:0）のマルチキャスト、1対1、1対n 配信に対応しており、アップスケーリング機能、ビデオウォール機能等を完備。特にCDPS-CS7は複数のモニターを一元管理可能で、マルチ画面に単一コンテンツを大画面表示するなど、映像コンテンツの簡単切り替えを実現。

「インターネットライブ配信機器」は、映像配信機器・CUSB-V604H、および映像配信・録画機CDPS-P311Rを展示。低価格ながらも4K/60p出力をHD高画質でインターネット配信可能な製品。ブースではサードウェーブが積極的に取り組む「eスポーツ」ソリューションが体感できる。


映像配信機器 兼レコーダーCDPS-P311R

Jストリーム

【ブースNo. 7109】

来春正式リリース予定の新サービスである編成配信基盤サービス「EQ Media Suite Simulcast Cloud（仮称）」を発表、デモを実施する。

「EQ Media Suite Simulcast Cloud（仮称）」は、放送番組の放送同時配信、ネット専用チャンネルの立ち上げ、災害時配信プラットフォームとしての活用といった利用用途による放送局の24時間365日ライブ配信の番組編成をシステムサポートするために、放送同時配信実現に必要な機能をパッケージ化したサービス。

主な特徴は、①ライブ映像・動画ファイル再生を組み合わせたフレームレベル制御の番組編成ライブ配信を実現、②放送映像をアーカイブして見逃し配信に利用可能、③CM時や緊急時の蓋かぶせ処理、サーバーサイド動画広告挿入（SSAI）については外部サービスおよび外部機器と連携済み――となっている。

AD/DAインタフェースの新製品

ディーエスピージャパン

【ブースNo. 2407】

ディーエスピージャパンが取り扱うMERGING Technologies社の新製品は、インストールするソフトウエアにより機能が変化するRAVENNA/AES67搭載のコンパクトなAD/DAインタフェース「ANUBIS（アニュビス）」。モニターセクションのコントローラーとして動作する第1弾ソフトウエア「ANUBIS+MONITOR」を搭載して初披露する。

そのほか、Ambisonicワークフローに対応したDAW「Pyramix 12」、メディアシーケンサー「Ovation 8」、新モデル3way「A23-M」が登場した、信号に忠実なアクティブ・モニター「PSIスピーカー」、リスニングルームの定在波を吸収する新発想のアクティブ・デフューザー「AVAA」、多チャンネルの入出力を装備した音響補正プロセッサーTrinnov「MCシリーズ」、外部コントロールに対応するモニタープロセッサーTrinnov「D-MONシリーズ」など、プロ・オーディオ関連の最新製品をそろえる。

ビーテック

【ブースNo. 1208】

Turbosoundから、デュアル12インチ・3Wayラインアレイスピーカーシステム「Manchesterシリーズ」、LAB.GRUPPENからコマーシャルオーディオ向けパワーアンプ「CAシリーズ」、LaON Technologyからは、5GHzデジタルワイヤレスインターカムと有線インターカムを統合した最新システム「GENIEシリーズ」のほか、TANNOY、TC ELECTRONIC製品を出展する。

「Manchesterシリーズ」は、「X-Speaker SRスピーカー体験デモ」の会場で試聴できる。

特集 Inter BEE 2019 出展概要 22
International Broadcast Equipment Exhibition

次世代のオーディオシステム

Solid State Logic Japan

【ブースNo. 1306】

Next Generation IP Native Production Console「System T」は、次世代のオーディオプロダクションシステム。ラージスケールコンソールで世界初のNative Ao IPオーディオコンソールで、Immersive Audioにも対応している。IPネットワークベースのため、システム構築の自由度が非常に高く、またシグナルプロセッシングも800のPathを用意している。

Baseband AudioのI/Oユニット「Dante」によるオーディオネットワークは、ローコストで自在なスケーラビリティーと大きな拡張性を実現している。DanteのAoIPネットワークシステムはAES67、SMPTE・ST2110―30、ST2022―7といった音声信号伝送の規格と互換がある。Solid State Logicは放送機器メーカーのうちでDanteネットワークのルーティングを自社のコンソール、コントロールインタフェースから直接操作できる唯一のメーカーであるという。

このほか、SSL Live Console、アナログコンソールAWS 948 Delta、XL―Desk、SiX、Fusionなどを展示する。



System T

ATENジャパン

【ブースNo. 5304】

32入力32出力モジュール式マトリックスイッチャー「VM3250」は、ATENモジュール式マトリックスソリューションと組み合わせて、32台のビデオソース機器と32台のディスプレーを任意に接続可能。最大解像度4K60p、データ転送速度18Gbps。

USBハブ搭載4ポートUSB HDMIマルチビューKVMPスイッチ（4K対応）「CM1284」は、基地局監視で導入。コンソールを1つにまとめ、中央監視をフレキシブルにする。最大4つのビデオソースを1台のスクリーンで簡単に制御可能。多彩なディスプレーモードが選択できる。

StreamLIVE HDポータブルライブストリーミングAVミキサー（リアルタイム編集機能搭載）「UC9020」は、ストリーミングのワークフローを簡素化させる一体型デザインで、1080pビデオキャプチャー、ビデオスイッチャー、ストリーミング用ブロードキャスター、ビデオコンバーター、ビデオ分配器、オーディオミキサーの機能を1台で実現した。

このほか、4入力2出力プレゼンマトリックススイッチャー（4K60p対応）「VP1421」、4Kマルチキャスト対応IP―トランスミッターレシーバー「KE9950T/R」「KE8950T/R」、52ポートGbEマネージドスイッチ「ES0152/152P」などの新製品を出展する。

エレクトリ

【ブースNo. 1515（音響関連）】

ATC社のスタジオモニタースピーカーSCMシリーズの試聴コーナーをはじめ、 新たに取り扱いを開始したKRK SYSTEMS社の新製品パワードモニタースピーカー「ROKIT G4」、CrestAudio社の革新的なSR用デジタルミキシングプラットフォーム「tactus」、Radial Engineeringブランドの新製品オートスイッチャー「SW8-USB」を出展。そのほか定番のダイレクトボックス各種、 StudioTechnologies社のDanteインタフェース各種、 PRIMACOUSTICブランドの吸音パネル、SPL社の最新のマスタリング・プロセッサーなどを展示する。

映像関連は、ヒビノのブース【No.2115】内で披露する。INCITE（インサイト）シリーズはAMXのビデオスイッチャーに、BSS, dbx, Crownのオーディオ技術を搭載した小/中規模会議室向けのオールインワン プレゼンテーションスイッチャー。映像系の特徴として、上下左右のシフトやピクチャーインピクチャーなど多様なコンフィグレーションを可能にするスケーリング機能や、シームレスな切り替えでライブプレゼンテーションを効果的に演出するトランジションエフェクト機能を備えている。また、4K/60（4:4:4）及び、 HDCP2.2をサポートするとともに、それ以下のバージョンの映像入力にもフレキシブルにスケーリング対応する。

映像・音声監視ソリューション

K－WILL

【ブースNo. 5106】

映像・音声監視ソリューションの中核製品であるQuMaxシリーズに新たに加わった4K 12G―SDI映像・音声監視ボード「PROBE 12G」を展示する。2K対応 PROBE300シリーズと組み合わせることで、1台で2K/4K映像・音声監視を実現した。

さらに、4K 12G―SDI対応の特徴量抽出デバイス「FED」（Feature Extraction Device）を初公開。コンパクトな1RUハーフラックサイズのこの装置は、2K/4K映像/音声の特徴量やANCデータを取り出し、最大12Gbpsの情報量を1Mbpsまでエッセンス化し、IPネットワークで監視地点まで送出する（1筐体あたり2系統入力可）。

「VP4000」は、2160 59.94pフルサンプルの4K基準画像および評価画像の時間軸を自動補正することで画素同士を比較し、輝度差分値 Y_PSNR とともに、ITU―T J.144国際標準方式によるDSCQS（二重刺激連続品質尺度）をフレーム単位でリアルタイム計測する（エミー賞受賞）。さらに8K



PROBE 12G「QuMaxシリーズ」

画質評価およびHDR対応へと進化した。

「ProQ4000」は、PCワークステーション上で12G-SDI、3G Quad SDIもしくは4Kファイルに対して、ブロックノイズ、ラインノイズ、プチ音など一瞬のノイズをリアルタイムで正確にとらえることができる、2K/4K対応映像・音声検査装置。

KOBA 2020
第30回 韓国国際
放送音響照明
機器展示会

2020年5月13日~15日
韓国ソウルのコエックス

30th KOREA INTERNATIONAL BROADCAST
AUDIO & LIGHTING EQUIPMENT SHOW

ORGANIZERS
Korea E & Ex Inc.
Korea Broadcasting Engineers & Technicians Association

Contact . Korea E & Ex Inc.
T. +82 2 551 0102　E. koba@kobashow.com

Sponsor
Ministry of Science and ICT
Korea Communications Commission
Int'l Certified Exhibition
SEOUL

30th Anniversary 1991~2020 KOBA
www.kobashow.com

特集 Inter BEE 2019 出展概要 23
International Broadcast Equipment Exhibition

映像制作から配信までサポート

メモリーテック/ラディウス

【ブースNo. 4306】

メモリーテックはラディウスと共同で出展する。テーマは「4K映像+ハイレゾ・ロスレス音声のストリーミング配信システム」と「映像制作から配信までトータルで運用をサポートするサービス」。

4K映像+ハイレゾ・ロスレス音声のストリーミング配信システムは、メモリーテックがVOD対応のデジタルコンテンツECポータルサイトとセキュリティーを考慮した配信インフラを提供し、ラディウスの4K+ハイレゾ・ロスレス再生対応アプリ「NeSTREAM」で配信する。「NeSTREAM」はiOS、Android OS、Android TV OS、Windows、MacOSの５つの環境で動作可能な、業界初というマルチデバイス対応アプリ。今回の展示では4K+ハイレゾ・ロスレスの暗号化配信再生まで対応。5Gの時代を見据えた超高画質・高音質配信システムを披露する。

また、オンプレミスのオブジェクトストレージやクラウドサービス大手3社のストレージに対応したコンテンツ管理システム「カレイダアーク」で、デジタル資産の管理とアーカイブを実現。オンライン遠隔試写システム「カレイダレビュー」で、試写業務の働き方改革を支援する。AIを活用した文字起こしやメタ検出などの業務改善も提案する。



NeSTREAM for Android TV

ローランド

【ブースNo. 8412】

今年6月に発売した4K HDR マルチフォーマット・ビデオ・スイッチャー「V-600UHD」、そして9月に発売したマルチフォーマット AV ミキサー「VR-50HD MK2」を中心に多様化するイベント演出、またマーケットが拡大するライブ配信、リモート・プロダクションをテーマに展示する。

V-600UHDは、4K HDRを生かした高輝度LEDイベント・ソリューション、4Kリモート・プロダクション・ソリューションを提案。新ファームウエア（11月下旬公開予定）として、Still Capture、Output Freeze機能や4K/30pなど入出力フォーマット、EDIDエミュレーターを追加する。

VR-50HD MK2は、オールインワン・イベント映像/音響演出ソリューション。

HD ビデオ・スイッチャー「V-60HD」は、Ver.2.5追加機能、パナソニック製PTZカメラおよびキヤノン製ビデオカメラのコントロール、内蔵オーディオ・エフェクトのプリセット追加などが特徴。

ネットワークの一括監視実現

ルミネックス ジャパン

【ブースNo. 1404】

新製品Araneo（アラネオ）は、GigaCoreスイッチ用のネットワーク管理ソフトウエア。これまでベールに包まれていたイーサネットスイッチのネットワークを1つの画面上で可視化し、さまざまな情報を表示することでネットワークの一括監視を可能にする。

新製品LumiNode（ルミノード）は、IP-IP間コンバートが主流になるであろう将来を見越した未来志向の照明向けEthernet-DMXコンバーター。強化されたパワフルなCPUをベースに、DMXポートの数以上のプロセッシングエンジンを搭載し、DMX-IP間のみならず、IP-IP間の変換、各マージなど、多彩で数多くのタスクを同時並行で実行することが可能。

GigaCore（ギガコア）は、AVプロフェッショナル向けにデザインされたイーサネットスイッチ。ネットワークの作業は最小限にし、オーディオ・ビジュアルの作業により多くの時間を割くことができる。グラフィカルで直感的なユーザーインタフェースで簡単操作を実現した。

LumiSplit（ルミスプリット）は、ラック1Uのサイズで1台当たり最大320台の照明機材にDMXプロトコルを伝送する。加えて、遠隔操作・監視のRDMプロトコルの伝送にも対応。



新製品LumiNode(製品グループ)

デジタル・ラボラトリー

【ブースNo. 2107】

「ミュージック・ラテ サウンドボックス」は、放送局向けの音源サーバーシステム。サウンドボックスを利用することで、放送局の資産であるCD・レコードライブラリーを余すことなく、積極的に放送に利用できる。

今回の出展のポイントは「ML音源ダウンロード」「歌詞リンクの表示（予定）」の2点。ML音源は、デジタル・ラボラトリー（デジラボ）がレコード会社各社から順次許諾を受けた音源（2019年4月以降の新譜）のことで、デジラボのマスターサーバーに保管している。サウンドボックス利用放送局では、検索結果からこのML音源をWAVファイルでダウンロードし放送に利用できる。歌詞リンク表示は、楽曲の検索結果から各楽曲の歌詞を確認することができる機能。歌詞のリンク表示は、該当歌詞がある場合に表示する。

ニューエックス

【ブースNo. 8207】

取り扱いメーカーの製品を出展。

cinedeck社のスタンドアローンソフトウエア「cineXtools」は、NLEから最終工程で出力されたファイルに対して直接インサート編集を可能とする。ポストプロのリテイク作業において大きな省力化を図る。対応解像度は、SD～8K、コーデックは、ProRes/DNxHD/DNxHR/XDCAM HD/XAVC/AVC。

Atech Flash TechnologyのBLACKJET TX-4DSシネマメディアドックシステムThunderbolt3（40Gb/s）/4xPCieドライブスロット/スロットに対応するモジュールは、SSD/メディアカード（SxS）など、4枚のSxSメディアカードモジュールを装着して4枚同時並行にコピーが可能になる。コピーソフトウエアHedgeと組み合わせて展示する。

BR REMOTE社からは、CIS社の4KカメラとのCIS組み合わせでカメラリモートコントローラーRCP3を参考出品する。標準規格サイズで4台のカメラコントロール、複数のカメラメーカー対応、多重化制御データ対応などの特徴を備える。

多様な機能のマウントを展示

CHIEF／映像センター

【ブースNo. 7407】

ディスプレー・プロジェクター マウントメーカーの米国ブランド「CHIEF（チーフ）」から、「これまでに無いアイデアと機能」を盛り込んだ新製品を多数出展する。一般企業のオフィス・カンファレンスルーム、または学校のホール、レクチャールームなどで利用できる製品群から、店舗や商業空間、アミューズメント施設で活用提案できるデジタルサイネージ向けまで、幅広いラインアップをそろえる。

「VCTU」は、高輝度プロジェクターにも対応できる中型向け天吊マウント。新デザインの大きな調整ノブで、細かい位置調整も従来機製品に比べて簡単。プロジェクター本体色に合わせられるブラック・ホワイトの2通りを用意。

「LDS1U」は、タッチパネル付きの大型ディスプレーでの画面共有ミーティングなど、これまでスタンドに取り付けるしかなかった大型ディスプレーソリューションの活用スタイルを変えるデスクトップシリーズ。



LDS1U

「FCASCA」は、商業空間の柱など、円柱系の構造物に巻きつけて固定するタイプのサイネージマウント。従来製品であるCHIEF壁掛けマウントと組み合わせて縦・横・回転アダプターなど多彩なサイネージアレンジが可能。

エムアイシー・アソシエーツ

【ブースNo. 8102】

エムアイシー・アソシエーツは、Tiger Technology社の安全でかつグローバルにアクセス可能なストレージ管理システムである、Tiger Bridge最新バージョン3.5.3を発表する。

Tiger Bridgeは、Windows NTFSのローカルストレージをソースデバイスとし、クラウドストレージ（MS Azure、AWS、Wasabiなど）、NAS、DAS、LTFSテープドライブをターゲットストレージとしてローカルストレージと一体のストレージスペースにすることができるミドルウエア。

ローカルストレージと、ターゲットストレージ間は、Bridgeのポリシーエンジンにより、Tiering / Data Life-cycle管理の自動化を実現。Tiger Bridgeによりユーザーは、既存のローカルストレージのデータを適切な場所に適切なタイミングで保存ができ、NTFSの容量制限を超える大容量ストレージ空間を構成することが可能。

同社の、Windows、Mac、Linuxのマルチユーザー環境で4K・8K編集システムに対応したSAN/IP-SAN管理ミドルウエアのTiger Store、また、プロジェクトとアクセスユーザー管理やAvidビンロックに対応可能なTiger Spacesを展示する。

安定したカメラワークを提供

昭特製作所

【ブースNo. 5305】

バーチャル機器、ロボティクス、ヘッド、ペデスタル、クレーンシステムなど、各製品フルラインアップで展示する

新製品のENG/EFP用軽量三脚システム「SX200/SX260」は、無段階の完全バランスシステム「TRUE BALANCE」、無段階の粘性抵抗式ドラッグシステム「VISCAM」を備えた半径100㎜ボールサイズのENG/EFP雲台で、最大搭載質量が20kgのSX200と25kgのSX260の2種類のラインアップ。雲台部にはマグネシウム合金を用い、軽量で強靭なボディーを実現。カーボンファイバー製三脚と組み合わせることで、取材、報道やフィールドでの制作など屋内外のさまざまな現場で安定したカメラワークを提供する。



SX200

ロボティクスシリーズからは、自走式ロボットペデスタル「Smart Ped」をタッチスクリーンコントロールシステムTR-XTと組み合わせて展示。働き方改革「スタジオ無人化」を提案する。

Inter BEE 2019 同時開催イベント Ⅰ

Inter BEE Forum 2019

事前申込制

11月13日（水）

KN-131　基調講演1　同時通訳付　コンベンションホールA

10:00－12:00

Inter BEE 2019 Opening & Keynote

Opening Session
　主催あいさつ ： 一般社団法人電子情報技術産業協会
　来賓あいさつ ： 総務省、経済産業省
　来賓等の参加によるフォトセッション
Keynote Speech：Toward 2020
　●放送イノベーションを活用して最高の放送コンテンツを視聴者に提供　ゴードン・スミス 氏　全米放送事業者協会（NAB） 会長
　●他産業との融合によるスポーツの未来　鈴木 大地 氏　スポーツ庁長官
　●Beyond 2020放送技術の進化は止まらない　緒方 一貴 氏　日本放送協会 放送技術局 局長
　●Tokyo2020の映像制作（仮）」　ソチリス・サラモーリス 氏　オリンピック放送機構（OBS）最高技術責任者（CTO）

KN-132　INTER BEE FORUM 基調講演　コンベンションホールA

13:00－14:30

スポーツ中継のフィロソフィー ～TOKYO 2020に向けて

田中 晃 氏　株式会社WOWOW 代表取締役社長
今村 司 氏　株式会社読売巨人軍 代表取締役社長
岡部 智洋 氏　日本テレビ放送網株式会社 編成局長
望月 浩平 氏　日本テレビ放送網株式会社 スポーツ局 ディレクター
口垣内 徹 氏　株式会社WOWOW IPC & WOWOWパラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ 「WHO I AM」 エグゼクティブ・プロデューサー
マセソン 美季 氏　長野パラリンピック金メダリスト IPC & IOC 教育委員会委員

KN-133　INTER BEE FORUM 基調講演2　コンベンションホールA

15:30－17:00

デジタルテクノロジーでさらに輝くこれからのスポーツ

パネリスト
　廣瀬 俊朗 氏　元ラグビー日本代表主将 株式会社HiRAKU代表取締役俳優
　北谷 賢司 氏　米アンシューツ エンタテイメント グループ（AEG)アジア担当エグゼクティブ副社長兼日本代表
　ワシントン州立大学栄誉教授金沢工業大学教授
　日置 貴之 氏　スポーツブランディングジャパン株式会社 代表取締役社長 （公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会開会式・閉会式担当 エグゼクティブプロデューサーイージープロダクション株式会社 取締役
　三沢 英生 氏　株式会社ドーム 取締役常務執行役員CSO 東京大学アメリカンフットボール部 監督筑波大学客員教授
モデレーター
　佐野 徹 氏　日本テレビ放送網株式会社 スポーツ局スポーツ事業推進部（兼）社長室企画部 部次長、プロデューサー

11月14日（木）

KN-141　INTER BEE FORUM 基調講演3　コンベンションホールA

10:30－12:00

テレビにおける放送とネット連携の現状と今後の動向

座長　村井 純 氏　一般社団法人IPTVフォーラム 代表理事
基調講演：放送・通信連携による放送コンテンツ振興政策の最新動向　スピーカー　三島 由佳 氏　総務省 情報流通行政局 情報通信作品振興課 課長

特別企画：テレビにおける放送とネット連携の現状と今後の動向
モデレータ　村上 圭子 氏　日本放送協会 放送文化研究所 メディア研究部 研究主幹
海外の放送・通信連携サービス動向　武智 秀 氏　NHK　エンジニアリングシステム 先端開発研究部 上級研究員
一般社団法人IPTVフォーラムにおける技術標準化と会員社の取り組み　伊藤 正史 氏　一般社団法人IPTVフォーラム 広報普及委員会 主査
テレビにおける放送とネット連携の現状と今後の動向　村井 純 氏　一般社団法人IPTVフォーラム 代表理事

KN-142　INTER BEE IGNITION 基調講演　コンベンションホールA

13:00-14:30

映像の外側で、すべてがメディア化する時代のアクティビスト達

スピーカー
　中村 伊知哉 氏　慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科 教授
パネリスト
　中村 伊知哉 氏　慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科 教授
　塩谷 舞 氏　オピニオンメディアmilieu編集長
　齋藤 精一 氏　ライゾマティクス・アーキテクチャー主宰
ビデオコメンテーター
　福田 淳 氏　ブランドコンサルタント
　高木 美香 氏　経済産業省 商務情報政策局 コンテンツ産業課 課長
モデレータ
　西村 真里子 氏　株式会社Heart Catch 代表取締役

（11月1日時点）

多目的簡易ブース（アナウンス・編集・MA）
あなたのオフィスがスタジオに～
安価 簡単設置 短期で施工

●サイズはフレキシブル（設置場所に対応）
●解体・移設も可能
●遮音性能 Dr40

映像スタジオ施工
MA室 ブース 各種 編集室 注文制作家具
Takahashi Construction Co.,Ltd. SOUND PROOF
～映像・音響専門
SINCE 1979～
一級建築士事務所
高橋建設株式会社
本社 〒216－0032 神奈川県川崎市宮前区神木1－7－8
TEL044-853-0547 FAX044-852-1588
(社)日本ポストプロダクション協会会員／(社)日本音楽スタジオ協会会員
(社)日本音響学会会員
デジタル映像環境に対応、直営システムに依る徹底したコストダウン
映像・音響・防音 プランニング・施工
http://www.takahashi-kensetsu.co.jp
info@takahashi-kensetsu.co.jp

Sony PCL Inc.
SONY
www.sonypcl.jp
＊SONYおよびその他の名称は、ソニー株式会社の商標です。

Inter BEE 2019 同時開催イベント (11)

基調講演　会場：コンベンションホールA

11月14日（木）

KN-143　INTER BEE FORUM 基調講演4

15:30－17:30　5Gセッション2019

5Gのリアルと未来	油川 雄司 氏　株式会社 NTTドコモ　5Gイノベーション推進室 担当部長
5Gの可能性と展望、KDDIの取り組み(仮)	酒井 清一郎 氏　KDDI株式会社　技術統括本部 モバイル技術本部 次世代ネットワーク開発部
映像と5Gの可能性	船吉 秀人 氏　ソフトバンク株式会社　先端技術開発本部 先端事業企画部 部長
楽天が5Gでめざすもの	久保田 啓一 氏　楽天モバイル株式会社　ネットワーク本部技術戦略部インフラ開発担当部長

11月15日（金）

KN-151　INTER BEE FORUM 基調講演5

10:30－12:00　IP化する放送技術と導入事例

プレゼンテーション
　送信系のIP化とネットサービス配信システムとの連携　伊藤 正史 氏　株式会社フジテレビジョン　技術局 技術開発部 副部長

事例報告

テレ東音楽祭2019におけるIPリモートプロダクションの取り組み	大崎 雅典 氏　株式会社テレビ東京　技術局 技術推進部
ひかりTVのIP技術とそのオペレーション	工藤 紀之 氏　NTTぷらら　技術本部ネットワーク管理部プラットフォーム担当 担当部長
AbemaTVの成長とIPプロダクション	近藤 信輝 氏　株式会社AbemaTV　技術局
IP回線ルーターシステムの採用と今後の展望	菊谷 康行 氏　北海道文化放送　技術局長
「Video over IP」を導入した中継車の製作・運用	川崎 淳 氏　株式会社共同テレビジョン　技術センター 制作技術部

モデレータ
　吉井 勇 氏　株式会社ニューメディア　出版局長

KN-152　INTER BEE FORUM 基調講演

13:00－14:30　日本のクリエイターよ。越境せよ！

世界に誇る日本の技術力・精神力。今の日本の映像業界に何が必要か？Powerd by Digicon6 Asia
　行定 勲 氏　映画監督
　結城 崇史 氏　INTER BEE CREATIVE フォーラム・ディレクター

（11月1日時点）

特別講演　会場：国際会議室

11月13日（水）

SP-131　INTER BEE FORUM 特別講演1

10:30－12:00　待ったなしのラジオ経営 ～音声メディア市場から考える～経営、営業、編成、制作、技術すべてに問う

パネリスト
　奥 律哉 氏　株式会社電通　電通総研 フェロー電通メディアイノベーションラボ 統括責任者
　小出 誠 氏　公益社団法人日本アドバイザーズ協会 常務理事 電波委員長　資生堂ジャパン株式会社 メディア統括部 エグゼクティブマネージャー
　青木 貴博 氏　株式会社radiko　代表取締役社長
　大木 秀幸 氏　株式会社博報堂DYメディアパートナーズ　ラジオ局 局長
　荒川 徹 氏　株式会社グライダーアソシエイツ 取締役副社長
モデレータ
　音 好宏 氏　上智大学　文学部 新聞学科 教授
総合進行
　吉井 勇 氏　株式会社ニューメディア　出版局長

SP-132　INTER BEE FORUM 特別講演2　同時通訳付

13:00－14:30　アドバンスト イメージング ユニバーシティ 2019

VRにおける人間工学PoC最新事例	河合 隆史 氏　先進映像協会　日本部会・会長
エンタテインメント テクノロジー 2020：ハリウッドの次世代への展望	ジム・チャビン 氏　先進映像協会　プレジデント＆CEO
ホログラフィックディスプレイとライトフィールドラボ	ジョン・カラフィン 氏　ライトフィールド ラボ　CEO ＆ ファウンダー

SP-133　INTER BEE FORUM 特別講演3　同時通訳付

15:00－16:00　放送業界におけるMicrosoft AzureとAIの活用実例

畠山 大有 氏　日本マイクロソフト株式会社　データ＆クラウドAIアーキテクト技術本部 シニアクラウドソリューションアーキテクト

11月14日（木）

SP-134　INTER BEE FORUM 特別講演4　同時通訳付

16:20－17:20　グローバルメディアビジネスと変化のテクノロジードライバー

グローバルメディアビジネスと変化のテクノロジードライバー　ロレンツォ・ザンニ 氏　IABM　Head of Insight ＆ Analysis

SP-141　INTER BEE FORUM 特別講演5　同時通訳付

10:30－12:00　スポーツ映像制作の最新技術

ケン・ケルシュバウマー 氏	Sports Video Group　編集長
ソチリス・サラモーリス 氏	オリンピック放送機構（OBS）　最高技術責任者（CTO）
齋哲也 氏	NHK放送技術局　報道技術センター中継部TP 副部長
伊達 厚 氏	キヤノン（株）　イメージソリューション事業本部 SV事業推進センター 上席

SP-142　INTER BEE FORUM 特別講演6　同時通訳付

13:00－15:00　メディア業界におけるクラウド活用最新事例2019

クラウドが可能にするメディア業界のイノベーション	イシット・ヴァシュラジャーニ 氏　アマゾンウェブサービス　エンタープライズストラテジスト
フジテレビのCloud Strategy～Now＆Future～	金森 健彦 氏　株式会社フジテレビジョン　技術局 計画部 デスク担当部長
サーバレスアーキテクチャによる有料ライブ配信サービスの構築	三浦 一樹 氏　北海道テレビ放送株式会社（HTB）　コンテンツビジネス局 ネットデジタル事業部
U-NEXTのマルチCDN戦略におけるCloudFrontの活用事例と、自社開発ファイル転送システム「Snowpump」のご紹介	柿元 崇利 氏　株式会社U-NEXT　事業企画 担当部長
AlexaによるTV視聴の未来	北迫 清訓 氏　アマゾンジャパン合同会社　アレクサビジネス統括本部　技術本部 本部長/プリンシパルソリューションアーキテクト
クラウドメディアワークロード最新事例	金目 健二 氏　アマゾンウェブサービスジャパン株式会社　ソリューションアーキテクト

SP-143　INTER BEE FORUM 特別講演7

15:30－17:00　人間中心のAI社会の原則と放送メディアの役割（仮）

対談者
　児野昭彦 氏　日本放送協会　専務理事 技師長
モデレータ
　須藤 修 氏　東京大学　大学院情報学環 教授
パネリスト
　木俵 豊 氏　国立研究開発法人 情報通信研究機構　ユニバーサルコミュニケーション研究所長
　川上皓平 氏　日本テレビ放送網株式会社　技術統括局デジタルコンテンツ制作部 兼 技術戦略統括部
　望月 貴裕 氏　NHK放送技術研究所　スマートプロダクション研究部 上級研究員
　山口 誠二 氏　特定非営利活動法人 エフエム和歌山　クロスメディア局長
総合進行
　吉井 勇 氏　株式会社ニューメディア　出版局長

（10月16日時点）

Inter BEE 2019 同時開催イベント

特別講演　会場：国際会議室

11月15日（金）	SP-152　INTER BEE FORUM 特別講演9		同時通訳付
	13:00－14:30	最先端をいくIP Production Infrastructures	
		スイス／チューリッヒ tpc 社の全面IP 化したSports & Technology Center について アンドレアス・ラットマン 氏　ティーピーシー　チーフ・テクノロジー・オフィサー ドイツ／ミュンヘン PlazaMedia の全面IP 化された設備概要 サイモン・ローズ 氏　ラボ社　アジア大洋州担当営業部長 モデレータ 阿部 健彦 氏　株式会社テレビ朝日　技術局 設備センター コンテンツ制作システムグループ シニアマネージャー	
	SP-153　INTER BEE FORUM 特別講演10		
	15:00－17:00	CDNセッション2019	
		同時配信 & 2020に向けたセキュリティ対策とは 松野 憲彦 氏　アカマイ・テクノロジーズ合同会社　ソリューションエンジニア部 ソリューションエンジニア 動画配信との融合が進むCDN―Amazon CloudFront 中谷 喜久 氏　アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社　ソリューション技術部 ソリューションアーキテクト JOCDN これまでの歩みとこれからの歩み 福田一則 氏　JOCDN株式会社　取締役 ネット同時配信時代に求められるQoEとその対策について 浅野大介 氏　株式会社Ｊストリーム　配信事業統括本部 プロダクト推進部長	

テクニカルセッション

11月13日（水）	TC-131　INTER BEE FORUM テクニカルセッション		104会議室
	13:00－14:30	4K/HDRと2K/SDRの相互変換に関する規格と運用を徹底討論	
		パネリスト 小倉 敏之 氏　ソニーホームエンタテインメント＆サウンドプロダクツ株式会社　TV事業本部 技術戦略室 主幹技師 甲斐 創 氏　日本テレビ放送網(株)　技術統括局技術戦略統括部 担当副部長 今塚 誠 氏　株式会社キュー・テック　第１映像部カラーワークスグループ カラリスト 北村 宏一 氏　株式会社テレビ東京　IT推進局配信技術部 兼 技術局制作技術センター 主事 モデレータ 森 俊文 氏　株式会社JVCケンウッド・ビデオテック　取締役 CTO 総合進行 吉井 勇 氏　株式会社ニューメディア　出版局長	
	TC-132　INTER BEE FORUM テクニカルセッション		201会議室
	12:30－13:50	【DCEXPO2019オープニング企画】ASIAGRAPH2019 創賞・匠賞授賞式・トークセッション	
		創賞受賞 千住 明 氏　作曲家　匠賞受賞 中野 信子 氏　東日本国際大学教授　脳科学者 / 医学博士 / 認知科学者 /ASIAGRAPH代表 河口 洋一郎 氏　東京大学名誉教授/アーティスト	
	TC-133　INTER BEE FORUM テクニカルセッション　同時通訳付		201会議室
	14:05－15:25	【DCEXPO2019】SIGGRAPH招聘特別セミナー：人に寄り添うCG/VFXによる映像表現	
		Diana Arellano 氏　ACM SIGGRAPH　External Relations Committee ChairPipeline Team Leader,Mackevision,Part of Accenture Interactive 松永 孝治 氏　日本放送協会　放送技術局制作技術センター番組制作技術部CG/VFXスーパーバイザー 為ヶ谷 秀一 氏　メディア・テクノロジー・コンサルタント	
	TC-134　INTER BEE FORUM テクニカルセッション		201会議室
	15:40－17:00	【DCEXPO2019基調講演】神経美学と対話するデジタルコンテンツの未来	
		メディアコミュニケーションにおける新たな枠組みと可能性を展望する 石津 智大 氏　ロンドン大学　ユニバーシティ校シニアリサーチフェロー 博士（心理学） 河合 隆史 氏　早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部　表現工学科・教授 博士（人間科学）	
11月14日（木）	TC-142　INTER BEE FORUM テクニカルセッション　逐次通訳付		201会議室
	13:00－14:45	最新の音声技術と次世代の音声制作	
		Danteの運用例と最新情報　石橋 健児 氏　株式会社ヤマハミュージックジャパン　PA営業部マーケティング課 主事 Moving to IP　ヘンリー・グッドマン 氏　カルレックオーディオ社　製品管理部 部長 ProtoolsでのImmersive Audio　前田 洋介 氏　株式会社メディアインテグレーション　ROCK ON PRO インテリジェントオーディオテクノロジーを使った、新しいワークフローと機械学習　ジョナサン・ワイナー 氏　アイゾトープ　エデュケーションディレクター モデレータ　阿部 健彦 氏　株式会社テレビ朝日　技術局 設備センター コンテンツ制作システムグループ シニアマネージャー	
	TC-143　INTER BEE FORUM テクニカルセッション		201会議室
	15:00－16:30	ライブサウンドエンジニアのためのオールリクエスト！～ベーシックから最新テクニックまで、知りたい疑問に答えます～	
		山寺 紀康 氏　oshowland 廣川 光一 氏　株式会社スターテック　サウンドエンジニア 武井 一雄 氏　有限会社パブリックアドレス　取締役社長 橋本 敏邦 氏　有限会社ティースペック　代表取締役 大川 展生 氏　フリーランス・サウンドエンジニア モデレータ 半澤 公一 氏　有限会社イノベーション　代表	
	TC-152　INTER BEE FORUM テクニカルセッション		201会議室
	12:30－14:30	魅せる4K8Kコンテツ制作・サービスの“いま”と進化へ期待	
		地方から世界へ！「４Ｋ８Kコンテンツで魅せるカンテレのモノづくり」 清水 慎恭 氏　関西テレビ放送株式会社　制作技術局 制作技術センター 主任 「表現空間を拡張する未来のメディア技術「ダイバースビジョン」」 三科 智之 氏　日本放送協会　放送技術研究所 空間表現メディア研究部 部長 「旧作映画の『４Ｋリマスター』制作～フィルム映像の“豊かさ”と“難しさ”～」 水戸 遼平 氏　株式会社IMAGICA Lab.　フィルム・アーカイブ事業本部 プロデュースグループ 「４Ｋ８Kメディアは美術セット・メイクをどう進化させたか？」 三好 正木 氏　日本放送協会　デザインセンター映像デザイン部 専任部長 モデレータ 國重 静司 氏　女子美術大学　非常勤講師	

（10月16日時点）

Inter BEE 2019 同時開催イベント Ⅳ

テクニカルセッション

11月15日（金）	TC-151　INTER BEE FORUM テクニカルセッション	201会議室
	10:30—12:00	緊急企画：災害とメディア2019?気候変動の時代に何をどう伝えるか パネリスト 早川 英治 氏　ＮＢＳ長野放送　編成局次長兼編成部長 村上 雅信 氏　株式会社福島中央テレビ　メディアデザイン部 部長 早坂 豪 氏　千葉テレビ放送株式会社　業務事業部 モデレーター 境 治 氏　メディアコンサルタント
	TC-153　INTER BEE FORUM テクニカルセッション	201会議室
	15:00－17:00	ディジタルメディアの進化と国際標準～伝送・蓄積のための圧縮から利活用へ～ 映像メディアの符号化・標準化・活用　浅井 光太郎 氏　三菱電機株式会社　通信システム事業本部 技術顧問 オーディオ情報圧縮の歴史とAR/VR対応　杉山 昭彦 氏　首都大学東京　システムデザイン学部客員教授 モデレータ 長谷 智弘 氏　龍谷大学　理工学部 教授 工学博士

コンファレンススポンサーセッション

11月13日（水）	CS1-132　INTER BEE FORUM コンファレンススポンサーセッション　逐次通訳付	103会議室
	12:30－14:30	超低遅延かつ安定した動画配信を今すぐ実現！世界大手の放送局とOTTサービスプロバイダーの事例から見る動画配信における課題とその克服方法 スティーブ・ミラー・ジョーンズ 氏　ライムライト・ネットワークス　VP, 製品戦略
	CS1-133　INTER BEE FORUM コンファレンススポンサーセッション	103会議室
	15:00－17:00	放送システムのIP化のための技術要素 ― マルチキャスト、同期、自動化、可視化、ネットワークデザイン詳説～ 兵頭 弘一 氏　アリスタネットワークスジャパン合同会社　技術本部 本部長 橋本 直也 氏　セイコーソリューションズ株式会社　ネットワークソリューション技術統括部 NS開発部 NS企画開発課担当課長
	CS2-133　INTER BEE FORUM コンファレンススポンサーセッション	104会議室
	15:00－17:00	AIと放送の未来 ～ AIを活用した様々放送事例とSpecteeが見据える未来の放送のカタチ 村上 建治郎 氏　株式会社Spectee（スペクティ）　代表取締役CEO
11月14日（木）	CS1-141　INTER BEE FORUM コンファレンススポンサーセッション	103会議室
	10:30－12:00	Haivision, Microsoft ,Avidによる放送プロダクションにおけるクラウドとSRT
	CS1-142　INTER BEE FORUM コンファレンススポンサーセッション	103会議室
	12:30－14:30	Web3Dでメディア表現をもっと豊かに -PlayCanvasで作る次世代Web表現-(仮) 宗形修司 氏　PlayCanvas運営事務局　エバンジェリスト 城戸雄大 氏　PlayCanvas運営事務局　エバンジェリスト 羽賀流登 氏　PlayCanvas運営事務局　エバンジェリスト
	CS1-143　INTER BEE FORUM コンファレンススポンサーセッション	103会議室
	15:00－16:30	SDI技術者のためのIP講座 坂本 圭弘 氏　リーダー電子 株式会社　技術開発部
11月15日（金）	CS1-151　INTER BEE FORUM コンファレンススポンサーセッション	103会議室
	10:00－12:00	自動字幕はどうあるべきか？ 森口 翔太 氏　ヤマハ株式会社　SoundUD推進コンソーシアム
	CS1-152　INTER BEE FORUM コンファレンススポンサーセッション　逐次通訳付	103会議室
	12:30－14:30	欧米の映像配信システムの最新情報とトレンド最前線ー リオからニューヨークまで アムステルダム発世界標準ストリーミング技術 ー 北沢 至 氏　株式会社オルカプロダクション　CEO Dirk Griffioen 氏　Unified Streaming社（オランダ）　CEO
	CS2-151　INTER BEE FORUM コンファレンススポンサーセッション	104会議室
	10:30—12:00	東映アニメーションが語る！システム管理者に贈る ストレージ今昔物語 ～徹夜なんてもうイヤだ！ 聖闘士星矢やプリキュアを支えるストレージ基盤 山下 浩輔 氏　東映アニメーション株式会社　製作本部 デジタル映像部 テクノロジー開発推進室 課長 兼 経営管理本部 情報システム部 課長 天野 献士 氏　Dell EMC　UDS事業本部 SE部 アドバイザリー システム エンジニア
	CS2-152　INTER BEE FORUM コンファレンススポンサーセッション	104会議室
	14:00－16:00	世界初のMQA音声を用いた映像コンテンツ配信デモ ボブ・スチュアート 氏　MQA LTD.　CTO(最高技術責任者)

（10月16日時点）

Inter BEE 2019 同時開催イベント

INTER BEE CONNECTED

事前申込制

11月13日（水）

KN-132　INTER BEE CONNECTED 基調講演

13:00－14:30　スポーツ中継のフィロソフィー ～TOKYO 2020に向けて

田中 晃 氏　株式会社WOWOW　代表取締役社長
今村 司 氏　株式会社読売巨人軍　代表取締役社長
岡部 智洋 氏　日本テレビ放送網株式会社　編成局長
望月 浩平 氏　日本テレビ放送網株式会社　スポーツ局 ディレクター
口垣内 徹 氏　株式会社WOWOW　IPC & WOWOWパラリンピック・ドキュメンタリーシリーズ 「WHO I AM」 エグゼクティブ・プロデューサー
マセソン 美季 氏　長野パラリンピック金メダリスト　IPC & IOC 教育委員会委員

CN-131　INTER BEE CONNECTED 企画セッション　展示ホール 7 CONNECTED内 オープンステージ

10:30－12:00　視聴データが想像するテレビ広告の10年後

モデレーター
内山 隆 氏　青山学院大学　総合文化政策学部 教授
パネリスト
三上 進一郎 氏　株式会社YourCast　代表取締役社長
半田 英智 氏　ヤフー株式会社　社長室 室長
松瀬 俊一郎 氏　株式会社テレビ朝日　インターネット・オブ・テレビジョンセンター ビッグデータ担当部長

CN-133　INTER BEE CONNECTED 企画セッション　展示ホール 7 CONNECTED内 オープンステージ

15:00－16:00　若年層のカジュアル動画視聴 ~その実態から探る今後の動画サービスへのヒント~

モデレーター
奥 律哉 氏　株式会社電通　電通総研 フェロー電通メディアイノベーションラボ 統括責任者
パネリスト
美和 晃 氏　株式会社電通　電通メディアイノベーションラボ メディアイノベーション研究部長
森下 真理子 氏　株式会社電通　電通メディアイノベーションラボ メディアイノベーション研究部主任研究員

CN-134　INTER BEE CONNECTED 企画セッション　展示ホール 7 CONNECTED内 オープンステージ

16:20－17:30　データで解明する！スポーツ番組の視聴の"質＆価値"の最新動向!?

モデレーター
深田 航志 氏　株式会社インテージ　コミュニケーション事業本部テレビデータ戦略担当マネージャー
パネリスト
池田 哲也 氏　日本コカ・コーラ株式会社　マーケティング本部 IMC コネクションプランニング&メディア グループマネージャー
郡谷 康士 氏　TVISION INSIGHTS株式会社　代表取締役社長
山田 護 氏　株式会社インテージ　コミュニケーション事業本部 メディアデータ部 部長

11月14日（木）

CN-141　INTER BEE CONNECTED 企画セッション　展示ホール 7 CONNECTED内 オープンステージ

10:30－12:00　消費行動の変化に広告主はどう対応し、テレビ業界は何をすべきか？

モデレーター
安藤 聖泰 氏　株式会社LivePark　代表取締役社長
パネリスト
生井 秀一 氏花王株式会社　先端技術戦略室
盧 誠錫 氏　楽天株式会社 グローバルアドディビジョン 市場ソリューション推進部 ゼネラルマネージャー　楽天データマーケティング 執行役員
下川 猛 氏　株式会社フジテレビジョン　総合事業局イベント事業センターライツ事業戦略部プロデューサー兼コンテンツ事業センターコンテンツ事業室

CN-142　INTER BEE CONNECTED 企画セッション　展示ホール 7 CONNECTED内 オープンステージ

13:00—14:00　GYAOとAbemaTVに聞く映像メディアの次のステップ

モデレーター
松浦シゲキ 氏　スマートニュース株式会社　ディレクター
パネリスト
小池 政秀 氏　株式会社サイバーエージェント　常務取締役
田中 祐介 氏　ヤフー株式会社 執行役員 メディアカンパニー 映像サービス統括本部長　株式会社 GYAO 代表取締役社長

CN-143　INTER BEE CONNECTED 企画セッション　展示ホール 7 CONNECTED内 オープンステージ

14:30－15:30　キー局攻めのメディア戦略

モデレーター
塚本 幹夫 氏　株式会社ワイズ・メディア 取締役　メディアストラテジストフラー株式会社 常務取締役　株式会社ワイズ・メディア 取締役 氏
パネリスト
樋口 薫子 氏　株式会社フジテレビジョン　総合メディア推進本部 局長
植木 崇文 氏　株式会社電通　ラジオテレビビジネスプロデュース局動画ビジネス推進部 GM
黒崎 太郎 氏　日本テレビ放送網株式会社　営業局長

CN-144　INTER BEE CONNECTED 企画セッション　展示ホール 7 CONNECTED内 オープンステージ

15:50－17:00　ネットが盛り上がれば何かが起こる？番組制作とSNS活用

モデレーター
境 治 氏　メディアコンサルタント
パネリスト
高 明希 氏　日本テレビ放送網株式会社　情報・制作局 ドラマプロデューサー
川鍋 昌彦 氏　株式会社TBSテレビ　編成局宣伝部 宣伝プロデューサー
勝目 卓 氏　日本放送協会　制作局 第３制作ユニット ライフ

CN-145　INTER BEE CONNECTED 企画セッション　展示ホール 7 CONNECTED内 オープンステージ

17:30－19:30　After Hours！～テレビは本当に生き残れるか！？テレビはどうなる？テレビをどうする？～

モデレーター
三枝 孝臣 氏　C Channel株式会社　取締役
パネリスト
蜷川 新治郎 氏　株式会社テレビ東京ホールディングス　技術IT統括局次長
神原 一光 氏　日本放送協会　2020東京オリンピック・パラリンピック実施本部 副部長
岸 遼 氏　株式会社LivePark　チーフクリエイティブディレクター／プランナー
高瀬 敦也 氏　株式会社ジェネレートワン　代表取締役
会場コーディネート
倉又 俊夫 氏　株式会社NHKグローバルメディアサービス　デジタルセンター チーフ・プロデューサー

（10月16日時点）

映像入札王のご案内

映像新聞社では、株式会社ズノーと業務提携し、同社の展開する入札情報提供サービスと連携した「映像入札王」を提供いたします。

全国の入札情報を毎日メールでお届け！
膨大な数の入札･落札公告から効率的な情報入手!!

入札王
入札情報提供サービス

映像入札王とは？

中央省庁、独立行政法人、地方自治体等の入札情報を提供するサービスです。
映像制作・関連機器、ホームページ制作、広告制作、情報処理、調査等あらゆる分野の最新の入札情報を毎日ご提供します。

その特長は

1 業界最大級の網羅性

全国の発注機関（6,600 機関 10,000 サイト以上）を網羅。
専門スタッフの手動収集とプログラム収集の併用で収集漏れを回避。

2 案件見逃しの防止

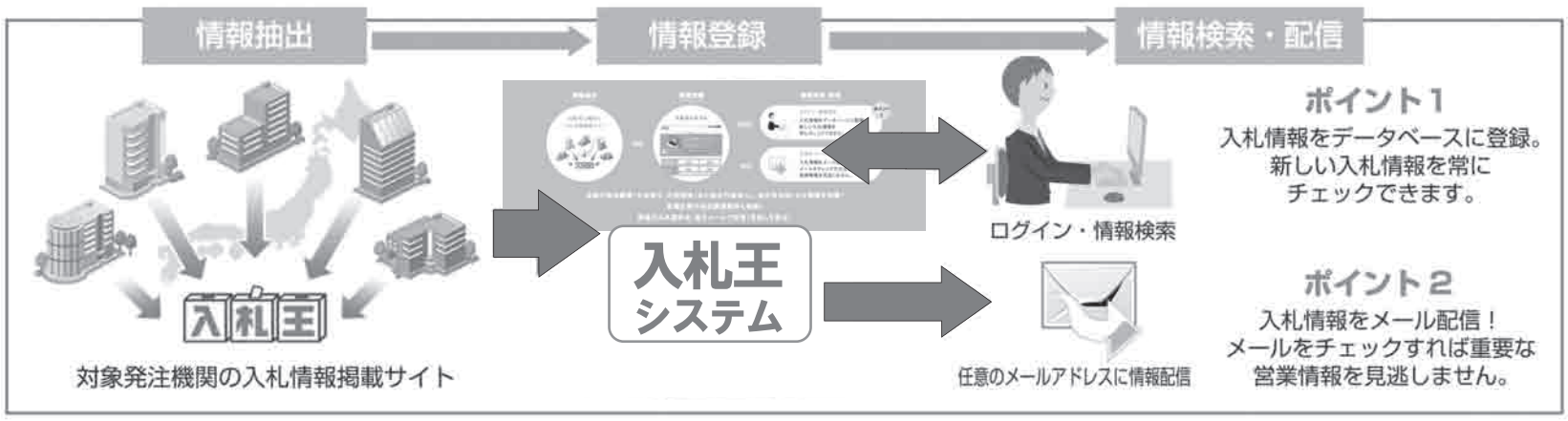
キーワードに左右されないカテゴリー検索、公告の中身まで検索する全文検索、最新案件をお届けするメール配信サービス。

3 充実のサポート体制

検索の設定代行、電話・メールによるアフターフォロー、訪問デモによる操作説明、入札参加資格の申請代行（パートナー紹介）など、入札王には万全のサポート体制が整っています。

4 リーズナブルな選べる料金プラン

入札王の料金プランは地域選択制で、お客様が自由に都道府県を選ぶことができます。「東京」「大阪」「福岡」といった飛び石での指定も OK ですので、無駄な経費が抑えられます。



10 日間 お試し
無料トライアル実施中

トライアル期間で入札王の
効果を実感してください

http://www.eizoshimbun.com

上記 URL からのエントリーで割り引き適用となります

●『映像新聞』購読の方は、下記料金から 5%引きとなります●

料金表

入札王の料金表（税別）は次のとおりです。

発注地域の選択数	契約期間6ヶ月	1ヶ月あたり料金	契約期間12ヶ月	1ヶ月あたり料金
3都道府県	¥55,000	¥9,167	¥95,000	¥7,917
4都道府県	¥71,000	¥11,834	¥125,000	¥10,417
5都道府県	¥88,000	¥14,667	¥155,000	¥12,917
6都道府県	¥105,000	¥17,500	¥185,000	¥15,417
7都道府県	¥121,000	¥20,167	¥215,000	¥17,917
8都道府県	¥138,000	¥23,000	¥245,000	¥20,417
9都道府県	¥155,000	¥25,833	¥275,000	¥22,917
10都道府県	¥163,500	¥27,250	¥290,500	¥24,208
20都道府県	¥243,000	¥40,500	¥434,000	¥36,167
30都道府県	¥272,000	¥45,333	¥473,000	¥39,417
40都道府県	¥291,250	¥48,542	¥502,500	¥41,875
47都道府県	¥300,000	¥50,000	¥520,000	¥43,333

※15 都道府県、27 都道府県等もございますのでお問い合わせください。　（税別）

●お問い合わせはこちらへ。
株式会社ズノー 入札王事務局　〒106-0044 東京都港区東麻布 1 丁目 5-2 ザイマックス東麻布ビル 2F　TEL：(03) 6441-0332 ／ FAX：(03) 6441-0336

Inter BEE 2019 同時開催イベント VI

11月15日（金）	CN-151　INTER BEE CONNECTED 企画セッション		展示ホール 7 CONNECTED内 オープンステージ
	10:30－11:30	5Gが放送ビジネスに与えるインパクト	
		モデレーター 齊藤 浩史 氏　株式会社毎日放送　経営戦略室 メディア戦略部長 パネリスト 岩浪 剛太 氏　株式会社インフォシティ 代表取締役　5Gモバイル推進フォーラム アプリケーション委員会委員長 竹田 茂 氏　スタイル株式会社 代表取締役　WirelessWire News 発行人	
	CN-152　INTER BEE CONNECTED 企画セッション		展示ホール 7 CONNECTED内 オープンステージ
	12:30－13:30	ローカル局の放送外ビジネス2.0 ～放送×ネット×地域のトライアングル～	
		モデレーター 村上 圭子 氏　日本放送協会　放送文化研究所 メディア研究部 研究主幹 パネリスト 伴 俊満 氏　株式会社ビープラスト（サガテレビグループ会社）　コンテンツメディアグループ 二宮 以紀 氏　南海放送株式会社　技術局技術戦略部 部長 兼 メディア統括局メディア広報部 北折 政樹 氏　中京テレビ放送株式会社　ビジネス推進局 インターネット事業部	
	CN-153　INTER BEE CONNECTED 企画セッション		展示ホール 7 CONNECTED内 オープンステージ
	14:00－15:00	放送コンテンツの海外展開 次の一手は配信か？	
		モデレーター 岩田 淳 氏　株式会社テレビ朝日　経営戦略局 経営戦略部 渉外担当部長 兼 インターネット・オブ・テレビジョンセンター パネリスト 大場 吾郎 氏　佛教大学　社会学部教授 薄井 裕介 氏　株式会社東京放送ホールディングス　上級専門職 局次長待遇 メディア企 画室 兼 総合マーケティングラボ ビジネス戦略部	
	CN-154　INTER BEE CONNECTED 企画セッション		展示ホール 7 CONNECTED内 オープンステージ
	15:30－17:00	INTER BEE CONNECTED Wrap Upトークセッション～これまでの5年これからの5年～	
		Inter BEE CONNECTED アドバイザリーボードメンバー　モデレーター 塚本 幹夫 氏　株式会社ワイズ・メディア 取締役　メディアストラテジストフラー株式会社 常務監査役 パネリスト 安藤 聖泰 氏　株式会社LivePark　代表取締役社長 岩田 淳 氏　株式会社テレビ朝日　経営戦略局 経営戦略部 渉外担当部長 兼 インターネット・オブ・テレビジョンセンター 齊藤 浩史 氏　株式会社毎日放送　経営戦略室 メディア戦略部長 境 治 氏　メディアコンサルタント 布瀬川 平 氏　株式会社電通　ラジオテレビビジネスプロデュース局次世代テレビビジネス統轄部長 村上 圭子 氏　日本放送協会　放送文化研究所 メディア研究部 研究主幹	
11月13日（水）	INTER BEE IGNITION		事前申込制
	IG-131　INTER BEE IGNITION 企画セッション		展示ホール 6 IGNITION内 オープンステージ
	10:30－12:00	先進映像協会ルミエール・ジャパン・アワード2019表彰式	
	IG-132　INTER BEE IGNITION 企画セッション		展示ホール 6 IGNITION内 オープンステージ
	13:00－14:30	教育はデジタルで変われるのか？変われないのか？	
		パネリスト 浅野 大介 氏　経済産業省　商務・サービスグループ サービス政策課長（併）教育産業室長 山脇 智志 氏　キャスタリア株式会社　代表取締役 橋本 智恵 氏　Project M’ INT モデレーター 杉浦 太一 氏　株式会社CINRA　代表取締役	
	IG-133　INTER BEE IGNITION 企画セッション		展示ホール 6 IGNITION内 オープンステージ
	15:30－17:00	クラブカルチャー最前線、東京のナイトライフは進化するか？	
		パネリスト 宇川 直宏 氏　DOMMUNE　代表 モデレーター 塚田 有那 氏　キュレーター、「Bound Baw」編集長	
	IG-134　INTER BEE IGNITION 企画セッション		展示ホール 6 IGNITION内 オープンステージ
	17:30－19:30	〔オープニング・パーティー〕Beer bash「Inter BEE IGNITION仕掛け人が語るメディア論」	
		スピーカー 西村 真里子 氏　株式会社Heart Catch　代表取締役 安藤 嘉康 氏　合同会社CCN　代表社員 江口 靖二 氏　合同会社江口靖二事務所　代表一般社団法人デジタルサイネージ コンソーシアム 常務理事 杉浦 太一 氏　株式会社CINRA　代表取締役 塚田 有那 氏　キュレーター、「Bound Baw」編集長	
11月14日（木）	KN-142　INTER BEE IGNITION 企画セッション		コンベンションホールA
	13:00－14:30	映像の外側で、すべてがメディア化する時代のアクティビスト達	
		スピーカー 中村 伊知哉 氏　慶應義塾大学　大学院メディアデザイン研究科 教授 パネルディスカッション パネリスト 中村 伊知哉 氏　慶應義塾大学　大学院メディアデザイン研究科 教授 モデレーター 西村 真里子 氏　株式会社Heart Catch　代表取締役	
	IG-141　INTER BEE IGNITION 企画セッション		展示ホール 6 IGNITION内 オープンステージ
	10:30—12:00	都市をメディア化する～case of 深セン&渋谷～　日中逐次通訳付き	
		クノロジーの社会実装で生活はどう変わるのか？ パネリスト 川ノ上 和文 氏　エクサイジング・ジャパン/翼彩跨境科創服務（深セン）有限公司/ Aeronext Shenzhen Ltd.,　CEO 邱 洪延 氏　深セン市青年聯合会　副秘書長 伊藤 秀俊 氏　東急不動産株式会社　都市事業ユニット 事業戦略部 まちづくり共創グループ モデレーター 安藤 嘉康 氏　合同会社CCN　代表社員	

（10月16日時点）

Inter BEE 2019同時開催イベント

11月14日（木）	IG-142　INTER BEE IGNITION 企画セッション	展示ホール 6 IGNITION内 オープンステージ
	13:00－14:30	テクノロジーが加速するライブエンターテインメント最前線 ～J-LOD採択事業にみる新潮流～
	IG-143　INTER BEE IGNITION 企画セッション　逐次通訳付	展示ホール 6 IGNITION内 オープンステージ
	15:00－16:00	【DCEXPO2019連携企画】日米最新VR研究紹介 パネリスト Danielle Belko 氏　SIGGRAPH 2020/Technical Program Manager, Facebook Reality Lab.　Emerging Technologies Chair モデレーター 廣瀬 通孝 氏　東京大学大学院 情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻 教授　東京大学バーチャルリアリティ教育研究センター 機構長
	IG-144　INTER BEE IGNITION 企画セッション	展示ホール 6 IGNITION内 オープンステージ
	16:15－17:15	【DCEXPO2019連携企画】東雲めぐトークショー パネリスト 東雲 めぐ 氏　高校生マルチクリエイター VTuber 三上 昌史 氏　Gugenka　事業統括 プロデューサー アニメXR専門家 有野 いく 氏　タレント・声優 12万人から選ばれたベストカラアゲニスト 北海道ザンギ応援大使
	IG-151　INTER BEE IGNITION 企画セッション	展示ホール 6 IGNITION内 オープンステージ
	10:30－12:00	モビリティエンタテインメント～これからの車内空間のあり方～ パネリスト 福井 毅 氏　AGC株式会社　事業開拓部 新ガラス商品展開G infoverre商品開発センター 益子 宗 氏　楽天株式会社 / 筑波大学　楽天技術研究所 未来店舗デザイン研究室 室長 / 芸術系 教授 鈴木 万治 氏　デンソー インターナショナル アメリカ　バイスプレジデント イノベーション モデレーター 江口 靖二 氏　合同会社江口靖二事務所　代表一般社団法人デジタルサイネージ コンソーシアム 常務理事
	IG-152　INTER BEE IGNITION 企画セッション	展示ホール 6 IGNITION内 オープンステージ
	13:00－14:30	映像の力で世の中を変える-エプソンの挑戦 蟹澤 啓明 氏　エプソン販売株式会社　販売推進本部VPMD部長
11月15日（金）	IG-153　INTER BEE IGNITION 企画セッション	展示ホール 6 IGNITION内 オープンステージ
	15:30－17:00	パッションテックが新たなメディア・コミュニティの可能性を拓く パネリスト 高宮 慎一 氏　グロービス・キャピタル・パートナーズ　代表パートナー 岡田 秀之 氏　株式会社リブルー　代表取締役 水谷 寿美 氏　vivit株式会社　代表取締役
INTER BEE CREATIVE		事前申込制
11月13日（水）	CR-132　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション	展示ホール 8 CREATIVE内 オープンステージ
	11:30—12:15	史上初NHK４K大河ドラマ「いだてん」の技術的挑戦—４K大河ドラマはこうして作られた 高口 英史 氏　日本放送協会　放送技術局制作技術センター 制作・開発推進部
	CR-134　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション	展示ホール 8 CREATIVE内 オープンステージ
	14:00—14:45	浮世の画家 ～８Kドラマの挑戦～ 内藤 愼介 氏　（株）ＮＨＫエンタープライズ　制作本部 ドラマ番組エグゼクティブ・プロデューサー
	CR-135　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション	展示ホール 8 CREATIVE内 オープンステージ
	15:00—15:45	史上初NHK４K大河ドラマ「いだてん」に見るVFX最新技術紹介 石原 渉 氏　日本放送協会　放送局技術局 制作技術センター（番組制作技術部）
	CR-136　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション　同時通訳付	展示ホール 8 CREATIVE内 オープンステージ
	16:00—16:45	Animal Logicの元IT部門トップが語る、近未来のシステムの姿 来るべき“データ ファースト”の時代に求められるものとは？ アレックス・ティムズ 氏　DELL EMC　UDS（Unstructured Data Solutions）事業本部 メディア＆エンターテインメント業界担当 事業開発マネージャ Animal Logic元IT部門長
11月14日（木）	CR-142　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション	展示ホール 8 CREATIVE内 オープンステージ
	11:30－12:15	アドビ ビデオ&オーディオ製品最新アップデート情報 田中 玲子 氏　アドビ　マーケティングマネージャー
	CR-143　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション	展示ホール 8 CREATIVE内 オープンステージ
	13:00?13:45	日本の映画界、突破口を探る?僕たち日本人クリエイターのもつ本当の底力を今こそ発掘しよう！ 武 正晴 氏　映画監督
	CR-144　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション	展示ホール 8 CREATIVE内 オープンステージ
	14:00－14:45	藤代雄一朗×林響太朗「ディレクターの視点から見た撮影、編集、カラーグレーディング」 パネリスト 藤代 雄一朗 氏　映像作家・撮影監督 林 響太朗 氏　映像作家・撮影監督 モデレータ 荒井 努 氏　玄光社　「コマーシャル・フォト」編集部

（10月23日時点）

Inter BEE 2019 同時開催イベント

VIII

11月15日（金）	CR-145　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション	展示ホール 8 CREATIVE内 オープンステージ
	15:00－15:45	8K/4K高画質標準評価用コンテンツ制作手法 今塚 誠 氏　株式会社キュー・テック　映像部 チーフテクニカルアドバイザー/シニアカラリスト 小池俊久 氏　株式会社キュー・テック　プロジェクト推進室 エクゼクティブプロデューサー
	R-146　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション　同時通訳付	展示ホール 8 CREATIVE内 オープンステージ
	16:00－16:45	ハリウッド・スーパーセッション ～ザ・メイキングオブライオンキング Part1～ Elliot Newman 氏　MPC Film　VFX Supervisor
11月15日（金）	KN-152　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション	コンベンションホールA
	13:00－14:30	日本の映像業界の未来に向けて 行定 勲 氏　映画監督
	CR-151　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション　同時通訳付	展示ホール 8 CREATIVE内 オープンステージ
	10:30－11:15	ハリウッド・スーパーセッション ～ザ・メイキングオブライオンキング Part2～ Elliot Newman 氏　MPC Film　VFX Supervisor
	CR-152　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション　同時通訳付	展示ホール 8 CREATIVE内 オープンステージ
	11:30－12:15	HDR制作環境構築における留意点 アンディ・クエステッド 氏　BBC, Chair ITU-R Working Part 6C, Chair EBU Production Strategic Programme,　Lead BBC Production Standards 清野晶宏 氏　IMAGICA Lab. Inc.　Senior Technical Director, Entertainment Business Division
	CR-153　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション	展示ホール 8 CREATIVE内 オープンステージ
	13:00－13:45	先端映像技術への挑戦 ＜第４弾＞ －４K放送開始からもうすぐ一年！４K番組制作現場から（HLG編）～ 中垣 宏規 氏　パナソニック映像株式会社　エディター 石黒 一哉 氏　パナソニック映像株式会社　カラーリスト 竹内 明弘 氏　パナソニック映像株式会社　技術顧問 山田 敏弘 氏　パナソニック映像株式会社　プロデューサー
	CR-154　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション	展示ホール 8 CREATIVE内 オープンステージ
	14:00－14:45	デジタルガーデンが提案する次世代の映像制作の形 「One-stop Work flow」と「High-Speed Creation」
	CR-155　INTER BEE CREATIVE クリエイティブセッション	展示ホール 8 CREATIVE内 オープンステージ
	15:00－15:45	山田智和「再生回数1億超えの映像作りの秘訣 山田 智和 氏　映像作家・映画監督 モデレータ 荒井 努 氏　玄光社　「コマーシャル・フォト」編集部

INTER BEE CREATIVE MEETUP　（様々なジャンルのクリエイターが集い、会い、ネットワークを拡げる場）

INTER BEE SPORT　事前申込制

11月13日（水）	KN-131　INTER BEE SPORT 基調講演 同時通訳付	コンベンションホールA
	10:00－12:00	Inter BEE 2019 Opening & Keynote ※詳しくは「INTER BEE 2019 同時開催イベントⅠ(p.47)」をご参照ください
	KN-132　INTER BEE SPORT 基調講演	コンベンションホールA
	13:00－14:30	スポーツ中継のフィロソフィー ～TOKYO 2020に向けて ※詳しくは「INTER BEE 2019 同時開催イベントⅠ」をご参照ください

INTER BEE IP PAVILION　事前申込制

11月15日（金）	KN-151　INTER BEE FORUM 基調講演5	
	10:30－12:00	IP化する放送技術と導入事例 ※詳しくは「INTER BEE 2019 同時開催イベントⅡ(p.48)」をご参照ください

INTER BEE EXPERIENCE　（スピーカー体験デモ、ヘッドフォン・マイクロフォン体験展示）

同時開催イベント　デジタルコンテンツEXPO 2019

全映協フォーラム2019　11月14日／幕張メッセ

第56回 民放技術報告会　国際会議場3階　聴講無料

（10月23日時点）


IN 2020
SUNDAY
IS THE NEW MONDAY
ANNOUNCING NEW EXHIBIT DAYS AND HOURS!
Sunday–Wednesday, April 19–22, 2020
NABSHOW
Where Content Comes to Life
NABShow.com/2020

映像新聞社 海外視察シリーズ

NAB Show

NAB Showツアー参加者募集中!

業界関係者必見!　今すぐ詳細募集パンフレットをご請求ください!

放送・映像制作の世界最新動向を視察

NABSHOW™ Where Content Comes to Life™

4K／8K・HDR・IP・クラウド・AI

ご希望の方には過去のツアーレポートをお送り致します。

NAB(National Association of Broadcasters)が主催する世界最大の放送機器展NAB Show(エヌエービー・ショー)は2020年4月18日(土)から4月22日(水)〈展示会は19日から〉米国ラスベガスで開催されます。映像新聞社とJTBでは、今回もNAB日本代表事務所の協力により、NAB Showを軸とした視察研修ツアーを企画致します。
NAB Showへは、すべての条件を満たした実績ある映像新聞社のツアーでご参加ください。

- ◆過去41回・延べ4,184名参加の実績
- ◆現地にて速報レポート配付
- ◆充実の企業視察訪問コース設定
- ◆オリジナルプランの設定も可能

本ツアー参加のメリット

1. NAB Show現地最新情報満載の日本語速報レポートを毎日配布
2. 話題の展示ブースを日本語同時通訳がご案内
3. NAB Show会場内の映像新聞ブースには日本語通訳が待機
4. 現地で映像新聞特別セミナー開催
5. 現地にて事前説明会の開催(NAB Showの見どころ紹介)
6. 映像新聞記者が同行（情報発信量が違います!）
7. NAB Show登録手続き代行
8. NAB Show会場から隣接のウエストゲート ラスベガスリゾート&カジノホテル(旧LVHラスベガスホテル)宿泊
9. 延泊・繰り上げ出発も可能（個人出張ベースにも対応!）

参加者だけの特別セミナー

NAB Showや米国の最新状況をご理解いただくために、ツアー参加者の方専用のセミナーをご用意しています。

他のツアーにはないNAB Show視察の決定版! 実績と情報発信量が違います!

映像新聞NAB Show 視察ツアー・目的に応じた厳選のコース設定

	Aコース〔8日間〕 米国次世代放送 関連企業訪問視察 （ラスベガス/ニューヨーク） 実施期間:4月18日(土)～4月25日(土) 最少催行人員:7名 基本旅行代金:498,000円	Bコース〔8日間〕 米国最先端映像制作 関連企業訪問視察 （ラスベガス/ロサンゼルス） 実施期間:4月18日(土)～4月25日(土) 最少催行人員:7名 基本旅行代金:482,000円	Cコース〔6日間〕 NABエキスプレス視察 （ラスベガス） 実施期間:4月18日(土)～4月23日(木) 最少催行人員:15名 基本旅行代金:379,000円	Dコース〔6日間〕 現地合流コース （ラスベガス）航空運賃は含まれません 実施期間:4月18日(土)～4月22日(水) 最少催行人員:5名 基本旅行代金:278,000円
4月18日(土)	東京(成田)発 ロサンゼルス経由ラスベガス着 NAB Show事前説明会〈ラスベガス泊〉 ①	東京(成田)発 ロサンゼルス経由ラスベガス着 NAB Show事前説明会〈ラスベガス泊〉 ①	東京(成田)発 ロサンゼルス経由ラスベガス着 NAB Show事前説明会〈ラスベガス泊〉 ①	ラスベガス合流 NAB Show事前説明会〈ラスベガス泊〉 ①
4月19日(日)	ラスベガス・ NAB Show視察 〈ラスベガス泊〉 ②	ラスベガス・ NAB Show視察 〈ラスベガス泊〉 ②	ラスベガス・ NAB Show視察 〈ラスベガス泊〉 ②	ラスベガス・ NAB Show視察 〈ラスベガス泊〉 ②
4月20日(月)	ラスベガス・ NAB Show視察 〈ラスベガス泊〉 ③	ラスベガス・ NAB Show視察 〈ラスベガス泊〉 ③	ラスベガス・ NAB Show視察 〈ラスベガス泊〉 ③	ラスベガス・ NAB Show視察 〈ラスベガス泊〉 ③
4月21日(火)	ラスベガス・ NAB Show視察 映像新聞特別セミナー〈ラスベガス泊〉 ④	ラスベガス・ NAB Show視察 映像新聞特別セミナー〈ラスベガス泊〉 ④	ラスベガス・ NAB Show視察 映像新聞特別セミナー〈ラスベガス泊〉 ④	ラスベガス・ NAB Show視察 映像新聞特別セミナー〈ラスベガス泊〉 ④
4月22日(水)	ラスベガス発 ニューヨーク着 〈ニューヨーク泊〉 ⑤	ラスベガス発 ロサンゼルス着 〈ロサンゼルス泊〉 ⑤	ラスベガス発 〈機中泊〉 ⑤	各自のスケジュールへ ⑤
4月23日(木)	関連企業訪問 〈ニューヨーク泊〉 ⑥	関連企業訪問 〈ロサンゼルス泊〉 ⑥	東京(成田)着 ⑥	ご出張に合わせたスケジュール変更が可能です。
4月24日(金)	ニューヨーク発 〈機中泊〉 ⑦	ロサンゼルス発 〈機中泊〉 ⑦		
4月25日(土)	東京(成田)着 ⑧	東京(成田)着 ⑧		

＊各コース共通サービス＊

- ●ラスベガス到着後 • NAB Show事前説明会 • バッジ事前取得
- ●ラスベガス滞在中 • 日本語速報レポート(毎日) • 通訳付展示ブースツアー • 特別セミナー開催

お申し込み締め切り：2月28日(金)　くわしくはJTBまでお問い合わせください。

●各コースともエコノミークラス、2人1部屋基本代金です。●ビジネスクラス利用、一人部屋などのご指定を別途お受けいたします。詳細募集パンフレットはJTB担当者までご請求ください。

企画 協力 映像新聞 映像新聞社

協力 NAB NAB 日本代表事務所

旅行企画・実施 JTB 株式会社JTB 新宿第二事業部

観光庁長官登録旅行業第1767号（社）日本旅行業協会正会員
旅行業公正取引協議会会員
〒163-0426東京都新宿区西新宿2-1-1新宿三井ビルディング26階
総合旅行業務取扱管理者：設楽裕介　担当：富川・小川・秋山

ボンド保証会員
TEL:03-5909-8102　FAX:03-5909-8110
E-mail: nab@jtb.com

NABツアーお申し込み、詳細はこちら →

海外視察・見本市専門サイト http://www.it-navi.com でもご覧いただけます。

	社名	BOOTH
映像制作 放送関連機材部門	ソニー/ソニービジネスソリューション	6113
	ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ	6113
	ソリトンシステムズ	5301
	ターボシステムズ	2712
	第一電波工業	4403
	Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers'Association (TEEMA)	5209
	高橋建設	4504
	タケナカ	3505
	タックシステム	6304
	タツタ立井電線	3102
	田中電気	2610
	CHIEF/映像センター	7407
	TMS	5506
	TBS テレビ	6303
	TVU Networks	3204
	テイク	4301
	DTS インサイト	3107
	Deity Japan 合同会社	2002
	DVC	4603
	データドック	3105
	datavideo japan	4703
	テクトロニクス	3109
	テクニカルファーム	4604
	テクノハウス	2213
	デジキャス合同会社	4202
	DATATON	2504
	デューブレックス	4602
	デルタ電子	3114
	テレコム	2508
	テレダイン・ジャパン	4104
	テレビ朝日サービス	2701
	テレフォース	5303
	一般社団法人電子情報技術産業協会 情報産業部	6404
	一般社団法人電子情報技術産業協会 テープストレージ専門委員会	3311
	DENSITRON	4414
	電波新聞社	5507
	Too	8209
	東京エレクトロン デバイス	7308
	東芝インフラシステムズ	4612
	東芝デジタルソリューションズ	4612
	東芝ライテック	4612
	東通インターナショナル	8313
	トラフィック・シム	5206
	Nitze	4705
	ナックイメージテクノロジー	3506
	ナックイメージテクノロジー	7101
	ナックイメージテクノロジー	7410
	ナッシュスタジオ	5203
	NANJING NAGASOFT CORPORATION	2608
	NANLITE	3607
	NIXUS 北海道日興通信	7309
	ニコン	2612
	ニコンシステム	2612
	ニシム電子工業	6108
	日活	5506
	ニッキャビ	2609
	一般財団法人日本気象協会	5401
	日本コントロールシステム	3110
	日本通信機	4502
	特定非営利活動法人 日本ビデオコミュニケーション協会	2702
	日本ビデオシステム	3501
	日本放送協会	6404
	日本無線	3401
	ニューエックス	8207
	ねこじゃらし	3111
	ネットワークエレクトロニクスジャパン	4610
	Harmonic Japan 合同会社	3407
	バイオス	8213
	箱馬×METALTOYS	3003
	Backstage Equipment, Inc.	3503
	bat factory	3002
	パナソニック	2514
	パナソニック システムソリューションズ ジャパン	2514
	ValueHD Corporation	3106
	PANTHER GmbH	4002
	ピーテック	4704
	ビジュアル・グラフィックス	7203
	日立国際電気	2414
	ビデオトロン	4204
	ヒビノ	2115
	ヒビノインターサウンド	2115
	ヒビノクロマテック Div.	2115
	ヒビノライティング	2115
	Hyundai Fomex Co.,LTD.	4301
	平河ヒューテック	5607
	ヒロセ電機	3302
	フィルムライト	6111
	フォトロン	6403
	フジコーワ工業	4302
	富士通	6112
	富士通	6401
	富士フイルム	5306
	富士ライト商事	4501
	府中技研	5205
	芙蓉ビデオエイジェンシー	5104
	ブラックボックス・ネットワークサービス	4402
	ブラックマジックデザイン	8216
	ブランネット	2609
	PRIMOCASE TECH. INC.	5209
	PLAY	7409
	ブロードデザイン	4509
	プロスパー電子	2601
	プロライト・ダウティ	3405
	ベイテクノロジーズ	7310
	平和精機工業	2513

	社名	BOOTH
映像制作 放送関連機材部門	Belden Japan/トモカ電気	4304
	ベルボン	2602
	朋栄	4206
	放送技研	3606
	Vocas Japan	4311
	マイクロボード・テクノロジー	4101
	マウビック	2509
	松浦機械製作所	2604
	マルミ光機	8310
	MISONICS	4313
	三井物産エアロスペース	2503
	三友	4611
	緑屋電気	4303
	ミハル通信	2709
	MILLER	2602
	MINRRAY INDUSTRY CO.,LTD	3403
	武蔵	8312
	武蔵オプティカルシステム	4305
	メイコー	2501
	鳴木騰	4507
	メタデータ	3101
	メタルトイズ	3001
	メディア・ガーデン	3506
	メディアリンクス	3308
	メディアリンクスエルエスアイラボ	4702
	メモリーテック	4306
	メラノックステクノロジーズジャパン	7202
	モリサワ	2506
	モルフォ	3111
	ユアサ工機	5505
	ユーエーシー	5404
	ユニテックス	3408
	YUAN HIGH-TECH DEVELOPMENT CO., LTD.	5208
	よしみカメラ	3604
	LiveU Ltd.	8215
	ラグナヒルズ	2504
	ラディウス	4306
	ラムダシステムズ	6110
	ラリタン・ジャパン	4505
	リーダー電子	7205
	Riedel Communications GmbH & Co. KG	2511
	理経	2004
	RIP-TIE	3306
	RED DIGITAL CINEMA/RAID	8109
	レントアクト昭特	5305
	ローランド	8412
	Wise Advanced Co., Ltd	4106
	ONCE SPORT	3602
INTER BEE SPORT	インタニヤ	7519
	インフォシティ グループ	7514
	インフォシティ	7514
	テクノネット	7514
	ビットメディア	7514
	エクセル	7516
	エヌジーシー	7515
	JVC ケンウッド	7521
	Cinfo	7513
	トラフィック・シム	7512
	日本放送協会	7517
	武蔵エスアイ	7518
	メディアエッジ	7520
IP PAVILION	アスク/ディストーム	7204
	エイチ・シー・ネットワークス	7306
	NEC	7206
	グラスバレー	7313
	ジャパンマテリアル	4203
	セイコーソリューションズ	3108
	ソニービジネスソリューション	6113
	タムラ製作所	1210
	タスカム/ティアック	2401
	日本電信電話	3205
	ネットワンシステムズ	3205
	パンドウイットコーポレーション日本支社	3205
	芙蓉ビデオエイジェンシー	5104
	ブラックボックス・ネットワークサービス	4402
	朋栄	4206
	松田通商	2412
	メディアリンクス	3308
	メラノックステクノロジーズ/マクニカ	7202
	ヤマハミュージックジャパン	1211
	リーダー電子	7205
映像表現 プロライティング部門	アガイ商事	6202
	Aputure Imaging Industries Co., Ltd.	6107
	Aladdin	6102
	伊東洋行	6302
	イメージビジョン	6106
	インフィレッド・ジャパン	6204
	ケイアイシー	5602
	GODOX Photo Equipment Co. Ltd	6203
	三永電機製作所	6103
	SHENZHEN HONGMAO YUANZE OPTOELECTRONIC CO.,LTD	6001
	SHENZHEN GLOSHINE TECHNOLOGY CO.,LTD.	6003
	シューテック・ジャパン	6102
	Zhengzhou Generalink Lighting Equipment Co., Ltd.	5601
	デジタルコンテンツ EXPO 2019	
	Dongguan Filmspider Cultural	6105
	東京舞台照明	6301
	ネットワンパートナーズ	5603
	Film Gear (International) Ltd.	6201
	富士電球工業	5604
	佛山青松科技	5606
	プロ機材ドットコム	6101
	ProFound	6104
	マイルランテック	5605
	ライブギア	6002

	社名	BOOTH
	マイルランテック	5605
	ライブギア	6002
INTER BEE IGNITION	エプソン販売	6601
	サイバー南無南無	6605
	Synamon	6604
	スタートバーン	6606
	先進映像協会 日本部会	6603
	先進映像協会 ルミエール・ジャパン・アワード2019	6602
	パイフォトニクス	6607
ICT クロスメディア部門	INISOFT JAPAN 合同会社	7505
	アイ・オー・データ機器	8302
	ITG マーケティング	7404
	ACCESS	7107
	アドバンスト・メディア	7405
	ATOMOS	8401
	アリスタネットワークスジャパン合同会社	7307
	インテージ	7303
	一般社団法人映像情報メディア学会	8203
	エイチ・シー・ネットワークス	7306
	エクスプローラ	7301
	SET（ブラジルテレビ技術協会）	8217
	エムアイシー・アソシエーツ	8102
	エルモ社	7509
	オンサイトスタンダード	7404
	加賀ソルネット	7005
	クラウディアン	8407
	KOBA 2020 (KOREA E & EX)	7507
	サイトロンジャパン	7402
	さくらインターネット	7506
	サンフォニックス	8403
	CCBN	7503
	Shenzhen suofei Xiang	8304
	シスコシステムズ合同会社	8406
	ジャパンブロードキャストソリューションズ	7404
	Spectee	7304
	聖仁商事	7404
	ティ・アイ・ディ	7502
	データブロード	7406
	テクノマセマティカル	8303
	テレビ朝日	7107
	一般社団法人電波産業会	8218
	東京放送ホールディングス	7107
	東京メトロポリタンテレビジョン	7107
	東北新社	7302
	とくしま4K フォーラム実行委員会	8301
	日本サムスン	7404
	日本デジタル・プロセシング・システムズ	7004
	日本テレビ放送網	7107
	日本マイクロソフト	7201
	ニューメディア	7501
	ねこじゃらし	7302
	PALTEK	7301
	ビジュアルテクノロジー	7404
	ファイバーネットワーク	8402
	Fastly	7504
	フェアーウェイ	8502
	フジテレビジョン	7107
	フジミック	7305
	双葉電子工業	8101
	ブラックマジックデザイン	8501
	フラッシュバックジャパン	8405
	プラットイーズ	8301
	PlayCanvas 運営事務局	7002
	Project White	7404
	Macro Image Technology Inc.	8404
	メディアエッジ	8001
	メディアキャスト	7401
	YANGZHOU JINGCHENG ELECTRONICS CO.,LTD	8306
	ユニゾンシステムズ	8202
INTER BEE CONNECTED	IPDC フォーラム	7118
	一般社団法人 IPTV フォーラム	7107
	アトラクター	7119
	オルカプロダクション	7105
	クリプトグランズウェル	7106
	SoundUD 推進コンソーシアム	7103
	Ｊストリーム	7109
	テレビ朝日	7113
	トップ・クリエーション	7117
	日本ヒューレット・パッカード	7102
	日本放送協会	7110
	北陸電話工事	7114
	マルチスクリーン型放送研究会	7104
	Movion	7108
	LivePark	7115
	ライムライト・ネットワークス・ジャパン	7116
CREATIVE	音響ハウス	8606
	キュー・テック	8604
	ソニー PCL	8607
	デジタル・ガーデン	8605
	一般社団法人日本ポストプロダクション協会	8608
	パナソニック映像	8603
	フェローズ	8601
	レスパスビジョン	8602
MEET UP	映像センター	8610
	シーンズ	8611
	シンク・デザイン	8612
	特定非営利活動法人 アニメ特撮アーカイブ機構	8613
	タスカム/ティアック	8609
5G	ソフトバンク	8309
IABM PAVILION	IABM	8104
	WOODY TECHNOLOGIES	8104
	SINGULAR.LIVE	8104
	SOONWELL CO., LTD	8104
	BLUEFISH444	8104
	Masstech Innovations	8104

Inter BEE 2019 出展者一覧

	社名	BOOTH
プロオーディオ部門	アートウィズ	1514
	I.S.D.Japan	2203
	アイコニック	1313
	アコースティックフィールド	1505
	アツデン	2303
	アプローズシステム	2409
	アンペール	1009
	イースタンサウンドファクトリー	1506
	イーストオーディオ	2204
	ウィンドオーディオジャパン	2311
	ウエタックス	1509
	A.O.M.	1007
	ATL-KYOEI	1502
	エス・シー・アライアンス	2112
	エヌティーアイジャパン	1304
	FBT Elettronica S.p.A	2411
	エムアイセブンジャパン	1308
	MQA LTD.	2105
	MTS&プランニング	2301
	エレクトリ	1515
	オーディオテクニカ	1310
	オーディオブレインズ	1513
	Audinate Pty, Ltd	2210
	オタリテック	2413
	音響特機	1207
	オンキヨーデジタルソリューションズ	2001
	オンズ	1303
	カエルワークス	2106
	川上産業	2404
	キクタニミュージック	1501
	キャッチミー	2409
	クリプトン・フューチャー・メディア	2209
	グルーヴ	2310
	クレセント	1312
	コーンズテクノロジー	1401
	コスモサウンド	2113
	KOTOBUKI	2308
	コモドマッティーナ	1005
	コンチネンタルファーイースト	2309
	サウンドピュア	2403
	soundwhale	2406
	サザン音響/サザンアコースティクス	2109
	三研マイクロホン	1406
	サンフォニックス	2405
	シーイヤー	2408
	ジェーイーエスインターナショナル	2308
	ジェネレックジャパン	1307
	シグマシステムエンジニアリング	1202
	静科	2208
	シュア・ジャパン	1314
	シンタックスジャパン	1309
	ズーム	1512
	スタジオイクイプメント	2307
	須山歯研	1203
	ゼンハイザージャパン	1206
	ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン	1306
	タグチクラフテック	2408
	タスカム/ティアック	2401
	タツタ立井電線	1408
	谷沢製作所	2302
	タムラ製作所	1210
	Dan Dugan Sound Design	1510
	ディーアンドビー・オーディオテクニック・ジャパン	2212
	ディーエスピージャパン	2407
	テクノハウス	1515
	デジコム	1511
	デジタル・ラボラトリー	2107
	Denon Professional	1405
	東レプラスチック精工	1006
	ドリーム	1301
	日本エレクトロ・ハーモニックス	2410
	日本音響エンジニアリング	1515
	日本テックトラスト	1311
	公益社団法人日本舞台音響家協会	2304
	日本舞台音響事業協同組合	2305
	ノイトリック	2402
	ハイ・リゾリューション	2108
	花岡無線電機	2102
	パナソニック	1209
	パナソニック システムソリューションズ ジャパン	1209
	パルス	1507
	ビーテック	1208
	ヒビノ	1515
	ヒビノインターサウンド	1315
	ヒビノプロオーディオセールス Div.	1315
	フォービット	1407
	フォステクスカンパニー	1302
	フックアップ	2206
	フラウンホーファー IIS	2111
	フリーバード	1001
	ベステックオーディオ	1208
	ペン ファブリケーション ジャパン	2101
	放送サービスセンター	2404
	ボーズ	1205
	Hosa Technology Japan	1501
	ボッシュセキュリティシステムズ	2103
	ボルトアンペア	1008
	MARTIN AUDIO JAPAN	1513
	松田通商	2412
	Marantz Professional	1405
	ミックスウェーブ	1403

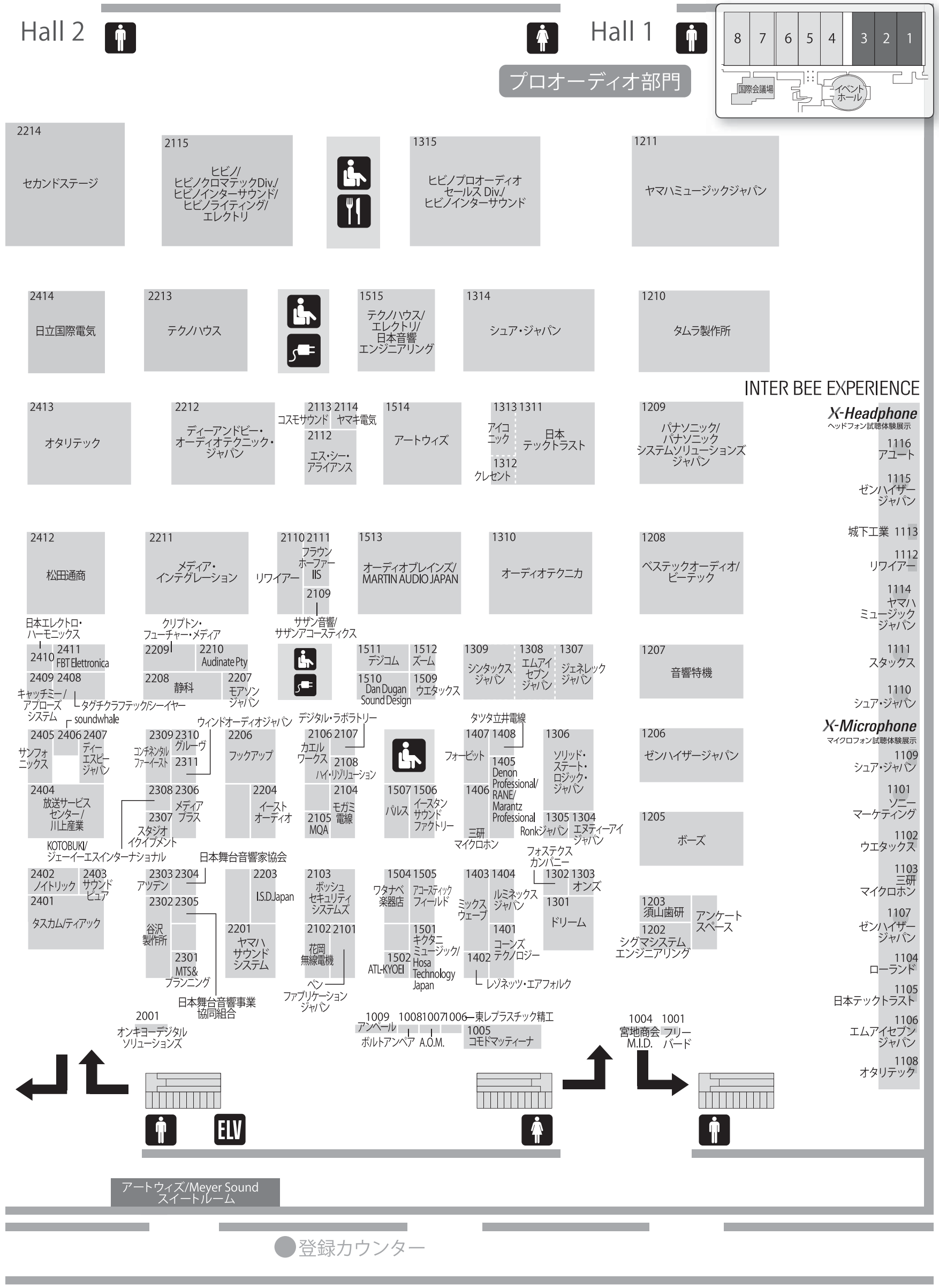
	社名	BOOTH
プロオーディオ部門	宮地商会 M.I.D.	1004
	メディア・インテグレーション	2211
	メディアプラス	2306
	モアソンジャパン	2207
	モガミ電線	2104
	ヤマキ電気	2114
	ヤマハサウンドシステム	2201
	ヤマハミュージックジャパン	1211
	リワイアー	2110
	ルミネックスジャパン	1404
	RANE	1405
	レゾネッツ・エアフォルク	1402
	Ronk ジャパン	1305
	ワタナベ楽器店	1504
X-Microphone	ウエタックス	1102
	エムアイセブンジャパン	1106
	オタリテック	1108
	三研マイクロホン	1103
	シュア・ジャパン	1109
	ゼンハイザージャパン	1107
	ソニーマーケティング	1101
	日本テックトラスト	1105
	ローランド	1104
X-Headphone	アユート	1116
	シュア・ジャパン	1110
	城下工業（SOUND WARRIOR）	1113
	スタックス	1111
	ゼンハイザージャパン	1115
	ヤマハミュージックジャパン	1114
	リワイアー	1112
映像制作 放送関連機材部門	アークベンチャーズ	2505
	RF デザイン	3304
	アイ・エス・エックス	4510
	アイ・ディー・エクス	8503
	アイディールシステムズジャパン	7411
	アイ・ディ・ケイ	5409
	アイベックステクノロジー	4609
	IYUNO MEDIA GROUP	4102
	アサカ	3507
	浅沼商会	8310
	麻布リース	8214
	アスク/ディストーム	7204
	アスコット	2704
	アストロデザイン	3114
	ADDER Technology	6304
	アテイン	5302
	アビッドテクノロジー	6210
	アプコット	5103
	アマゾン ウェブ サービス ジャパン	6401
	アルバニクス	5409
	アルビクス	6206
	アルモア	3305
	アンリツ	5105
	EIMAGE STUDIO EQUIPMENT	2611
	EMC ジャパン	3313
	池上通信機	7314
	石川トランク製作所	5609
	イデオモータロボティクス	3503
	伊藤忠ケーブルシステム	5108
	伊藤忠テクノソリューションズ	2711
	イノコス	5504
	イノテック	4503
	イメージニクス	4205
	Image Matters	7308
	Insta360	8105
	インターテック	3402
	インターネットイニシアティブ	6207
	INTOPIX SA	4407
	ヴァイテックイメージング	4201
	ヴァイテックプロダクションソリューションズ	4201
	ヴィーナスレーザー	3601
	ヴィレッジアイランド	5502
	ウェルクラフト	2005
	Well Buying Industrial Co., Ltd.	5207
	エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン	4411
	AIC.inc	5404
	AJA Video	7312
	EIZO（株）	7510
	HiSC	4605
	HD Vietnam	4107
	営電	5204
	ATEN ジャパン	5304
	合同会社エイドス	7003
	エイム電子	4512
	エーエスシー	7311
	ACEBIL JAPAN	3502
	エーティ コミュニケーションズ	3504
	エーディテクノ	4310
	ATV	3301
	Extron Japan	5101
	EGRIPMENT SUPPORT SYSTEMS	4001
	SEH テクノロジー	5503
	NEC	7206
	エヌ・イー・ピー	3004
	NHK テクノロジーズ	3113
	NAB SHOW	8201
	NKL	3503
	エヌジーシー	6402
	NTT グループ	4401
	NTT テクノクロス	4401
	NTT ビズリンク	4401

	社名	BOOTH
映像制作 放送関連機材部門	エミック	3404
	エル・エス・アイ ジャパン	2507
	エルグベンチャーズ	5408
	エルゴジャパン	4312
	エルザ ジャパン	3104
	エレクトリ	2115
	ANGELBIRD	8410
	おいぬビジョン	3605
	OA 研究所	3309
	オタリテック	2512
	OptoMedia Technology Inc.	4510
	オンテック	5202
	電源レンタル専門店 オンリースタイル	4511
	カールツァイス	7101
	加藤電気工業所	4506
	KATO VISION CO.,LTD	4307
	カナレ電気	2510
	カペラシステムズ	7511
	カリーナシステム	7510
	Cartoni SpA	3503
	川崎重工業	4606
	関西放送機器展	2003
	ガンスイ	5406
	KanDao Technology Co.,Ltd.	8212
	カンバス	4601
	キーサイト・テクノロジー	4405
	キオクシア	4612
	Gigatronix Ltd	4607
	キヤノン/キヤノンマーケティングジャパン	4314
	キャムキャスト7	4413
	QNAP	4503
	共信コミュニケーションズ	3508
	銀一	3406
	Guilin Feiyu Technology	3201
	KUPO CO., LTD.	3202
	クボテック	8411
	グラスバレー（株）	7313
	Grip Factory Munich GmbH	3503
	クロスイメージング	4513
	K-WILL	5106
	ケイトンテクノロジージャパン	5504
	ケンコー・トキナー	4313
	ケンコープロフェショナルイメージング	4313
	コアーテック	4312
	コアマイクロシステムズ	8108
	コイケ	5407
	興和光学	5403
	GoMax Electronics, INC.	8311
	国際照明	3506
	コスミックエンジニアリング	5107
	COMART SYSTEM Co., Ltd	7408
	Cominix	4406
	コムワース	5102
	コンドーブロードキャスト	2703
	サーヴァンツインターナショナル	7202
	サードウェーブ	8211
	3MIM	3112
	さくら映機	7413
	サムウエイ	2708
	サロンフィルムズ香港	8107
	三信電気	8215
	ZHANGZHOU SEETEC	4412
	サンミューロン	4408
	三和映材社	4001
	三和プロライト	4002
	CTC エスピー	7412
	シーンズ	5501
	JOCDN	6207
	JVC ケンウッド	6209
	ジェーピージェネレーターズ	5201
	Shenzhen LEDA Optoelectronics Co. LTD	6208
	SHENZHEN PTN ELECTRONICS LIMITED	4608
	SHENZHEN LIANTRONICS CO.,LTD.	6109
	シグマ	4416
	システム計画研究所	4308
	シナジー	4415
	シネマックス	4404
	シムディレクト	3505
	ジャパンマテリアル	4203
	SHANPU CO., LTD.	5209
	JUNS	4105
	ZHIYUN Tech	4309
	昭特製作所	5305
	SWIT ELECTRONICS CO.,LTD	5405
	すずまる	4103
	スターコミュニケーションズ	3204
	スタジオイクイプメント	2006
	スタジオエビス	3603
	スタック電子	3310
	ステラリンク	2701
	スピンデジタルアジアパシフィック	3314
	住友電気工業	5608
	スリー・エム	6205
	スリック	4313
	Zhejiang Loctek Intelligent Motion Technology Co. LTD	5402
	精工技研	4508
	セイコーソリューションズ	3108
	セカンドステージ	2214
	摂津金属工業	4410
	Semtech Corporation	4701
	扇港産業	3303

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2019

展示会場図　Hall 1,2

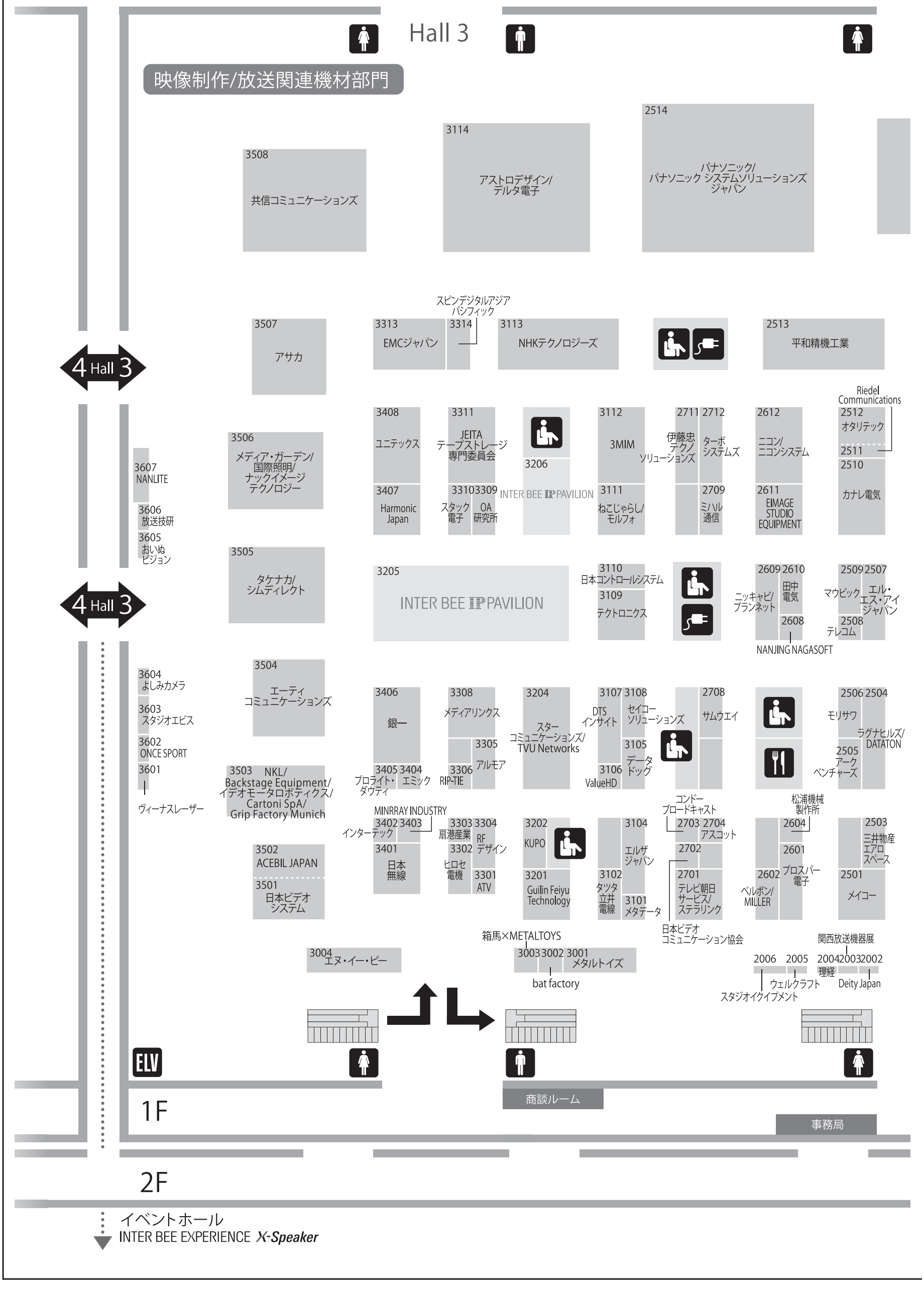
11月12日時点



Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2019

展示会場図　Hall 3

11月 12日 時点



Broadmedia & Entertainment

Inter BEE 2019

展示会場図　Hall 4

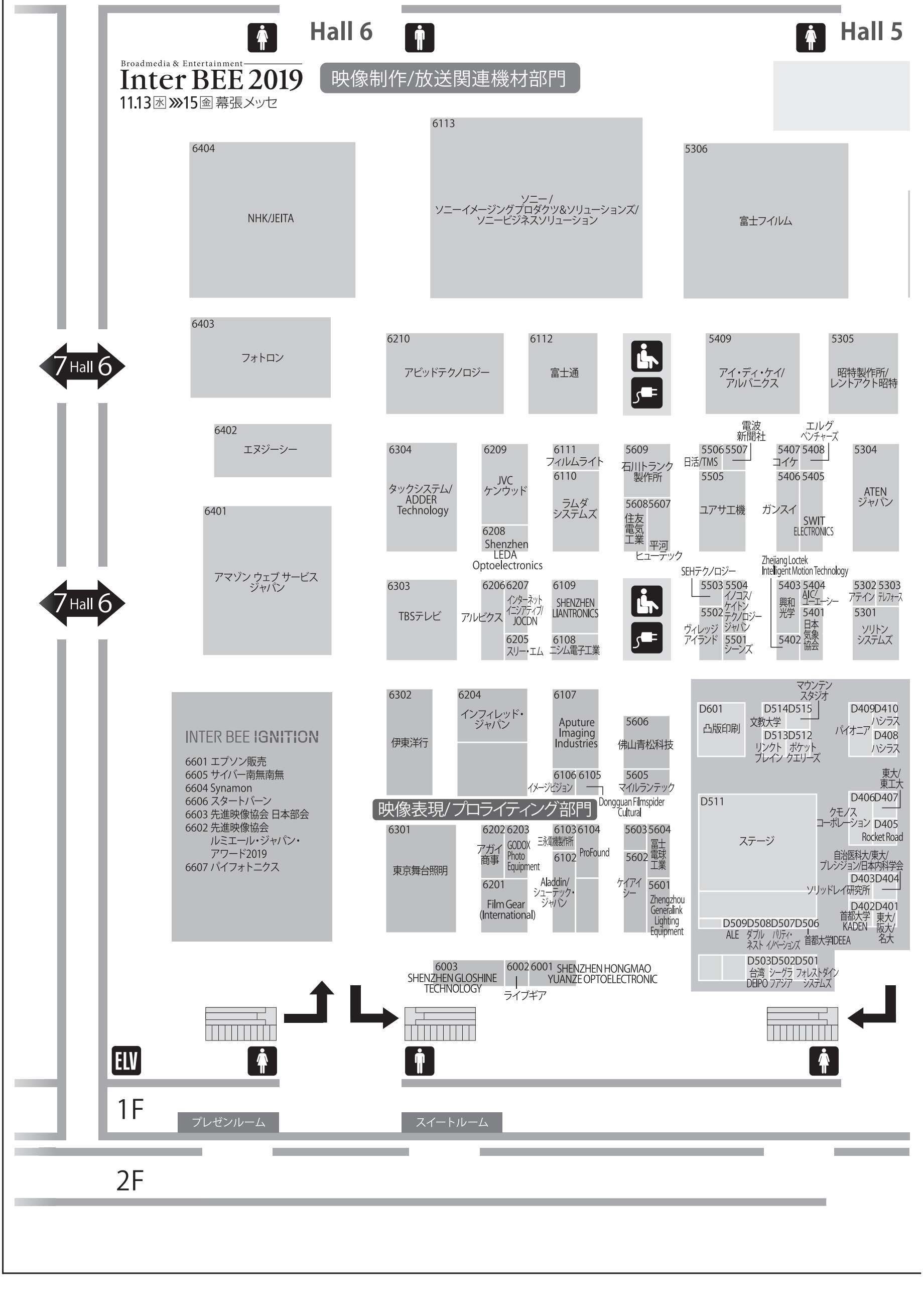
（11月１日時点）



Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2019

展示会場図　Hall 5,6

（11月１日時点）



Broadmedia & Entertainment Inter BEE 2019

展示会場図

Hall 7,8

（11月1日時点）

開催概要

名　称
Inter BEE 2019
（第55回2019年国際放送機器展）

会　期
11月13日（水）14日（木）10:00 ～ 17:30
15日（金）10:00 ～ 17:00

会　場
幕張メッセ（千葉市美浜区中瀬2-1）

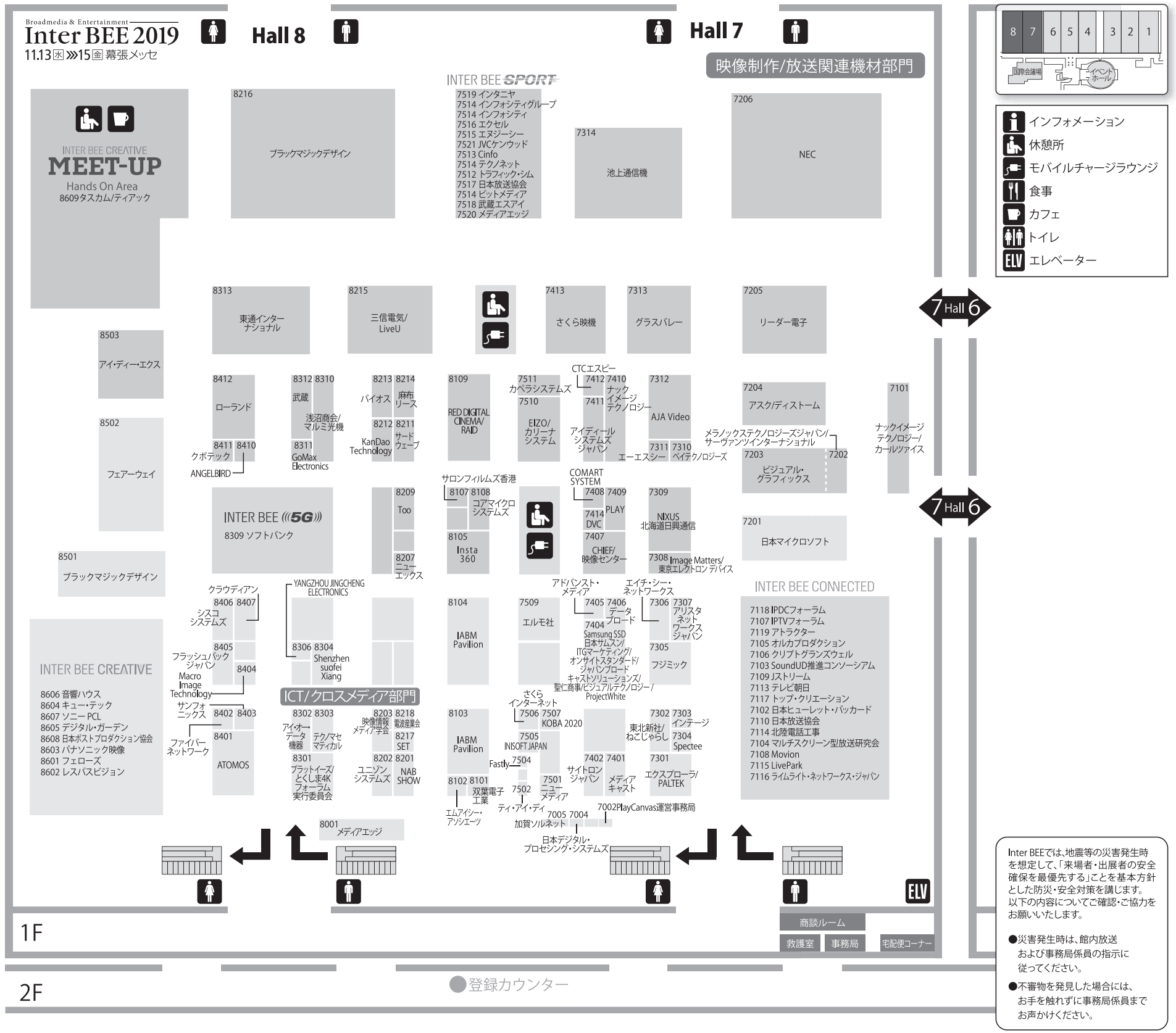
入　場
無料（全来場者登録入場制）

後　援
総務省、経済産業省（建制順）
NHK
一般社団法人日本民間放送連盟（JBA）
一般社団法人電波産業会（ARIB）
一般財団法人デジタルコンテンツ協会（DCAJ）
一般社団法人放送サービス高度化推進協会（A-PAB）
（順不同）

協　力
IPDCフォーラム
一般社団法人IPTVフォーラム
一般社団法人衛星放送協会
特定非営利活動法人映像産業振興機構
一般社団法人映像情報メディア学会
一般社団法人映像配信高度化機構
公益社団法人映像文化製作者連盟
一般社団法人カメラ映像機器工業会
公益社団法人劇場演出空間技術協会
一般財団法人最先端表現技術利用推進協会
3Dコンソーシアム
全国舞台テレビ照明事業協同組合
先進映像協会日本部会
超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム
一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム
一般社団法人デジタルメディア協会
一般財団法人電波技術協会
一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構
一般社団法人日本アド・コンテンツ制作協会
協同組合日本映画撮影監督協会
一般社団法人日本映画テレビ技術協会
協同組合日本映画テレビ照明協会
一般社団法人日本オーディオ協会
一般社団法人日本音楽スタジオ協会
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟
一般社団法人日本CATV技術協会
公益社団法人日本照明家協会
一般社団法人日本動画協会
一般社団法人日本パブリックビューイング協会
NPO法人日本ビデオコミュニケーション協会
公益社団法人日本舞台音響家協会
日本舞台音響事業協同組合
一般社団法人日本ポストプロダクション協会
一般財団法人プロジェクションマッピング協会
マルチスクリーン型放送研究会
一般社団法人モバイルブロードバンド協会
（50音順）

主　催
一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）

運　営
一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会（JESA）



Inter BEEでは、地震等の災害発生時を想定して、「来場者・出展者の安全確保を最優先する」ことを基本方針とした防災・安全対策を講じます。
以下の内容についてご確認・ご協力をお願いいたします。

- ●災害発生時は、館内放送および事務局係員の指示に従ってください。
- ●不審物を発見した場合には、お手を触れずに事務局係員までお声かけください。

絶対に面白いと定評のある、警察小説の第1人者、横山秀夫原作の『影踏み』（2019年／篠原哲雄監督、112分）が映画化され、新作として登場する。従来の横山作品は警察小説の枠に入るが、今回は犯罪者が謎を解き明かす手法を用いている。単なる推理ものを越え、1人の男を中心に、警察、裏社会の魑魅魍魎（ちみもうりょう）が跋扈（ばっこ）する不気味さがヒタヒタと迫り、小説でいうなら、一気に読み切ってしまう面白さがある。アイデアが詰まった原作の面白さと娯楽性がうまく噛み合い、楽しませてくれる。

（中川洋吉・映画評論家）

「影踏み」

横山秀夫原作のアイデアが光る推理もの

迫ってくる裏社会の不気味さ



「影踏み」（修一㊨と啓二）　©2019「影踏み」製作委員会

冒頭、野良猫に餌をやる孤独な中年男、真壁修一に、シンガーソングライターの山崎まさよしが扮（ふん）する。孤独な猫を相手にする、その普通の男が立ち向かうのが、表と裏の顔を持つ裏社会の人間たちである。

本作は、これまでの警察ものとは異なり、痛快な犯罪作品ではなく、裏に何かが潜むような暗い陰湿さがある。人間の持つ悪意と体内に巣食うトラウマの凄さでぐいぐい引っ張る。

◆音楽人の起用

山崎まさよしは、1995年にシングル『月明かりに照らされて』でメジャーデビュー。本来は歌手であり、成功を収めているが、今回は長年の友人、篠原哲雄監督の要請で、主役のノビ師を務める。

本作でも劇中音楽を担当。ラストのクラシック調で、ストリングス主体のアンサンブルの流れるような音色が心地良い。作品の暗い犯罪性と正反対の音の流れが、本作を盛り上げている。

11月13日には、本作の主題歌も収めた、山崎まさよしの最新アルバム『Quarter Note』が発売される。

◆主人公の設定

多くの人が小説やテレビで警察ものを見て、サツ、デカ、ヤク、ガイシャなど、かなりの警察用語はご存知のことだろう。本作の主人公の職業は、「ノビ師」と設定され、最初、一体何を指すのか皆目見当がつかなかった。実態は、夜間に住居侵入するプロの窃盗犯のことである。

その彼らの中でも、現場に一片の証拠を残さず、取り調べに口を割らないのが主人公の真壁修一だ。そのしたたかさからノビカベの異名で呼ばれている。真夜中、家人たちの就寝中に懐中電灯1本で、

犯罪者が謎を解き明かす手法

人に害を加えない、主として現金だけを奪う職人的な窃盗犯であり、捕まえても刑期は2年と、ほかに比べかなり短い。

◆物語の発端

舞台は群馬県内の諸都市で、このような都会と離れたところにも、大都会並みの窃盗犯が暗躍する。このノビ師の設定が作品にインパクトを与えていることは間違いない。

通称ノビカベを主人公に持ってくるあたり、横山作品のアイデアが光る。

ノビカベの修一は、いつものように、金持ちの家に忍び込み金品を物色する。奥には県会議員の稲村道夫と若妻、葉子（中村ゆり）が就寝中で、ベッドから抜け出した葉子が、ガソリンを撒き、夫を殺そうとする現場に遭遇する。慌てた修一が葉子を取り押え、火事を免れる。ここで済めば単なる放火事件だが、物語は事件の深層に迫る。



久子　©2019「影踏み」製作委員会

まずは不思議なのは、修一の幼友達である刑事の吉川が、なぜか先回りして修一を逮捕、彼は2年の実刑を食らう。何ともできすぎた話で、吉川がなぜ先回りしたのか疑問を抱いていた修一は、出所後に調べを開始する。

すると葉子の周辺には、ヤクザが絵を画き、愛人とおぼしき葉子を使い県会議員を殺し、その財産を競売で格安に落とす。

一方、関東勢では、地元の裁判所の執行官と判事がからんでいることが透けて見える。そして、関西系ヤクザか吉川が、葉子に放火をさせた図式が浮びあがる。ここまでは、修一の足による調べで概要がうっすらと見え始める。



母　©2019「影踏み」製作委員会

たびの空き巣癖で教職を追われた兄弟の母（大竹しのぶ）は、心身ともに弱り、突然、家に火をつける。一度は逃げた啓二だが、母親を助けるため火の中に飛び込み、2人とも焼け死ぬ。

ちょうど友人と旅行中で難を逃れた国立大出の秀才修一は、この事件を境に性格が変わり、ノビ師として犯罪に手を染め始める。この無理心中は、修一の中にトラウマとして宿り、葉子の放火の際、彼は昔を思い出したのだ。

葉子の放火の動機は、はっきり説明されていない。

修一の中では、仲が良かった啓二は今でも影のように生きている。このことは、フラッシュバックの形で自転車の後ろに乗ったり、ブランコで遊んだりする場面で現われる。年齢が離れ過ぎ、到底双子とは見えない2人だが、徐々に違和感が拭えてくる。

◆トラウマ

修一は、葉子が放火する時、なぜ現場に顔見知りの刑事が居たのかの疑問を足掛かりに、突破口を開かんと、犯人探しをする。そこで弟の啓二が巻き添えになった、20年前のある放火事件の記憶がよみがえる。いつも修一の体内でブスブスと燃え続ける火種であり、トラウマである。この火種を体内に秘めながら、修一は犯罪者として、警察に代わり犯人を追う。

この設定が、従来の横山秀夫の警察ものとの大きな違いである。警察対犯罪者の構図を打ち壊し、犯罪者同士の闘いへと矛先を変える。このあたり、『影踏み』の独自の着想である。

◆20年前の放火

修一の弟、啓二のたびは狭い町で中傷され、勤務先の保育園を辞職する。彼女は「自分は犯罪者である修一が好きで、これ以上、世間の中傷に耐えられない」と潔く身を引き、修一への風当たりを少しでも和らげようとする。この修一と久子の関係が、本作唯一の救いとなる。

◆生き抜くこと

20年前の1つのねじれが、その後も拡大し、現代まで炎の元となる大筋である。悪い星の下に生まれた人の不運が語られる。そして、人間の結び付きは非常に脆（もろ）いことを、本作は語っている。

しかし、そこで潰れず、生き抜くことが重要と、犯罪小説の形を借り、訴えているところが横山文学の伝えたいところであろう。

◆撮影地

群馬県中之条町には、小学校廃校後に跡地利用で作られた伊参（いさま）スタジオがあり、1995年に群馬県出身の小栗康平監督が『眠る男』を撮影した場所である。その後、このスタジオで毎年、伊勢映画祭（わずか2日間）が開催され、現在に至る。

この地で96年に篠原哲雄監督が、長編デビューで代表作の『月とキャベツ』を撮影した。その縁で、主演の山崎まさよしと知り合い、今回の起用となった。主演、山崎の笑わないニヒルな役作りが、ノビ師を演じる上でよくはまっており、犯罪ものの雰囲気を醸し出している。

概して、推理ものの人気は文学、映画でも根強く、人気作家横山秀夫の原作と相まって、本作は犯罪映画として楽しめる1作となった。犯罪もの（ミステリー）は原作、脚本の良さで決まると、つくづく感じさせる。

久子と葉子が食事をする場面、久子の料理は「味が薄い」と文句をつける葉子、久子は「薄味はシワが増えない」と切り返すが、本当であろうか。これは脱線だが――。

〈文中敬称略〉

■『影踏み』は、11月15日から全国公開、11月8日に群馬県で先行公開

映像新聞無料メールマガジン

Vizcom（ヴィズコム）

映像新聞がお届けするメールマガジン「Vizcom」は、ビジネスに役立つ情報をいち早くご提供していきます。映像新聞および、映像新聞ウェブサイトも同様にご愛顧ください。

配信登録は
www.eizoshimbun.com

映像新聞 縮刷版 2019 前期版

詳細・ご購入は下記URLから
http://www.eizoshimbun.com/shukusatsuban/shuku_annual.html

半年分の映像新聞を1冊にまとめた「2019年前期縮刷版」が発行となりました。めまぐるしく変化する映像業界の動向を集約する「映像新聞縮刷版」は、目次をもとに情報が簡単に索引できます。企業のビジネス戦略において、貴重な情報ツールとして、また、保存版の映像新聞として広くご利用いただいております。縮刷版は1979年から発行し、1985年から年2冊（1月～6月、7月～12月）刊行しています。

■縮刷版　A4判　各年半年分　7,000円＋消費税（送料別途）

●ご購読のお申込み・お問い合わせ●　株式会社 映像新聞社　〒112-0006　東京都文京区小日向 1-24-8　エイゾービル ／ TEL：03-3942-2161 ／ FAX：03-3942-2581 e-mail：info@eizoshimbun.com

isle 24-27 FEBRUARY 2020 Shenzhen World Exhibition & Convention Center

International Signs & LED Exhibition ISLE2020

中国最大級の大型 LED ディスプレイの専門展示会

ISLE2020 視察ツアーのご案内

世界の大型映像最新製品がここに勢ぞろいする



ISLE2019 イメージ (会場内)



ISLE(International Signs & LED Exhibition)
中国最大級の LED ディスプレイ展示会

開催 :2020 年 2 月 24 日 (月)~27 日 (木)

場所 : 中国 深圳
World Exhibition & ConventionCenter

出展スペース :160,000m²

出展社数 1,400 社以上

ビジター :250,000 人以上

本ツアーの詳細、お申し込みは以下の URL にアクセスしてください。

https://reg.lapita.jp/public/seminar/view/405

「募集要項」

●旅行期間・旅行代金（3 コース設定）

A コース : 2020/2/23 ㈰~2/28 ㈮ 5 泊 6 日
２１０，０００円

B コース : 2020/2/23 ㈰~2/27 ㈭ 4 泊 5 日
１９２，０００円

C コース : 2020/2/23 ㈰~2/26 ㈬ 3 泊 4 日
１８０，０００円

※全コース（お一人様あたり / エコノミークラス・ツイン 1 室 2 名利用）共通

※燃油サーチャージ (目安 5,000 円), 羽田空港利用料 2,610 円 , 国際旅客観光税 1,000 円 , 海外空港諸税 3,610 円は含まれておりません。(2019 年 10 月 15 日現在)
●ビジネスクラス利用代金：お問い合わせください。

●一人部屋追加代金：A コース：27,500 円（お一人様・5 泊分）
B コース：22,000 円（お一人様・4 泊分）
C コース：16,500 円（お一人様・3 泊分）
●利用航空会社：日本航空 (JL) または全日空 (NH)
●利用ホテル：The RoyalityHotel(皇悦酒店)、財富酒店 (FortuneHotel)、
上海賓館 (ShenzhenShanghai Hotel) の何れか
●食事条件：コース毎異なります。日程表参照
※機内食は含みません。
●添乗員：同行致しません。(現地係員がご案内致します。)
●募集人員：30 名様
●最少催行人員：各コース 8 名様
●申込締切：2020 年 1 月 8 日 (水)
(E1910010)

本ツアーの特長

- 日系航空便利用（日本航空または全日空）
- 港 . ホテル間、 専用車送迎（日本語ガイド付）
- 展示会場は 2019 年末完成予定の「深圳ワールドコンベンションセンター」
- 展示会場内ブース見学ツアー（同時通訳随行）
- LED メーカー企業訪問付（同時通訳随行）
- 同時期開催の「LED China」も視察可（2/24-26）
- 香港空港利用※香港空港ではフェリーにてそのまま深圳（中国）に向います。

	A コース	B コース	C コース
2 月 23 日 (日)	◎ABC コース共通 日本航空（JL）または全日空（NH) にて香港へ 東京（羽田 or 成田）午前発、香港午後着。着後、フェリーにて深圳へ 深圳（蛇口）到着後、専用車にてホテルへ夕刻、名刺交換会（懇親夕食会） ＜深圳泊＞		
2 月 24 日 (月)	◎ABC コース共通※朝夕、専用車送迎付 終日、ISLE2020 視察 ・日本の LED 市場セミナーなど視聴（予定※希望者） ・ISLE イベント企画（予定） ＜深圳泊＞		
2 月 25 日 (火)	◎ABC コース共通※朝夕、専用車送迎付 終日、ISLE2020 or LED CHINA 視察 ・ISLE2020 主要 LED メーカーブースツアー（午前予定※希望者） ＜深圳泊＞		
2 月 26 日 (水)	◎AB コース共通※朝夕、専用車送迎付 終日、ISLE2020 or LED CHINA 視察 ＜深圳泊＞		午前、専用車にて蛇口へ フェリーにて香港空港へ 日本航空（JL）または 全日空（NH)）て香港へ 香港午後発、東京（羽田 or 成田） 夜着。着後、解散
2 月 27 日 (木)	終日、専用車にて企業訪問 企業視察① 企業視察②　＜深圳泊＞		午前、専用車にて蛇口へ フェリーにて香港空港へ 日本航空（JL）または 全日空（NH)）て香港へ 香港午後発、東京（羽田 or 成田） 夜着。着後、解散
2 月 28 日 (金)	午前、専用車にて蛇口へ フェリーにて香港空港へ 日本航空（JL）または 全日空（NH)）て香港へ 香港午後発、東京（羽田 or 成田） 夜着。着後、解散		

企画主催
映 像 新 聞 社
協力
マネッジ・オンライン

お問い合わせお申し込みは
旅行主催 株式会社 JTB
新宿第二事業部　営業第二課
〒163-0426 東京都新宿区西新宿
2-1-1 新宿三井ビル 26 階

TEL　03-5909-8102
FAX　03-5909-8110
営業時間 /09：30 ～ 17：30
・土日祝日休業

総合旅行業務取扱管理者 : 伊藤 芳徳
担　当 : 秋山・宮本・村岡
観光庁長官登録旅行業第 64 号
日本旅行業協会正会員

CRI地域ビジネスフォーラム
地域を元気にする事業
CATV事業者が事例報告

ケーブルテレビ情報センター（CRI）は、今年度立ち上げた「～地域を元気にするビジネスの構築へ～CRI地域ビジネスフォーラム」と題したシリーズセミナーの第2回を11月26日に開く。

これは、「CATV事業者を主な対象に〝地域を元気にする〟かつ〝持続可能な地域ビジネス〟のアイデアとなるような事例などを伝え、新規事業開発のヒントにすることを目的としている」という。第1回は、9月20日に実施した。

今回も地域ならでは資産を生かし、地域を元気にする新たな収益増につながる事例を報告する。

1人目は、上越ケーブルビジョン（JCV）代表取締役社長の齋藤俊幸氏が「上越妙高から東京、世界のマーケットへ！地場産品の『ブランド化』と『販路拡大』を支援するJCVの〝地域経済活性化〟戦略を聞く」をテーマに話す。

上越ケーブルビジョン（JCV）は、2017年に東京・有楽町の交通会館内に東京情報センターを開設。同年10月から「新潟・上越妙高 うまさ直送！雪国マルシェ」（地場産品の販路拡大拠点）を運営。また、15年から本社で「地域産品のブランド化」に向けた学びと販路拡大のためのプログラムを実践しており、直近では、マーケティングなどの専門家で組織する「JCV専門家BANK」を立ち上げ、地元信金とも協業を進めている。

このほか、「開局30周年記念事業『チームラボ学ぶ！未来の遊園地』5万人達成!! 〝地域を元気にする〟中海テレビ放送の取り組み」（中海テレビ放送 放送事業本部 副本部長・三浦健吾氏）、「ケーブルテレビ局が持つビジネスマインド（資産・ネットワーク）を、地域を元気にするマーケティング活動にどう生かすか」（観光マーケティング協会 専務理事 事務局長・善井靖氏）と題して、それぞれ講演する。

【日時】11月26日／13―17時
【会場】アットビジネスセンター東京駅八重洲通り604号室（東京都中央区八丁堀1―9―8 八重洲通ハタビル6階）
【受講料】会員1万5000円、非会員2万5000円、定員80人
【参加申し込み】www.cri-info.jp/conference.html

イベント

◇第29回液晶・有機EL・センサ技術展
液晶・有機ELから量子ドット・マイクロLEDまで、ディスプレーに関する最新技術・製品が、関連8展で合計1360社から展示される。主催はリード エグジビション ジャパン。会場は千葉市美浜区の幕張メッセ。
【日時】12月4―6日／10―18時（最終日は17時まで）
【詳細】www.fti.jp/ja-jp.html

移転

◇TBSグロウディア（11月18日付）
【新本社住所】東京都港区赤坂5―2―20 赤坂パークビル12階／☎03―3582―5220（大代表）

国際プロジェクションマッピングアワード
若手クリエイターの登竜門
最終審査上映会に13チーム
16日にビッグサイトで開催

東京国際プロジェクションマッピングアワード実行委員会（運営＝ピクス、イマジカデジタルスケープ）は、次世代の若手クリエイターによる映像制作の登竜門「東京国際プロジェクションマッピングアワード Vol.4」上映会・最終審査を11月16日に東京・有明の東京ビッグサイトで開催する。入場無料。

今年は『調和／Unity』と『スポーツ／Sports』の2つのテーマを設けた。4年に1度開催される世界的なスポーツの祭典を翌年に控え、スポーツを通じた平和な世界の精神から想起。若きクリエイターがこれらテーマを通じて「持続可能な社会」について考え、表現することを期待するもの。

国内・国外問わず学生を対象に、どちらか1つのテーマに沿った作品を募集し、多くの応募の中から厳正なる書類審査の結果、最終審査に臨む全13チームを選出した。海外出場校はタイとカナダからで、国内は高校生も初参加となった。


会議棟に映し出される作品（昨年の様子）

会場は、今回も三角形でおなじみの東京ビッグサイト会議棟。最終審査当日は各チームが現地に集結し、高さ約30㍍、幅約94㍍となる日本最大級のスクリーンで、約3カ月をかけて制作した作品を上映する。映像・クリエイティブ業界の第一線で活躍する審査員により各賞が決定する予定。

東京国際プロジェクションマッピングアワードは、将来のコンテンツ産業の中核となる人材の育成と、プロジェクションマッピングという空間映像技術の高度化と普及を目的に設立された。「最終審査となる上映会は、東京ビッグサイトの大きな舞台を通じ、ライブでしか届けられない迫力と感動を体感できる場として一般にも開かれたイベントとなっている」（実行委員会）という。

出場チームの作品上映後には、花火とプロジェクションマッピング、イルミネーションのコラボレーションで彩る一夜限りのフィナーレショーを実施予定。今年はファストカルチャー系バンド「1980YEN」のゲスト出演が決定。イベントMCはモデル・俳優・タレントと幅広く活躍するハリー杉山が務める。

同イベントは「有明・冬フェス2019」として、東京ビッグサイトと共同で主催しており、無料のホットドリンクを提供し、地域一帯の活性化を担っている。

【タイムスケジュール】
▽16時30分＝開場▽17時―19時30分＝ノミネート作品上映会およびフィナーレショー▽19時30分＝表彰式
【詳細】pmaward.jp

「情報」がビジネスを熱くする。

映像新聞は、放送やブロードバンド、デジタルコンテンツプロダクション、映像制作者など映像業界へ向け、ビジネスとテクノロジーの両視点で情報を発信している専門紙です。映像のデジタル化は、デジタル放送やデジタルシネマといった新しい文化を創り、ブロードバンドにより新しいコミュニケーションを発達させました。映像新聞は、これらの動きをいち早く伝え、新鮮な情報をお届けいたします。
ビジネスを熱くするメディア……それが「映像新聞」です。

映像新聞

毎週月曜日、月4回発行（年間48回発行）
基本ページ数
20ページ／タブロイド判
年間購読料：26,000円（送料込み）＋消費税
海外での購読の場合は、消費税分を除いた料金に別途送料がかかります。 詳しくはお問い合わせ下さい。

ウェブサイトからお申し込みができます
www.eizoshimbun.com

短期購読および複数購読のご案内

●短期購読の場合
◎3カ月購読の場合：7,200円（1部600円×12回）＋消費税
◎6カ月購読の場合：14,400円（1部×24回＋消費税）

●複数購読の場合（年間購読契約のみ）
対象となる購読者（以下の3つの条件をすべてを満たすこと）
◎送付先が同一であること
◎請求先が同一であること（送付先とは別でも可）
◎購読契約期間（契約更新月）が同一であること

※料金（申し込み部数により料金を割引きます）
・2–5部は10%割引き （1部、年間23,400円＋消費税）
・6–9部は20%割引き （1部、年間20,800円＋消費税）
・10部以上は30%割引き（1部、年間18,200円＋消費税）

●ご購読のお申込み・お問い合わせはこちらへ。
映像新聞社 〒112-0006 東京都文京区小日向1-24-8エイゾービル TEL 03-3942-2161 FAX 03-3942-2581 e-mail:info@eizoshimbun.com

SONY



4Kに
さらなる描写力を。

本格的な4K放送時代へ。ソニーから、新開発グローバルシャッター機能付き
2/3型 4K 3CMOSイメージセンサーを搭載したカメラが登場。
ローリングシャッター歪みやフラッシュバンドのない映像を表現でき、
4K映像の1コマ1コマの美しさまでも追求。音楽やスポーツなどのライブ中継を
限りなくリアルに、感動をありのままに伝えます。

SR Live for HDR　IP Live Production System

4K

真の4K映像を写し撮るソニーの4Kカメラ。

4Kマルチフォーマットポータブルカメラ
HDC-5500
カメラコントロールユニット
HDCU-5500



HDマルチフォーマットポータブルカメラ
HDC-3500
カメラコントロールユニット
HDCU-3500
※オプションで4K対応



マルチパーパスカメラ
HDC-P50
※オプションで4K対応



ソニーのプロフェッショナル/業務用
映像制作機材の情報は　sony.jp/pro-cc/

広告掲載商品に関するお問い合わせは
業務用商品購入相談窓口［フリーダイヤル］ 0120-580-730
受付時間:9:00~18:00
（土·日·祝日·弊社休業日は除く）

◎ソニーおよびSONYは、ソニー株式会社の登録商標です。 ◎その他記載されている商品名は、各社の商標または登録商標です。本文中ではTM、®マークは明記していません。
◎商品を安全に使うため使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。◎掲載商品の仕様や外観は改良のため予告なく変更することがあります。

Sony Business Solutions Corporation
ソニービジネスソリューション株式会社